

宮城県

こどもアンケート調査

－調査結果報告書－

令和6年12月

宮城県 保健福祉部 子育て社会推進課

＜目 次＞

I 調査概要	1
II 分析結果の概要	3
III 調査結果	8
1 あなた自身について	8
1-1 性別	8
1-2 居住地	9
1-3 同居家族	9
2 ふだんの生活について	10
2-1 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動の参加状況	10
2-2 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由	11
2-3 次の場所は居場所になっているか	13
2-4 次のような場所の利用経験	14
2-5 利用したことによる変化	15
2-6 困ったり悩んだりしていること	16
2-7 悩みごとや困りごとの相談相手	18
3 家族や他者とのかかわりについて	19
3-1 家族・親せきとのかかわり	19
3-2 学校で出会った友達とのかかわり	20
3-3 地域の人とのかかわり	21
3-4 インターネット上における人やグループとのかかわり	22
3-5 孤独感	28
4 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について	32
4-1 新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかったこと	32
5 今考えていることや将来のことについて	34
5-1 自身の考え方	34
5-2 自己認識	43
5-3 生活の満足度	49
5-4 進学希望	54
5-5 希望の学校へ進学したい理由	56
5-6 結婚に対する考え方	62
5-7 結婚に対する持っているイメージ	63
5-8 将来子どもを持ちたいと思うか	65
5-9 子育てに対する持っているイメージ	66
5-10 将来の居住希望	68
5-11 自身の将来について明るい希望を持っているか	69
5-12 将来暮らしてみたいと思う未来の宮城県の姿	73

6 こどもの権利や宮城県が行う取組のことについて	75
6-1 「児童の権利に関する条約」の認知度	75
6-2 「こども基本法」の認知度	76
6-3 子どもに関わる事業に子どもの声を取り入れていく方法	77
7 自由意見	78
IV 総括	81
V 使用した調査票	83

I 調査概要

1 調査の目的

こども基本法第10条に規定する「都道府県こども計画」である「みやぎこども幸福計画（令和7年度～令和11年度）」の策定に向けて、「こども」や「子育て当事者等」の意識や実態等の把握、及び同法第11条に規定するこども施策の策定等に当たり「こども」や「子育て当事者等」の意見を聴取することを目的に実施した。

2 調査期間

令和6年7月8日（月）～令和6年7月26日（金）

※8月15日(木)回収分までを集計に含めた

3 調査対象

宮城県内35市町村の中学2年生

①中学校（204校） 19,138人

②特別支援学校（19校） 191人

合計 225校 19,329人

4 調査方法

学校を通じての直接配布／タブレット等を使用したWEB回答で回収

※ただし、インターネットを利用できない生徒に対し、郵送での調査にも対応

5 回答状況

配布数①	総回答数		有効回答数②		有効回答率 ②/①	
	紙	WEB	紙	WEB	紙	WEB
19,329	48	7,241	48	7,169	0.2%	37.1%
合計		合計		合計		37.3%
7,289		7,217				

6 調査結果の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、单一回答式の質問においては、回答割合を合計しても 100.0%にならない場合があります。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。
- 回答があった場合でも件数が少ないので 0.0%となっている場合は「-」と区別して「0.0」と表記しています。
- 図表中またはコメント中で 2つ以上の選択肢の回答割合の合算値を掲載している箇所は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合があります。
- 調査数 (n) が少數のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。
- 一部の設問では過去に国で実施された調査結果との比較分析を行っており、その際の図表及びコメントでは調査名を以下のように表記しています。

図表及びコメント上の表記	調査名	調査主体
令和6年度県調査	宮城県こどもアンケート調査	宮城県
令和5年度国調査	児童の権利に関する条約の認知度等調査※ ¹	こども家庭庁
令和4年度国調査	こども・若者の意識と生活に関する調査※ ²	内閣府
令和2年度国調査	子供の生活状況調査（中学生票）	内閣府

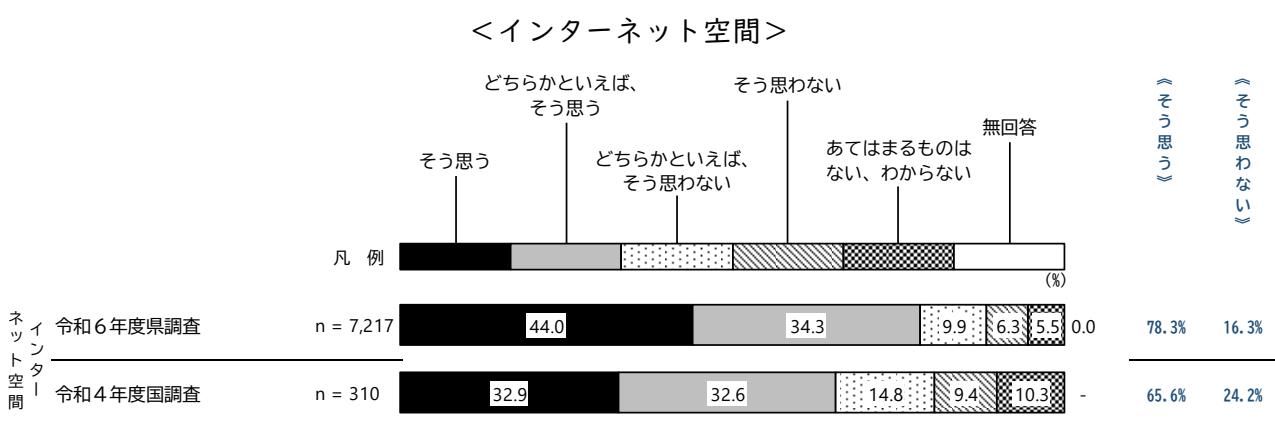
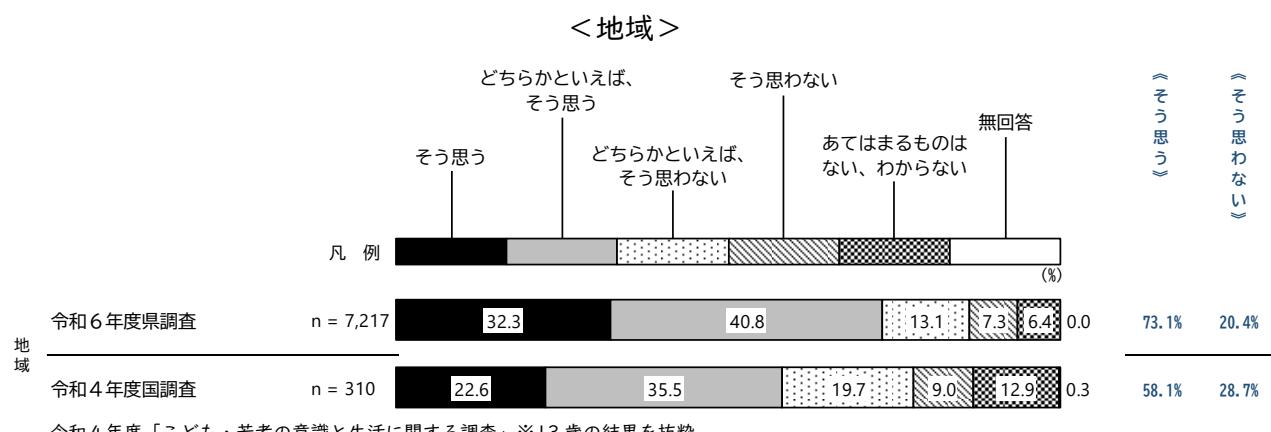
※¹「児童の権利に関する条約の認知度等調査」では、小学校1～3年生、小学校4～6年生、中学生、高校生の方を対象として調査を実施していますが、比較分析にあたってはそのうち、本調査（中学2年生）の対象と近い「中学生」の集計結果を抜粋して比較を行っています。

※²「こども・若者の意識と生活に関する調査」では、10歳～69歳の方を対象として調査を実施していますが、比較分析にあたってはそのうち、本調査（中学2年生）の対象と同じく「調査年度の4月1日現在13歳」の集計結果を抜粋して比較を行っています。

II 分析結果の概要

1. 居場所について

『自分の部屋』『家庭』『学校』『地域』『インターネット空間』の各場所は居場所になっているかについて、1つでも《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」の合計）と回答した割合は99.3%と、こども大綱のこども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標の2022年の現状値（99.1%）に比べ0.2ポイント僅かに上回っています。特に、『地域』及び『インターネット空間』が令和4年度国調査に比べ10ポイント以上高くなっていることから、自分の家や学校以外の場所でも安心できる場が確保できていると考察されます。



2. 地域の支援場所について

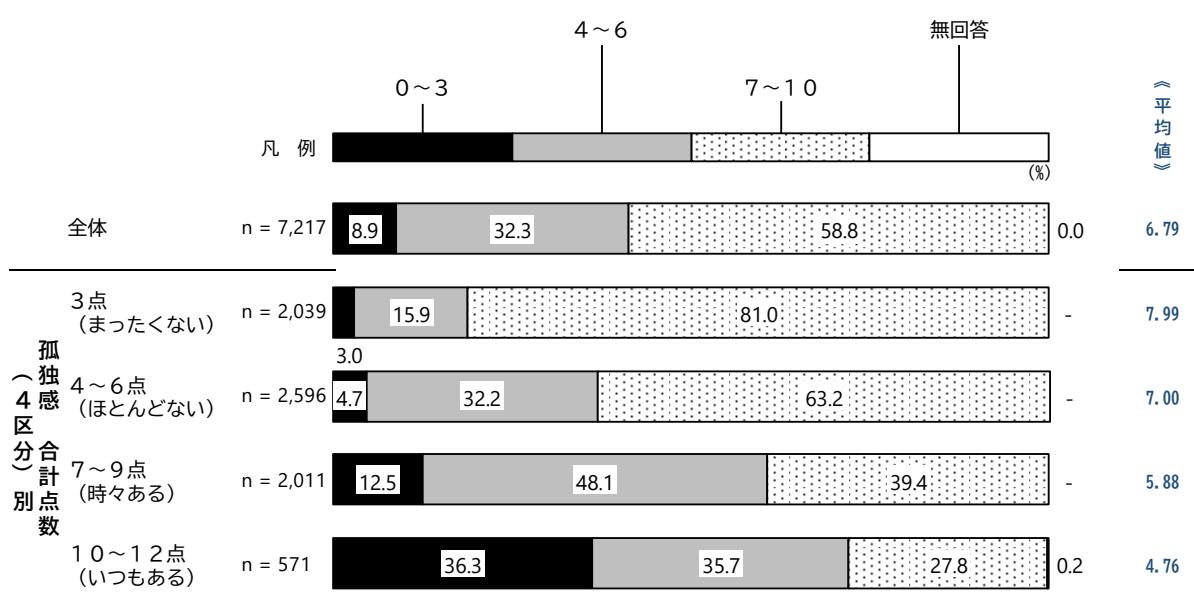
『(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所』『(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(こども食堂など)』『勉強を無料でしてくれる場所』『(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)』の各場所の利用経験について、令和2年度国調査と比較すると、「利用したことがある」「あれば利用したいと思う」は全ての項目で国調査よりも回答割合が高くなっています。特に「あれば利用したいと思う」は『夕ごはんを無料や安く食べることができる場所』で国調査よりも13.4ポイント高くなっています。宮城県ではいわゆる「こども食堂」の利用経験が比較的高く、利用ニーズも高いことがうかがえます。

また、上記を利用したことによる変化として令和2年度国調査と比較すると、特に、「友達が増えた」が10.4ポイント高くなっています、それ以外の項目でも国調査と比べて高い傾向があります。宮城県では地域の支援場所の利用によってポジティブな影響が広がっている状況がみられます。

3. 孤独感について

回答者の孤独感を把握するため、『自分には話せる人がいないと感じことがある』『自分はまわりから、取りのこされていると感じことがある』『自分はひとりぼっちだと感じことがある』の3つの項目についてスコア化し、令和4年度国調査と比較すると、宮城県の平均値は5.89点、国の平均値は5.20点となっており、0.69点宮城県では孤独感が高くなっています。

孤独感のスコアの合計点数(点数が高いほど「孤独感が高い」と評価する)別に生活の満足度をみると、孤独感の合計点数が高いほど生活の満足度が低く相関がみられます。このことから、こどもの孤独感を解消することで生活の満足度の向上が期待できると考えられます。



4. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかったことについて、7割近いこどもが「友達と遊ぶこと」と回答しており、「旅行に行くこと」(58.8%)、「友達と会話しながら昼食を食べること」(50.7%)でも半数以上のこどもが回答しています。新型コロナウイルス感染症の影響では日常の友人との交流が妨げられたことへの回答が主に多くなっています。

5. 宮城県のこどもの心理的傾向について

強さと困難アンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」を参考に問17のa～o15項目をスコア化して【向社会性（スコアが高いほどよい結果）】、【情緒の問題（スコアが高いほど悪い結果）】、【仲間関係の問題（スコアが高いほど悪い結果）】に分類し結果をまとめました。

令和2年度国調査と比較すると、【向社会性】【情緒の問題】【仲間関係の問題】いずれも国調査に比べネガティブな結果となっています。このことから、やや内向的かつ消極的で繊細なこどもが多い傾向や、やや一人でいたがる傾向がうかがえます。

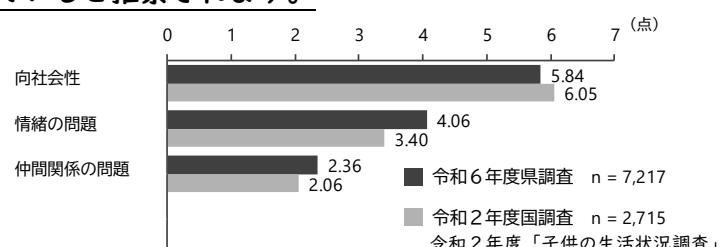
【情緒の問題】のスコアを困ったり悩んだりしていること別にみると、「家事や家族の世話のこと」「家族との関係のこと」「学校や先生のこと」が上位3項目となっています。家族や学校や先生のことで悩みを持つこどもは情緒がやや安定していない傾向にあります。

自身の考え方3分類のスコアを『今の自分が好きだ』『自分の親（保護者）から愛されていると思う』『うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む』『自分は役に立たないと強く感じる』の自己肯定感4項目別にみると、『今の自分が好きだ』及び『自分は役に立たないと強く感じる』では【情緒の問題】への影響が最も大きく、『自分の親（保護者）から愛されていると思う』及び『うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む』では【向社会性】への影響が最も大きくなっています。

自身の考え方3分類のスコアを孤独感の点数別にみると、孤独感の点数が高いほど【情緒の問題】【仲間関係の問題】への影響が大きくなっています。

以上から、自身の考え方には自己肯定感、孤独感と密接に関係しており、特に、家族や学校といった身近な人との良好な関係性はこどもの心の安定感に影響を与えると考えられます。

『今の自分が好きだ』『自分の親（保護者）から愛されていると思う』『うまくいかないことにもがんばって取り組む』『自分は役に立たないと強く感じる』の自己肯定感4項目について、令和4年度国調査と比較すると、《あてはまる》（「あてはまる」+「まあまああてはまる」の合計）では『自分は役に立たないと強く感じる』が11.1ポイント高くなっている一方、『今の自分が好きだ』は13.4ポイント低くなっています。国調査に比べ自己肯定感が低く、自分に自信がない傾向にある一方、国調査と同様に『うまくいかないことにもがんばって取り組む』は8割弱のこどもがあてはまると回答しており、多くのこどもが努力する姿勢を持っていると推察されます。



向社会性：あてはまるほど社会性が高い
情緒の問題：あてはまるほど問題性が高い
仲間関係の問題：あてはまるほど問題性が高い

6. 生活の満足度について

生活の満足度について「0」から「10」での11段階でたずね、「0～3」「4～6」「7～10」の3区分に分けて集計したところ、「7～10」が約6割と最も高く、平均値は6.79となっています。令和2年度国調査と比較しても、全体的な回答結果および平均値に大きな差はありませんでした。

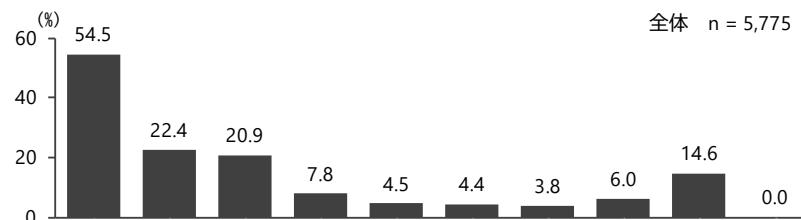
生活の満足度の3区別に宮城県に住み続けたい、または他の地域に移り住むことになってもどってきたいかをみると、満足度が「0～3」のこどもでは「そう思わない」が全体に比べ10ポイント以上高くなっています。現在の生活に満足していないこどもの定住・Uターンの意向は低いことが考えられます。

7. 進学希望について

進学希望について、「大学まで」が43.8%と最も高く、次いで「高校まで」(19.8%)、「専門学校まで」(10.7%)となっています。一方、「まだわからない」との回答も20.0%みられます。性別にみても、男女ともほぼ同等の割合が大学進学を希望しています。

進学希望別、希望の学校へ進学したい理由別に自分の将来について明るい希望を持っているかをみると、高校まで進学希望のこどもは大学まで進学希望のこどもに比べて《希望がある》（「希望がある」+「どちらかいえば希望がある」の合計）と回答した割合が低くなっています。

また、進学理由で「希望する学校や職業があるから」と回答したこどもは他の進学理由に比べ《希望がある》の回答割合が高くなっています。目標のあるこどもは将来に明るい希望を持っていると考えられます。



進学希望別	n	理由別割合 (%)											全体 n = 5,775
		業希望があるから学校や職	え自分の成績から考	る親からそう言つてい	い兄・か姉らがそうして	か達まらがわそりうの先して輩いやる友	る早く働く必要があ	思家にお金がないと	その他	特に理由はない	無回答		
高校まで	1,428	32.9	42.0	16.3	8.2	4.9	10.9	8.5	4.9	18.6	0.1	-	
専門学校まで	772	84.2	13.0	7.8	6.0	1.3	3.0	3.2	1.6	6.1	-	-	
5年制の高等専門学校まで	57	75.4	14.0	19.3	5.3	-	3.5	3.5	5.3	7.0	-	-	
短大まで	141	60.3	19.9	17.0	5.7	7.1	4.3	2.8	3.5	18.4	-	-	
大学まで	3,158	55.5	16.0	26.9	8.6	5.2	1.9	1.7	7.2	15.3	-	-	
大学院まで	181	72.4	22.1	14.9	3.3	2.8	2.8	4.4	13.8	7.2	-	-	
その他	8	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	37.5	25.0	-	-	

8. 結婚・出産・子育てについて

結婚に対する考え方について、男女とも《結婚したい》（「結婚したい」+「どちらかといえば結婚したい」の合計）が半数以上となっています。一方で、「今は考えていない」は 25%程度、「わからない」は 10%程度回答がみられます。

結婚に対して持っているイメージについて、良いイメージの項目である「好きな人や子どもといっしょにいられて幸せそう」が 67.0%と最も高くなっていますが、次いで悪いイメージの項目である「家事や子育てが大変そう」(52.9%)、「お金がかかりそう」(46.7%) が続いており、性別にみると悪いイメージの項目ではいずれも男性に比べ女性の回答割合が高くなっています。特に、「家事や子育てが大変そう」「自分の時間が減りそう」「面倒そう・つかれそう」では男性に比べ 10 ポイント以上高くなっています。

将来子どもを持ちたいかについて、男女とも《持ちたい》（「持ちたい」+「どちらかといえば持ちたい」の合計）が結婚願望同様に半数以上となっています。一方で、「考えたことがない」「わからない」はいずれも 15%程度回答がみられます。

子育てに対して持っているイメージについて、良いイメージの項目である「楽しいことが増えそう」が 57.1%と最も高く、次いで「幸せそう」(56.3%) となり、悪いイメージの項目である「仕事との両立が大変そう」(52.7%) が続いています。性別にみると、良いイメージの項目では男女間で大きな差はみられませんが、一方で悪いイメージの項目ではいずれも男性に比べ女性の回答割合が高くなっています。特に、「仕事との両立が大変そう」「お金がかかりそう」「面倒そう・つかれそう」では男性に比べ 10 ポイント以上高くなっています。

約半数のこどもは中学2年生の段階で結婚・子育ての希望を持っているものの、結婚については悪いイメージの方が先行しがちで、特に、女性で顕著になっています。

近年では男女共同参画推進により、家庭生活での役割分担意識が広がりつつあるものの、こどもたちもいまだ家庭で女性の負担が多いイメージを持っていることがうかがえます。

9. 将来について

自分の将来について明るい希望を持っているかについて、《希望がある》（「希望がある」+「どちらかといえば希望がある」の合計）が 75.2%、《希望がない》（「どちらかといえば希望がない」+「希望がない」の合計）が 24.9% となっています。明るい希望を持てていないこどもほど悩みの個数も多い傾向にあります。

自分の将来について明るい希望を持っているか別に困ったり悩んだりしていることをみると、希望がないこどもほど「自分の将来のこと」の回答割合が増加しています。また、「自分の外見や性格のこと」「友達や仲間のこと」「お金のこと」「家族との関係のこと」「学校や先生のこと」で希望がないこどもは全体に比べ 10 ポイント以上高くなっています。人間関係に悩んだりしているこどもで明るい希望を持てていないことがうかがえます。

【向社会性】への影響が出た『自分の親（保護者）から愛されていると思う』及び『うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む』別にみると、あてはまる度合いが高いほど将来について明るい希望がある度合いが高くなっています。

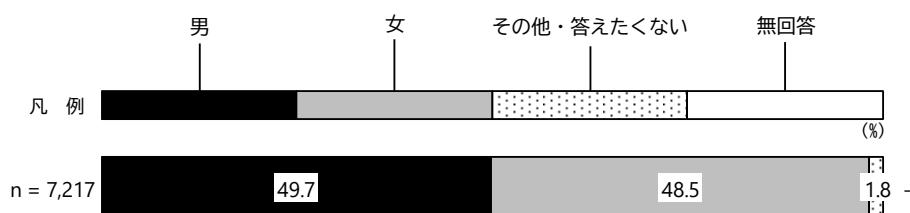
宮城県に住み続けたい、または他の地域に移り住むことになってしまってもどってきたいか別にみると、「そう思う」こどもでは約 8割が《希望がある》と回答しています。

III 調査結果

1 あなた自身について

1-1 性別

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

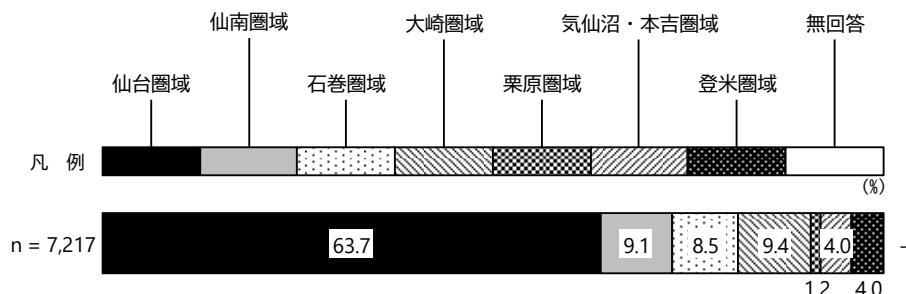


性別について、「男」が49.7%、「女」が48.5%となっています。

1-2 居住地

問2 あなたが現在住んでいる市町村を教えてください。(○は1つ)

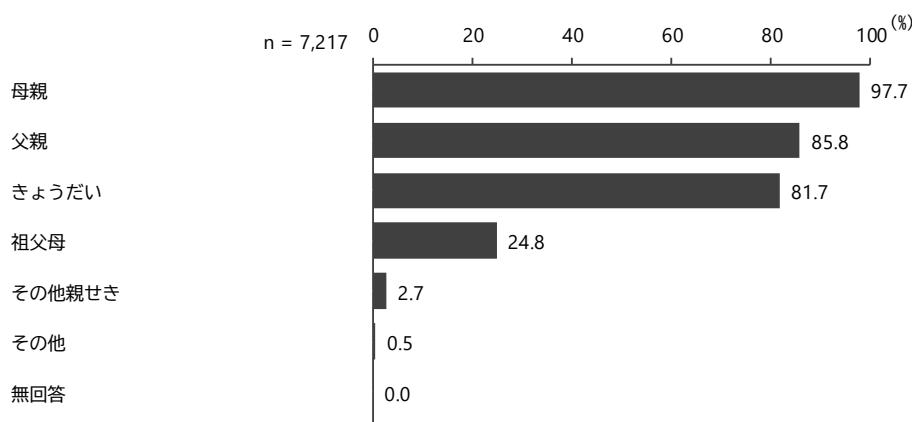
【居住圏域】



現在住んでいる市町村について7圏域に分類して集計したところ、「仙台圏域」が63.7%、「仙南圏域」が9.1%、「石巻圏域」が8.5%、「大崎圏域」が9.4%、「栗原圏域」が1.2%、「気仙沼・本吉圏域」が4.0%、「登米圏域」が4.0%となっています。おおむね宮城県の圏域ごとの生徒数と近い割合となっています。

1-3 同居家族

問3 現在、あなたがいっしょに住んでいる人をすべて選んでください。(○はいくつでも)

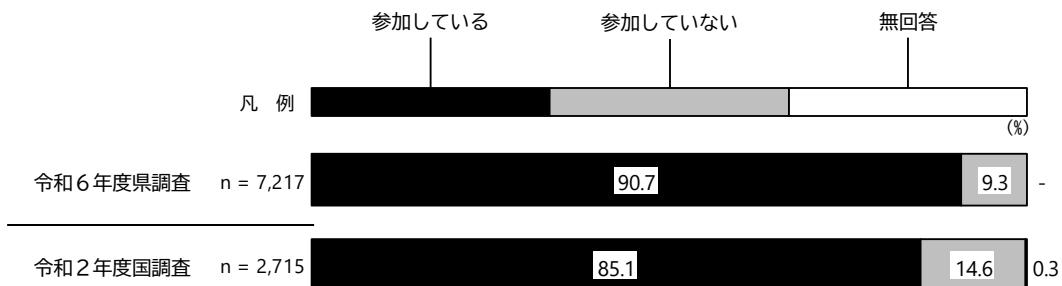


同居家族について、「母親」が97.7%、「父親」が85.8%、「きょうだい」が81.7%となっています。

2 ふだんの生活について

2-1 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動の参加状況

問4 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(○は1つ)



令和2年度「子供の生活状況調査」

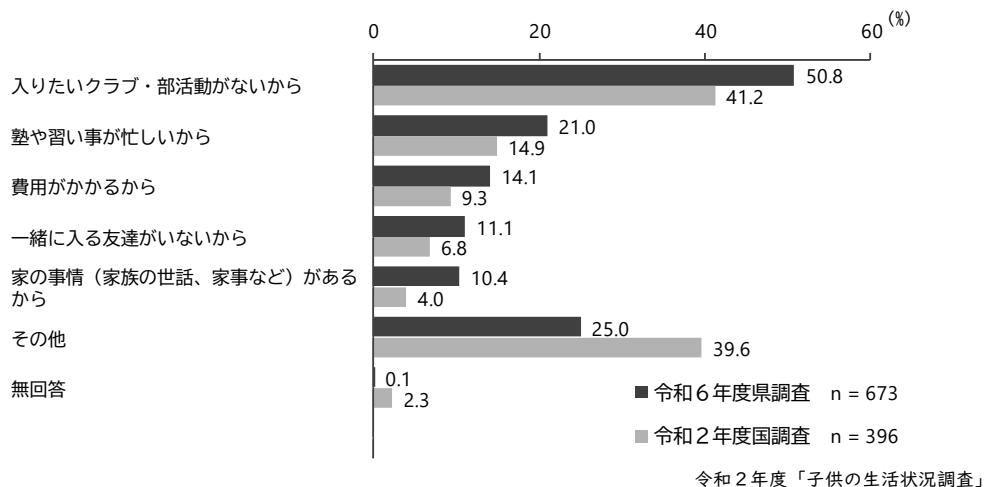
地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動の参加状況について、「参加している」が90.7%、「参加していない」が9.3%となっています。

令和2年度国調査と比較すると、「参加している」が5.6ポイント高くなっていますが、本問と次問（問5）は国調査結果に新型コロナウィルス感染症拡大による影響が表れている可能性があるため、参考値としての比較とします。

2-2 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由

【前の質問で、「参加していない」と答えた方にお聞きします。】

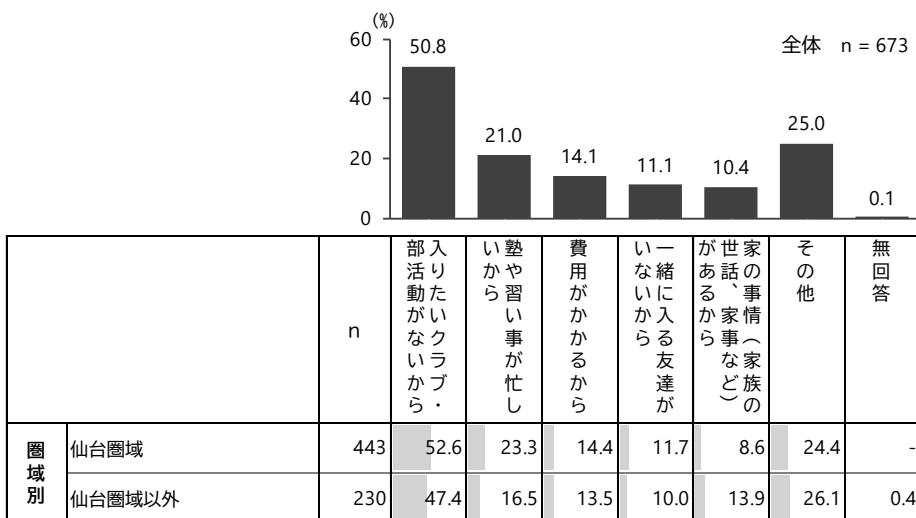
問5 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由は何ですか。
(○はいくつでも)



地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由について、「入りたいクラブ・部活動がないから」が50.8%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」(21.0%)、「費用がかかるから」(14.1%)となっています。

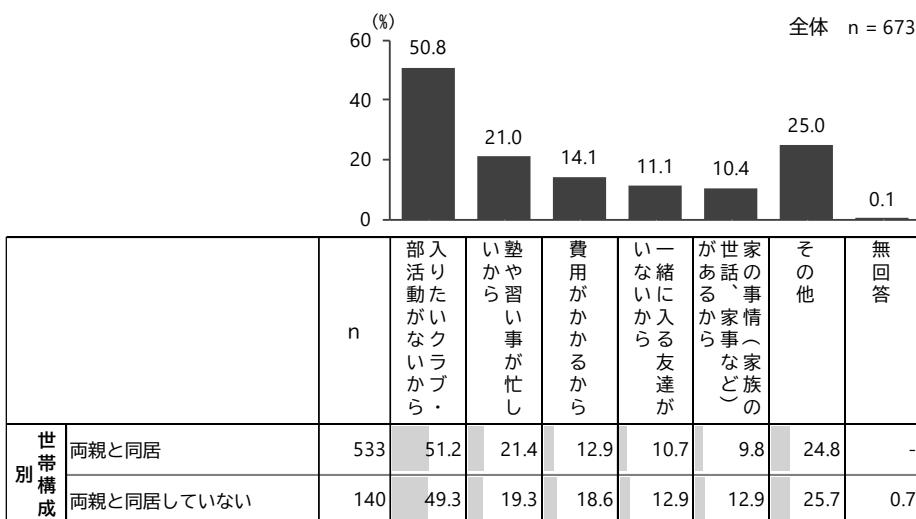
令和2年度国調査と比較すると、「その他」を除いた項目では国調査に比べ回答割合が高く、特に、「入りたいクラブ・部活動がないから」が9.6ポイント高くなっています。

◆圏域別／地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由



圏域別にみると、仙台圏域では「塾や習い事が忙しいから」が仙台圏域以外に比べ 6.8 ポイント、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 5.2 ポイント高くなっています。一方、仙台圏域以外では「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が仙台圏域に比べ 5.3 ポイント高くなっています。

◆世帯構成別／地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由

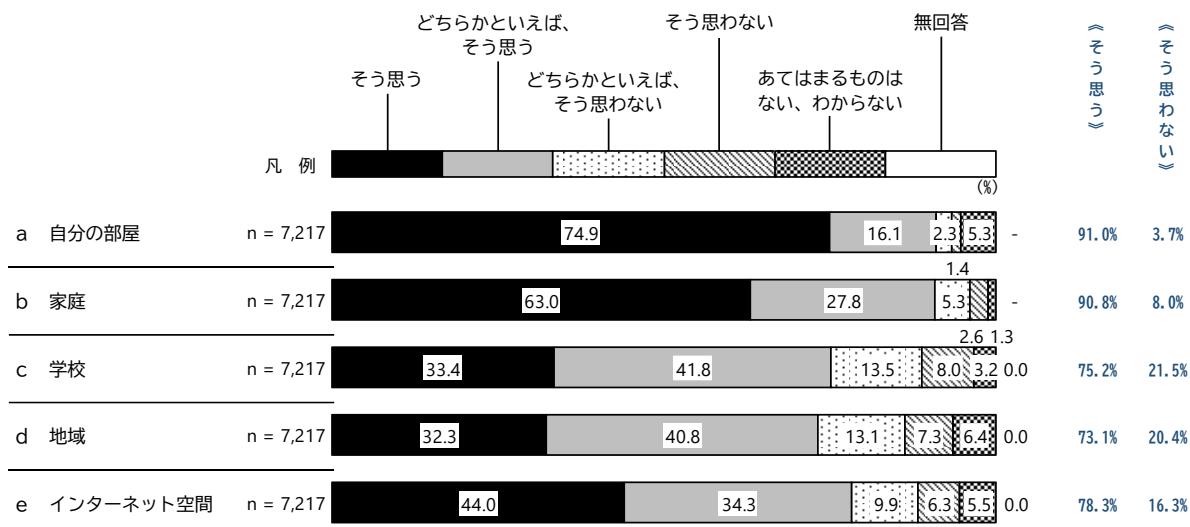


世帯構成別にみると、『両親と同居していない』世帯では『両親と同居』世帯に比べ「費用がかかるから」が 5.7 ポイント高くなっています。

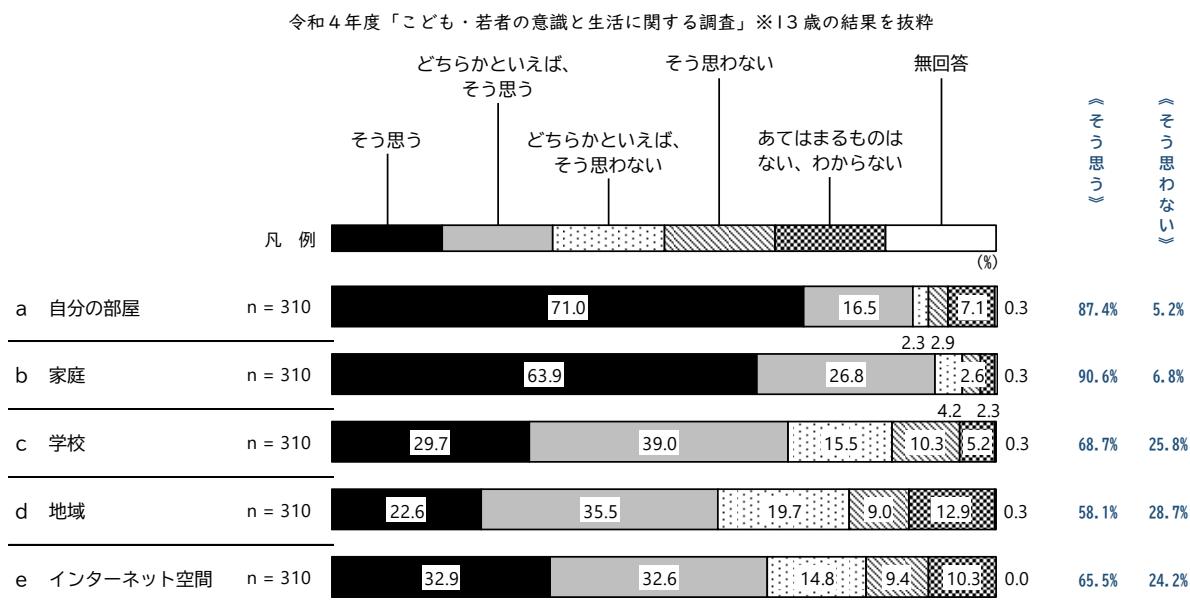
2-3 次の場所は居場所になっているか

問6 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（a～eそれぞれについて、1～5のいずれかに1つずつ○）

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】



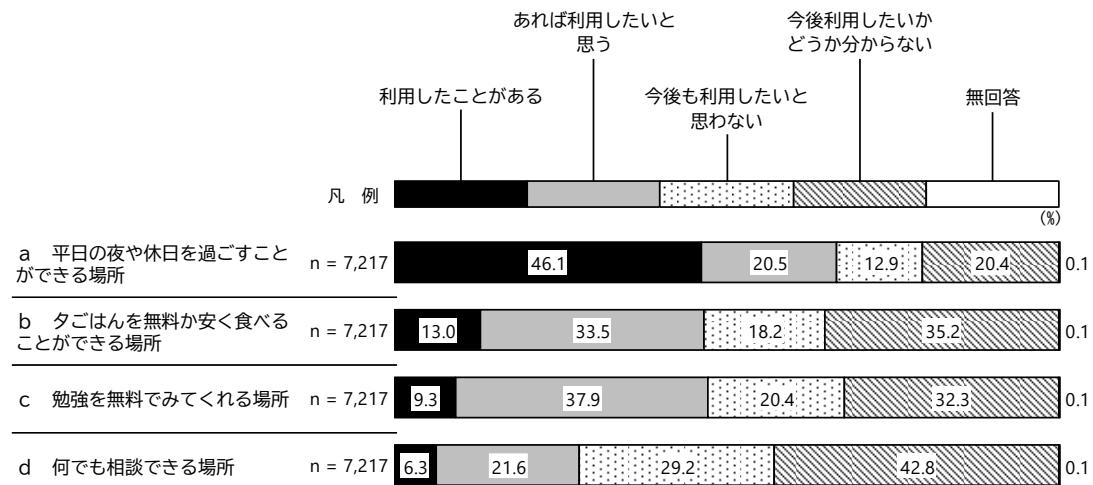
次の場所は居場所になっているかについて、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」の合計）は、全ての項目で7割を超え、特に、『a 自分の部屋』『b 家庭』では9割を超えています。なお、《安心できる場所がある》（1つでも《そう思う》と回答）の割合は99.3%となっています。

令和4年度国調査と比較すると、《そう思う》が『d 地域』で15.0ポイント、『e インターネット空間』で12.8ポイント高くなっています。

2-4 次のような場所の利用経験

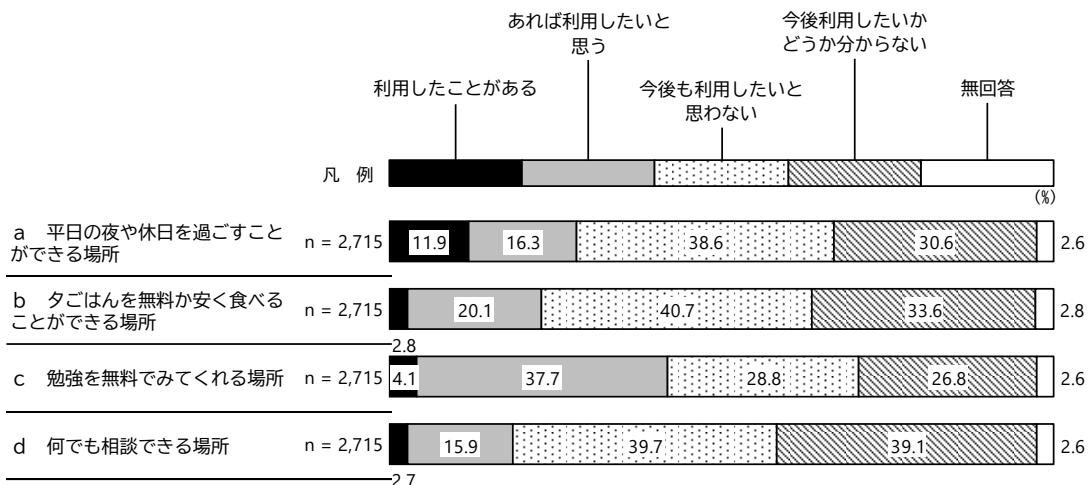
問7 あなたは、次のa~dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a~dそれぞれについて、1~4のいずれかに1つずつ○)

【令和6年度県調査】



【令和2年度国調査】

令和2年度「子供の生活状況調査」



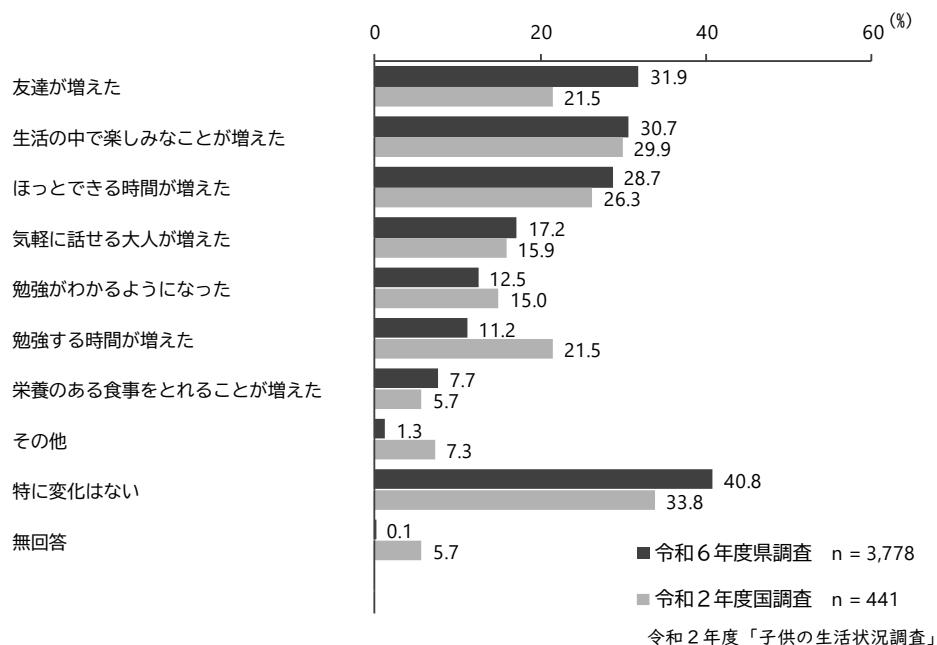
次のような場所の利用経験について、「利用したことがある」は『a 平日の夜や休日を過ごすことができる場所』が46.1%と最も高くなっています。

令和2年度国調査と比較すると、「利用したことがある」は全ての項目で令和2年度国調査に比べ回答割合が高くなっています。特に、『a 平日の夜や休日を過ごすことができる場所』が34.2ポイント高く、大きな差がみられます。また、「あれば利用したいと思う」も全ての項目で令和2年度国調査に比べ回答割合が高く、特に、『b 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所』では13.4ポイント高くなっています。

2-5 利用したことによる変化

【前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。】

問8 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(○はいくつでも)

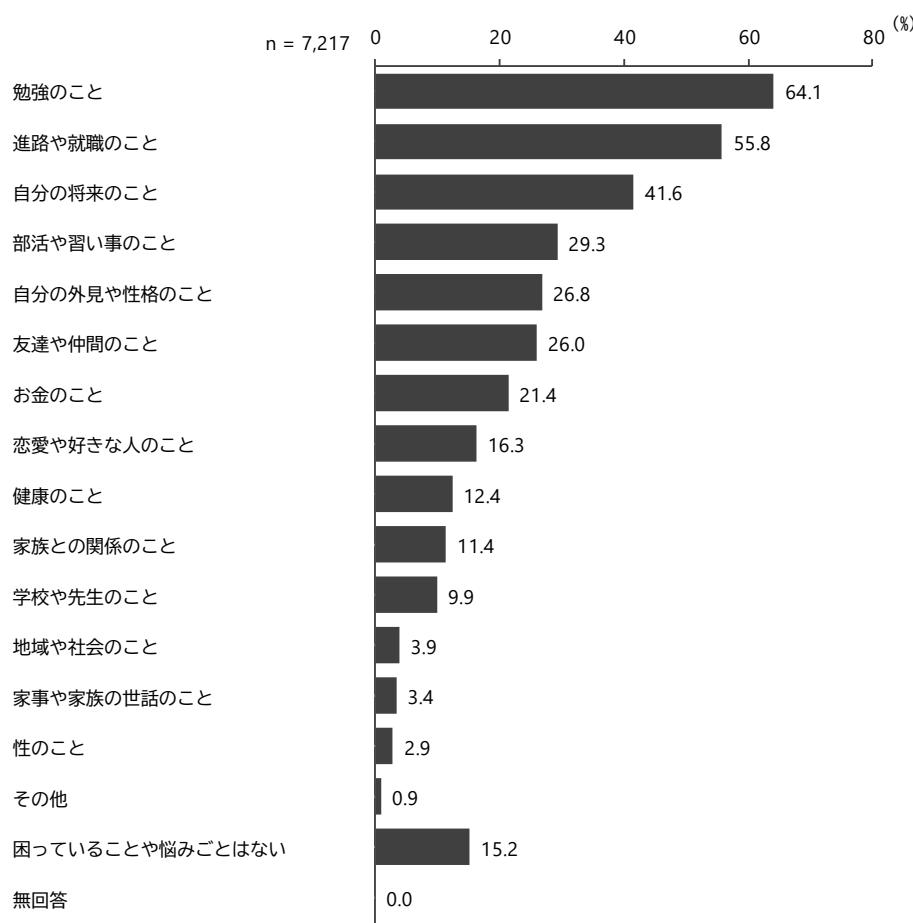


利用したことによる変化について、「友達が増えた」が31.9%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」(30.7%)、「ほっとできる時間が増えた」(28.7%)となっています。

令和2年度国調査と比較すると、国調査に比べ回答割合が高い項目が多く、特に、「友達が増えた」が10.4ポイント高くなっています。一方、「勉強がわかるようになった」及び「勉強する時間が増えた」は国調査に比べ回答割合が低く、特に、「勉強する時間が増えた」は10.3ポイント低くなっています。

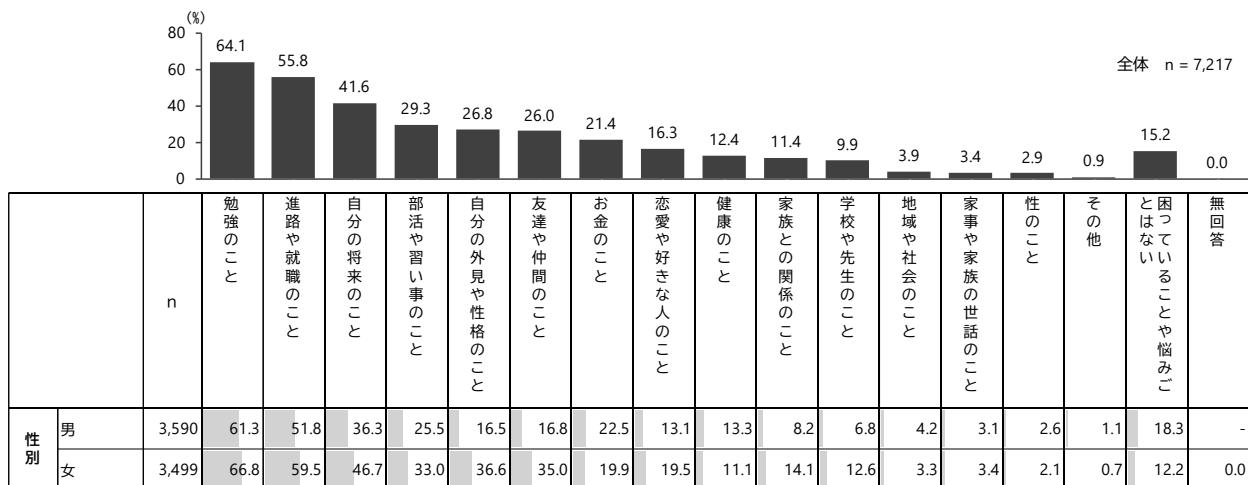
2-6 困ったり悩んだりしていること

問9 あなたはいま、どんなことに困ったり悩んだりしていますか。(○はいくつでも)



困ったり悩んだりしていることについて、「勉強のこと」が 64.1%と最も高く、次いで「進路や就職のこと」(55.8%)、「自分の将来のこと」(41.6%) となっています。

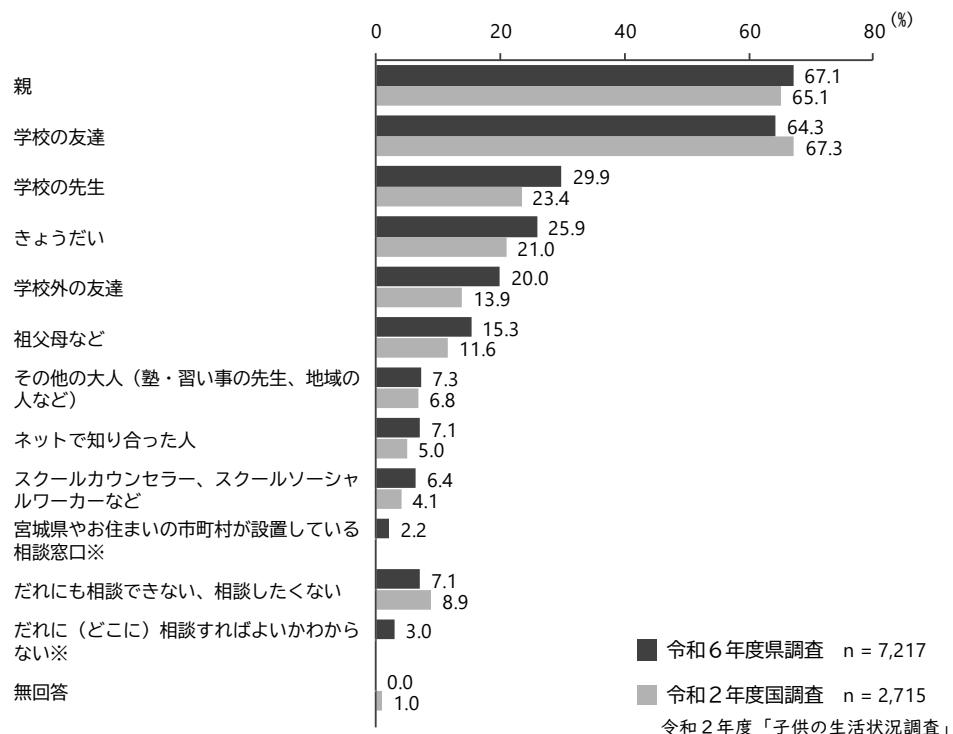
◆性別／困ったり悩んだりしていること



性別にみると、男性に比べ女性で回答割合の高い項目が多く、特に、「自分の外見や性格のこと」が 20.1 ポイント、「友達や仲間のこと」が 18.2 ポイント、「自分の将来のこと」が 10.4 ポイント高くなっています。

2-7 悩みごとや困りごとの相談相手

問10 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(○はいくつでも)



※「宮城県やお住まいの市町村が設置している相談窓口」「だれに（どこに）相談すればよいかわからない」は令和2年度国調査では未聴取

悩みごとや困りごとの相談相手について、「親」が67.1%と最も高く、次いで「学校の友達」(64.3%)、「学校の先生」(29.9%) となっています。

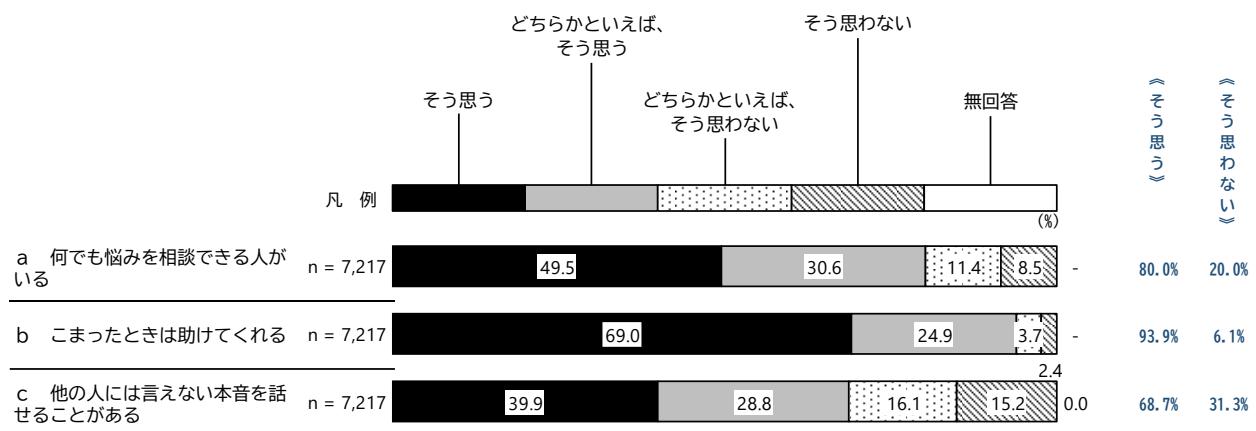
令和2年度国調査と比較すると、「学校の先生」が6.5ポイント、「学校外の友達」が6.1ポイント高くなっているなど、多少のポイント差はあるものの、全体的な回答結果に大きな差はみられませんでした。

3 家族や他者とのかかわりについて

3-1 家族・親せきとのかかわり

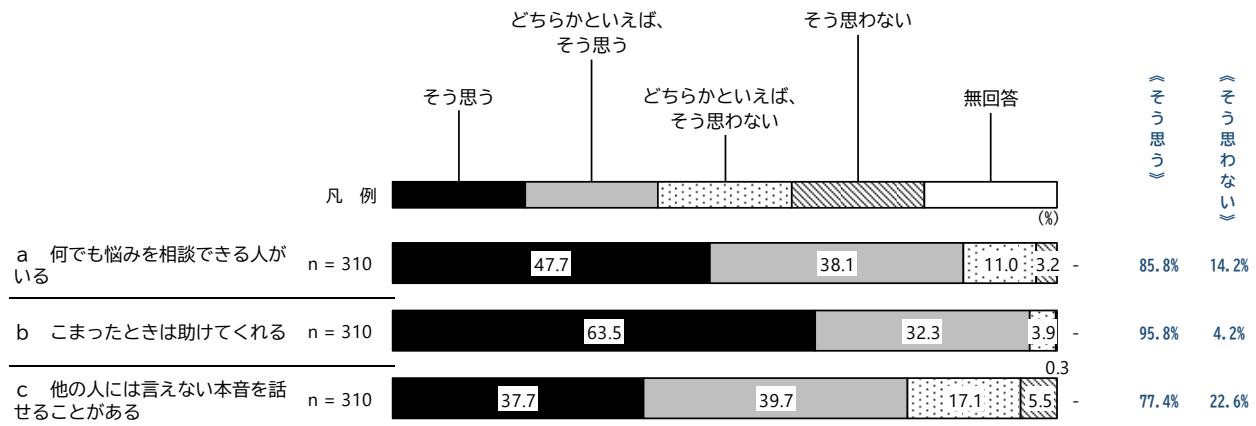
問11 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。(a～c それぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○)

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」(※13歳の結果を抜粋)



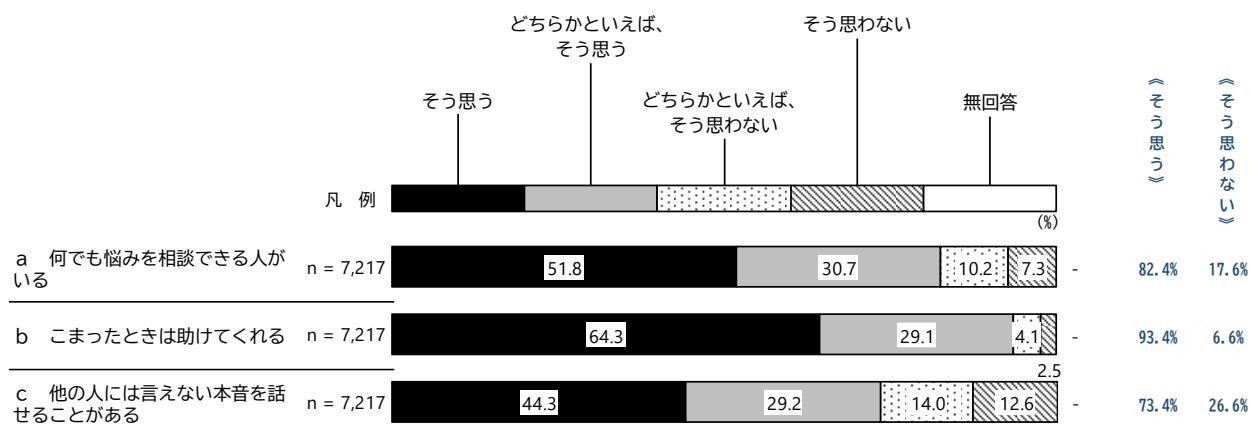
家族・親せきとのかかわりについて、《そう思う》(「そう思う」 + 「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、全ての項目で6割を超え、特に、『b こまつたときは助けてくれる』では9割を超えています。

令和4年度国調査と比較すると、『c 他の人には言えない本音を話せることがある』では《そう思う》が8.7ポイント低くなっています。

3-2 学校で出会った友達とのかかわり

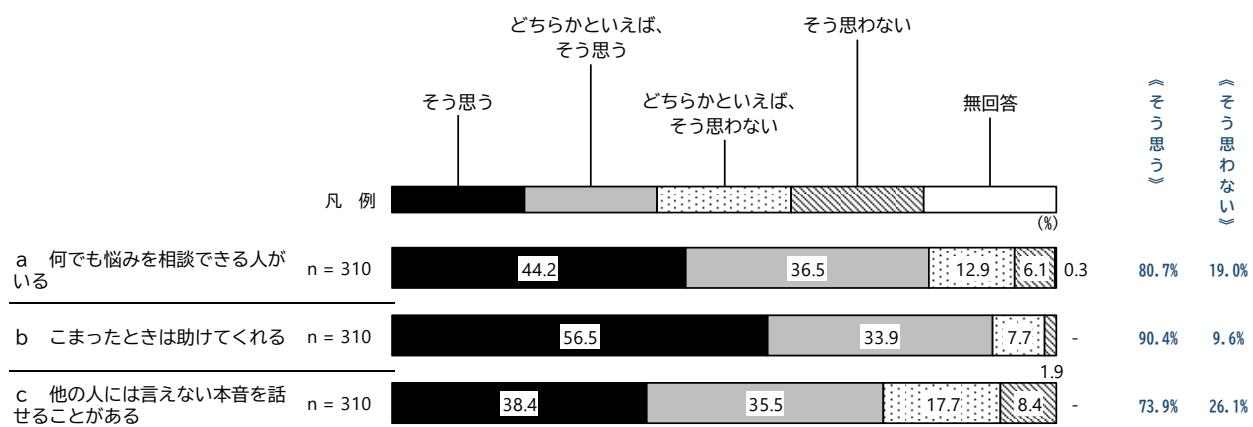
問12 学校で出会った友達（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友達など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（a～c それぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○）

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」（※13歳の結果を抜粋）



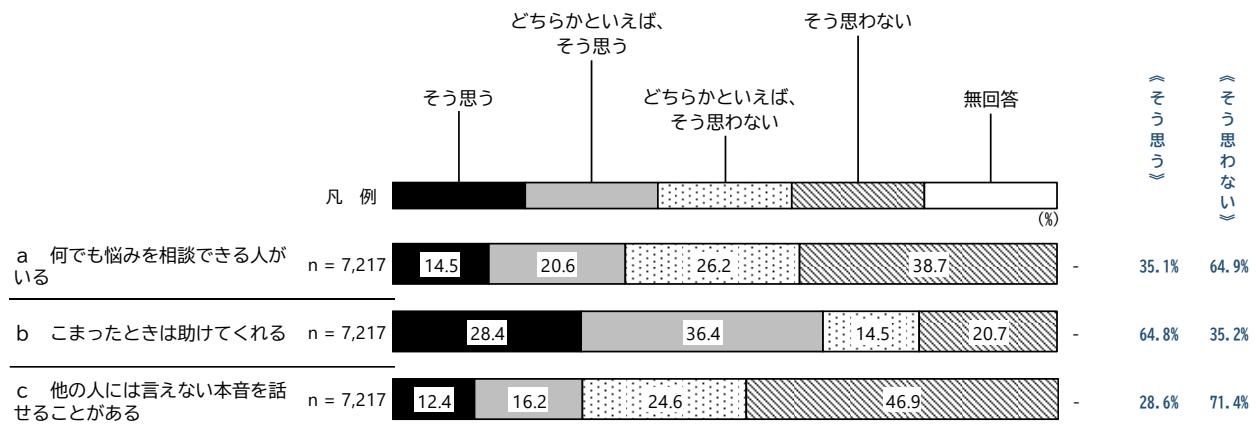
学校で出会った友達とのかかわりについて、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」の合計）は全ての項目で7割を超える、特に、『b こまつたときは助けてくれる』では9割を超えています。

令和4年度国調査と比較しても、全体的な回答結果に大きな差はみられませんでした。

3-3 地域の人とのかかわり

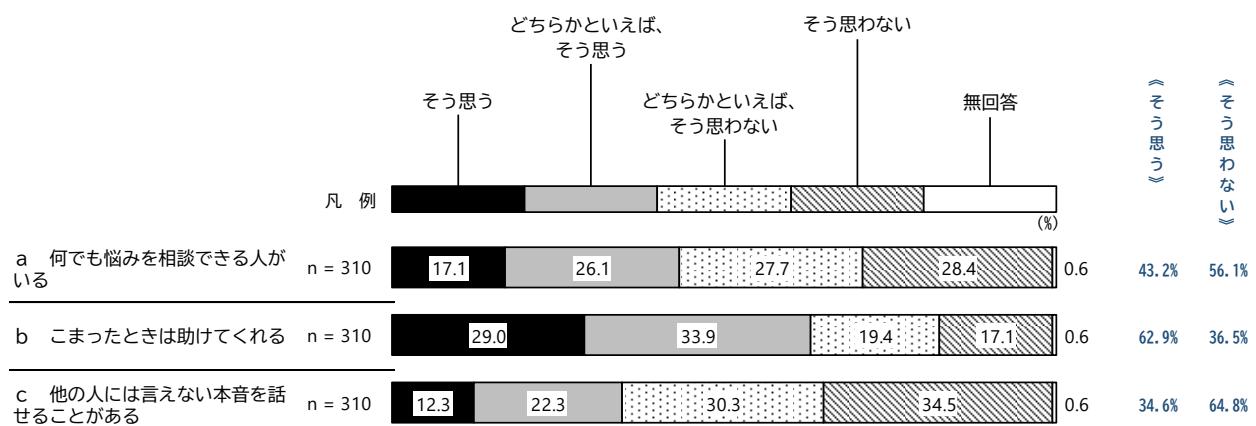
問13 地域の人（近所の人、塾や習い事での友達など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（a～c それぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○）

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」（※13歳の結果を抜粋）



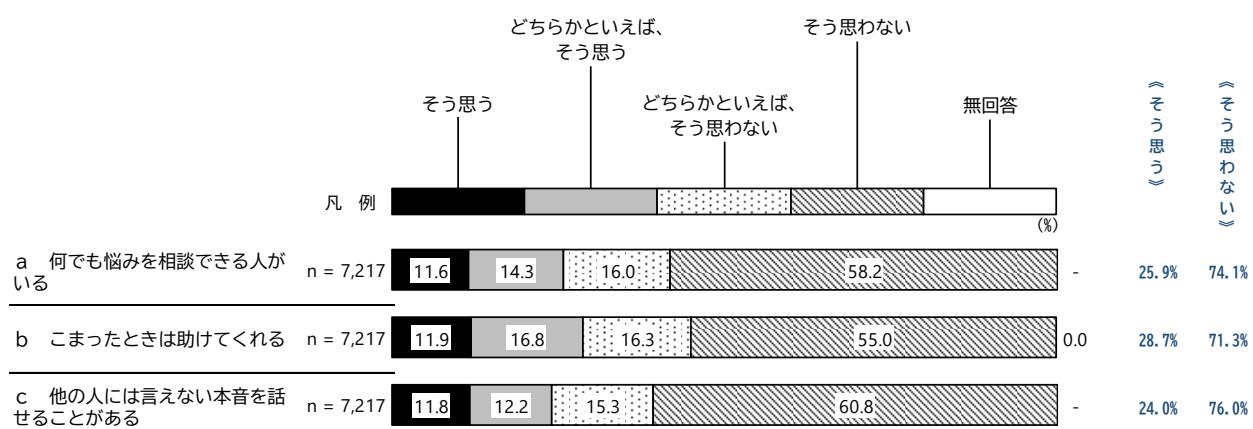
地域の人とのかかわりについて、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」の合計）は『b こまつたときは助けてくれる』が6割を超えており、『a 何でも悩みを相談できる人がいる』及び『c 他の人には言えない本音を話せることがある』は2～3割にとどまっています。

令和4年度国調査と比較すると、《そう思う》が『a 何でも悩みを相談できる人がいる』で8.1 ポイント、『c 他の人には言えない本音を話せることがある』で6.0 ポイント低くなっています。

3-4 インターネット上における人やグループとのかかわり

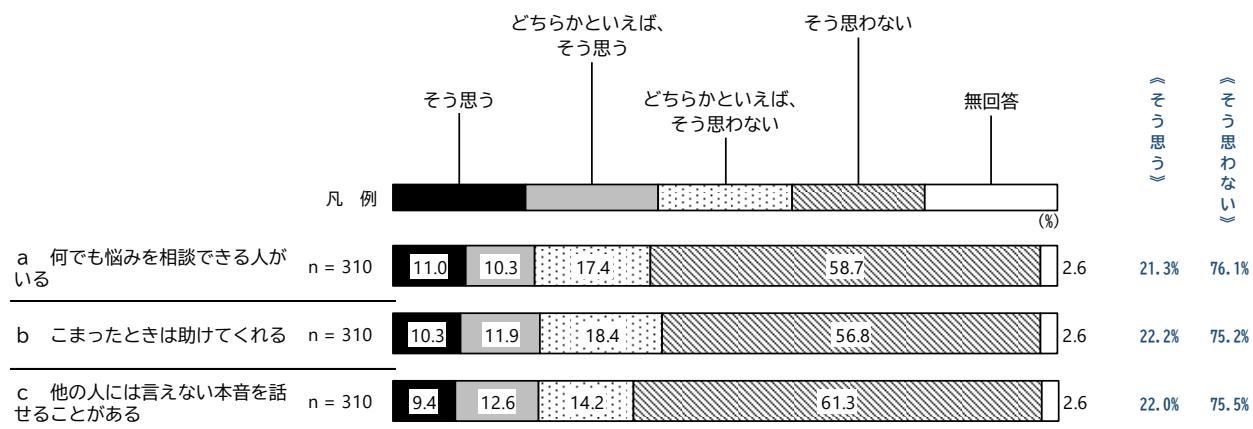
問 14 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（a～c それぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○）

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」（※13歳の結果を抜粋）



インターネット上における人やグループとのかかわりについて、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」の合計）は、全ての項目で2割台となっています。

令和4年度国調査と比較すると、《そう思う》は全ての項目で国調査よりも回答割合が高く、特に、『b こまつたときは助けてくれる』が6.5ポイント高くなっています。

◆問 11～14 味方になってくれる人の種類ごとのスコア

計算式：4点×「そう思う」の人数+3点×「どちらかといえば、そう思う」の人数+2点×「どちらかといえば、そう思わない」の人数+1点×「そう思わない」の人数/「そう思う」～「そう思わない」の人数でスコアを算出。

問 11～14 までのかかわる人を『a 何でも悩みを相談できる人』『b こまったときは助けてくれる人』『c 他の人には言えない本音を話せることがある人』の味方になってくれる人として3分類し、上記の計算式でスコアを算出しました。

（例）a 何でも悩みを相談できる人のスコアの算出の仕方

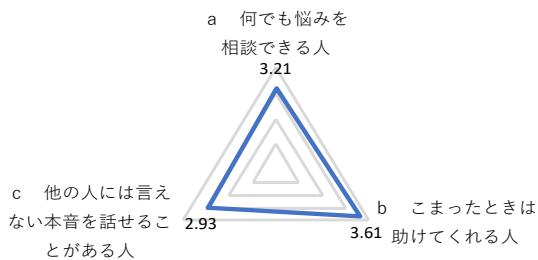
問 11～14 味方になってくれる人

a	何でも悩みを相談できる人
b	こまったときは助けてくれる人
c	他の人には言えない本音を話せることがある人

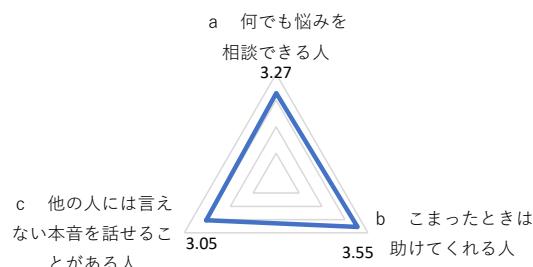
問 11～14 a 何でも悩みを相談できる人

		そう思う	どちらかといえ、 そう思う	どちらかといえ、 そう思わない	そう思わない
問 11	家族・親せきとのかかわり	4点	3点	2点	1点
問 12	学校で出会った友達とのかかわり	4点	3点	2点	1点
問 13	地域の人とのかかわり	4点	3点	2点	1点
問 14	インターネット上における人や グループとのかかわり	4点	3点	2点	1点

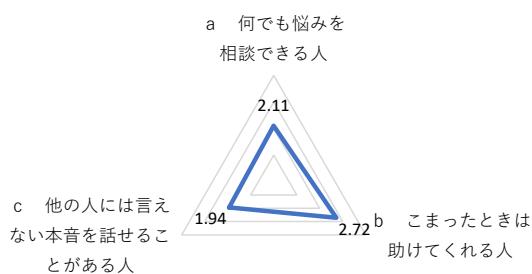
【家族・親せきとのかかわり】



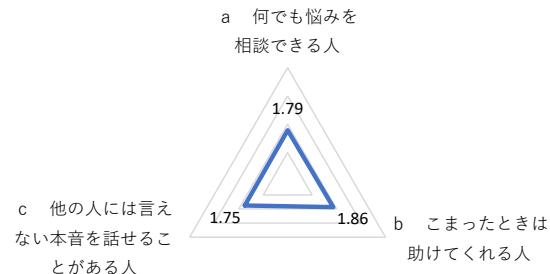
【学校で出会った友達とのかかわり】



【地域の人とのかかわり】



【インターネット上における人やグループとのかかわり】

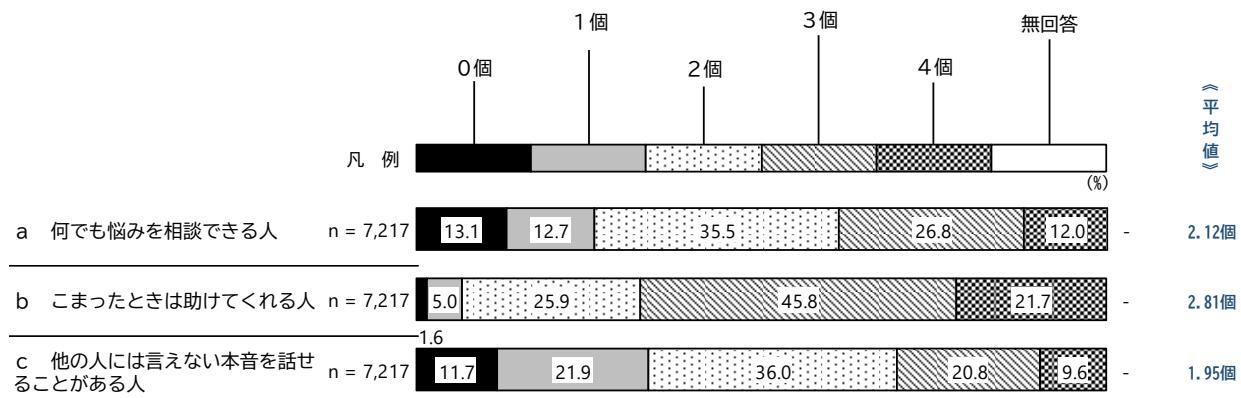


『a 何でも悩みを相談できる人』及び『c 他の人には言えない本音を話せることがある人』では【学校で出会った友達とのかかわり】で最もスコアが高くなっています。

『b こまったときは助けてくれる人』では【家族・親せきとのかかわり】で最もスコアが高くなっています。

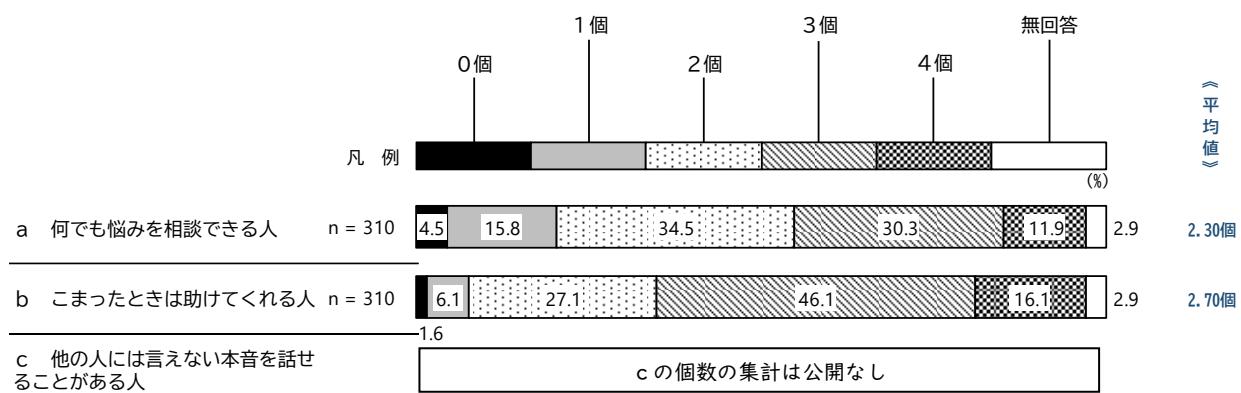
◆味方になってくれる人ごとの「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の個数

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」(※13歳の結果を抜粋)



問11～14までの味方になってくれる人ごとに「そう思う」～「そう思わない」の各項目のうち「そう思う」及び「どちらかといえば、そう思う」の個数を集計しました。平均値は、『b こまつたときは助けてくれる人』が2.81個と最も高くなっている一方、『c 他の人には言えない本音を話せることがある人』は1.95個と、差は0.86個となっています。

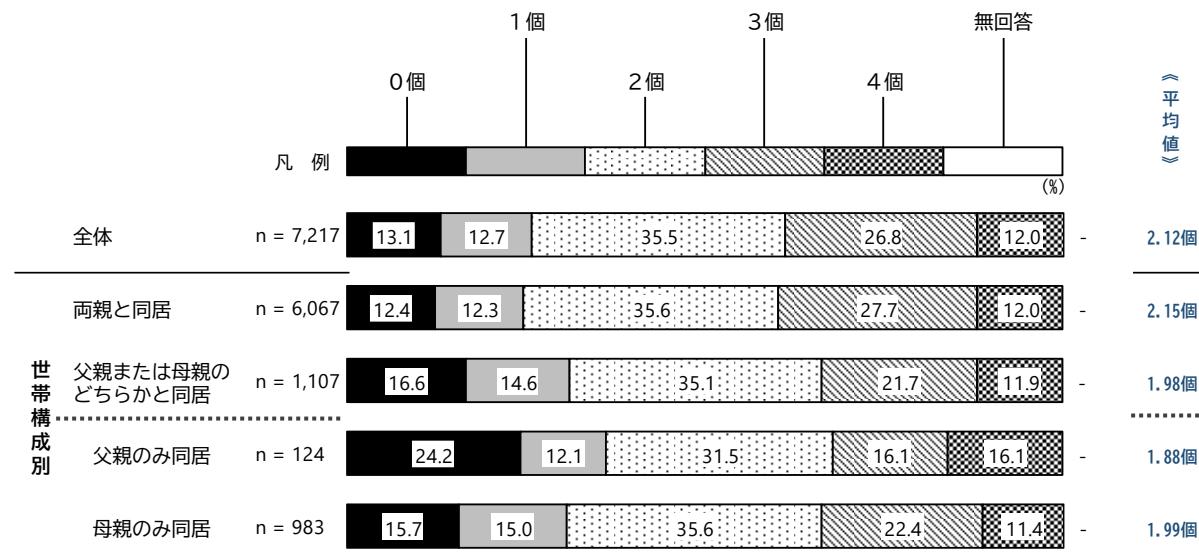
『b こまつたときは助けてくれる人』のうち家族・親せき、友達、地域の人、インターネット上の人の誰かには助けを求められると思っている『どこかに助けてくれる人がいる』人の割合は98.4%となっています。

令和4年度国調査と比較すると、『b こまつたときは助けてくれる人』では平均値がやや高くなっています。

◆世帯構成別

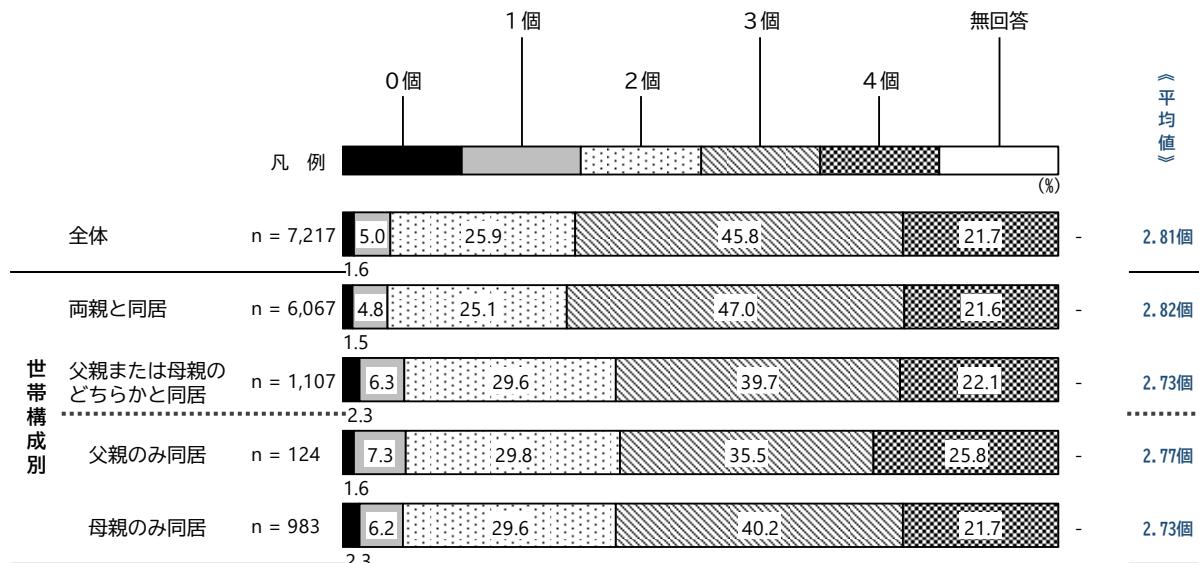
／味方になってくれる人ごとの「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の個数

<a 何でも悩みを相談できる人>



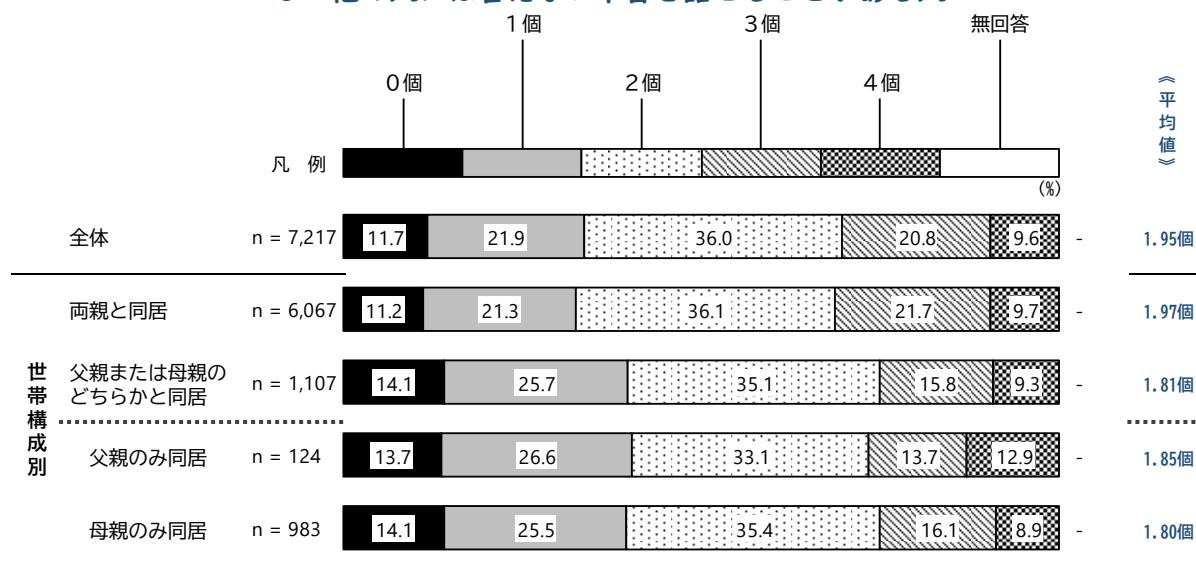
『a』について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の回答個数を世帯構成別にみると、「0個」及び「1個」は『両親と同居』世帯に比べ『父親または母親のどちらかと同居』世帯の回答割合が高く、特に、「0個」では、『父親のみ同居』世帯で2割を超えています。平均値は、『両親と同居』世帯が『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べやや高くなっています。

<b こまつたときは助けてくれる人>



『b』について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の回答個数を世帯構成別にみると、『両親と同居』世帯では「3個」が『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べ7.3ポイント高くなっています。平均値は、『両親と同居』世帯が『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べやや高くなっています。

<c 他の人には言えない本音を話せることがある人>

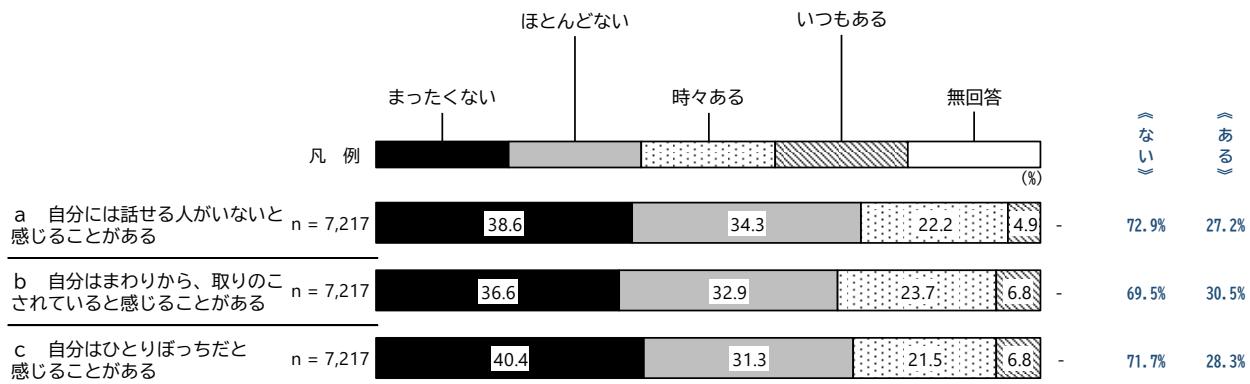


『c』について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の回答個数を世帯構成別にみると、「2個」以上では『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べ『両親と同居』世帯の回答割合が高く、特に、「3個」が5.9ポイント高くなっています。平均値は、『両親と同居』世帯が『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べやや高くなっています。

3-5 孤独感

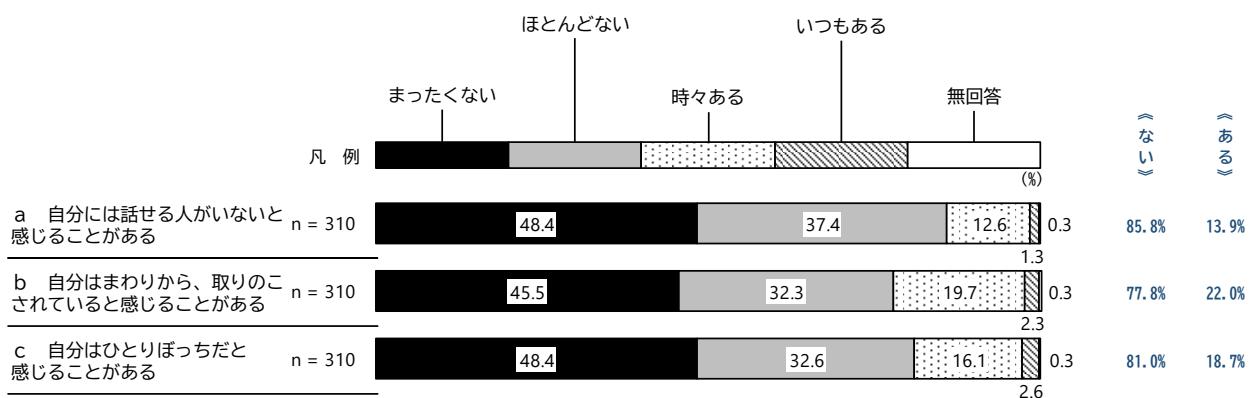
問15 以下の項目について、あなたはどのくらいよく感じていますか。(a~c それぞれについて、1~4のいずれかに1つずつ○)

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

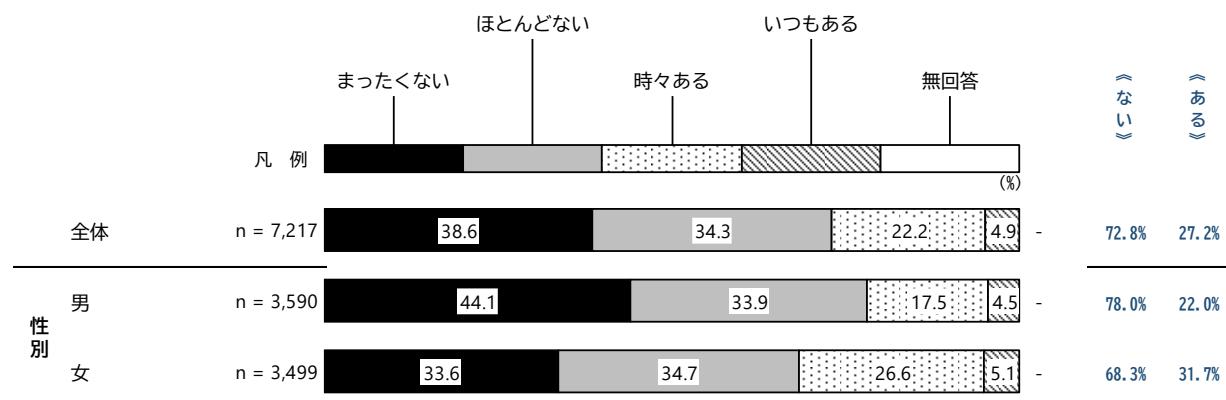
令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」(※13歳の結果を抜粋)



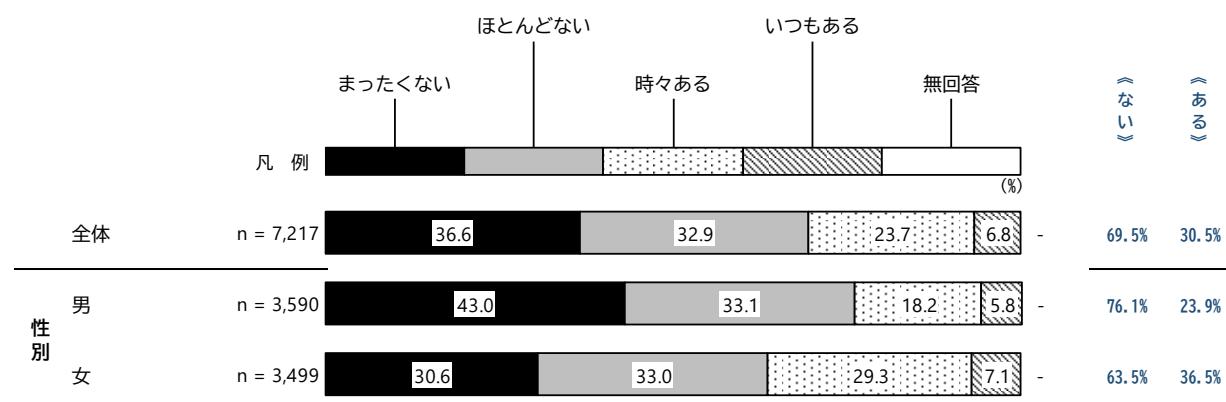
回答者の孤独感を把握するため、3つの項目についてどのくらいよく感じているかをたずねたところ、全ての項目で《ある》(「時々ある」+「いつもある」の合計)が約3割となっています。

令和4年度国調査と比較すると、全ての項目で《ある》の回答割合が高くなっています。特に、『a 自分には話せる人がいないと感じることがある』が13.3ポイント高くなっています。

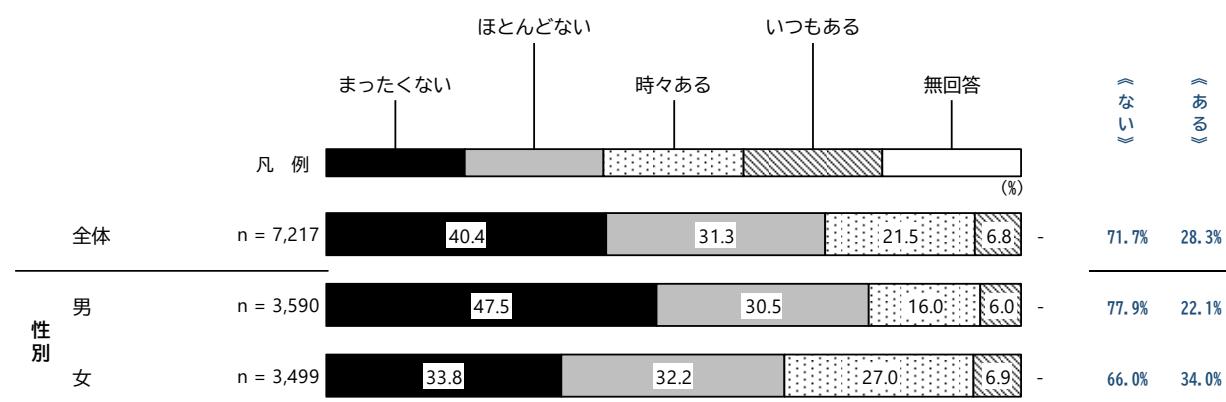
◆性別／a 自分には話せる人がいないと感じることがある



◆性別／b 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある



◆性別／c 自分はひとりぼっちだと感じることがある



性別にみると、『a』～『c』いずれも女性では《ある》の回答割合が男性に比べ約10ポイント高くなっています。

◆孤独感 合計点数（4区分）

前述した孤独感を把握するための3つの項目について、下記の計算式でスコア及びその合計点数を算出しました。この合計点数が高いほど、「孤独感が高い」と評価するものとなっていきます。

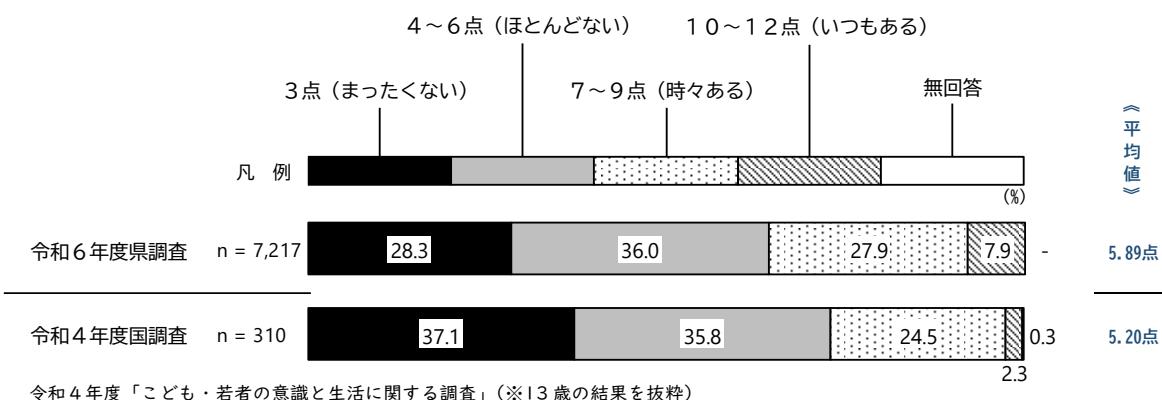
計算式

合計点数：1点×「まったくない」の人数+2点×「ほとんどない」の人数+3点×「時々ある」の人数+4点×「いつもある」の人数/「まったくない」～「いつもある」の人数でスコアを算出し、「a 自分には話せる人がいないと感じることがある」のスコア+「b 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある」のスコア+「c 自分はひとりぼっちだと感じることがある」のスコアで合計点数を算出。

平均値：「a 自分には話せる人がいないと感じることがある」のスコア+「b 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある」のスコア+「c 自分はひとりぼっちだと感じることがある」のスコア/調査数で平均値を算出。

問15 孤独感の算出

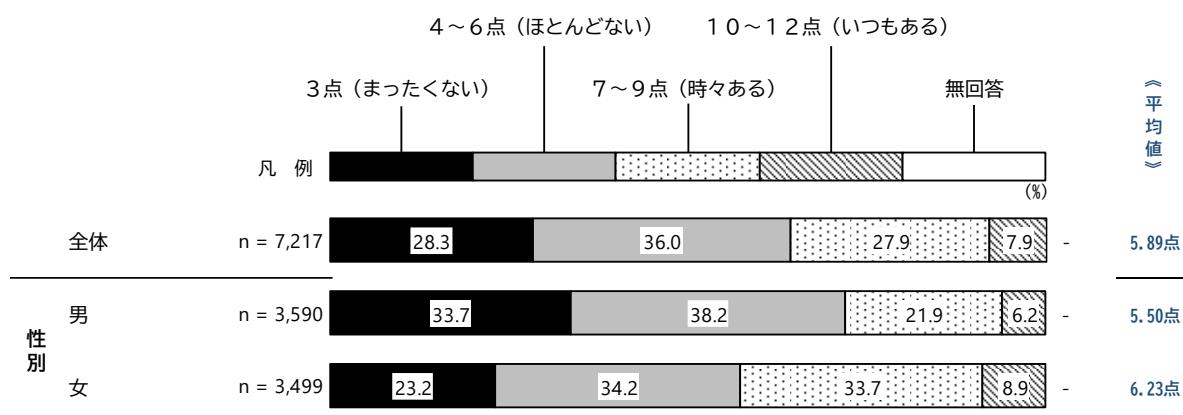
		まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある
a	自分には話せる人がいないと感じることがある	1点	2点	3点	4点
b	自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある	1点	2点	3点	4点
c	自分はひとりぼっちだと感じることがある	1点	2点	3点	4点



孤独感の合計点数について上図のように4区分に分類して集計したところ、「4～6点（ほとんどない）」が36.0%と最も高く、次いで「3点（まったくない）」(28.3%)、「7～9点（時々ある）」(27.9%) となっており、平均値は5.89点となっています。

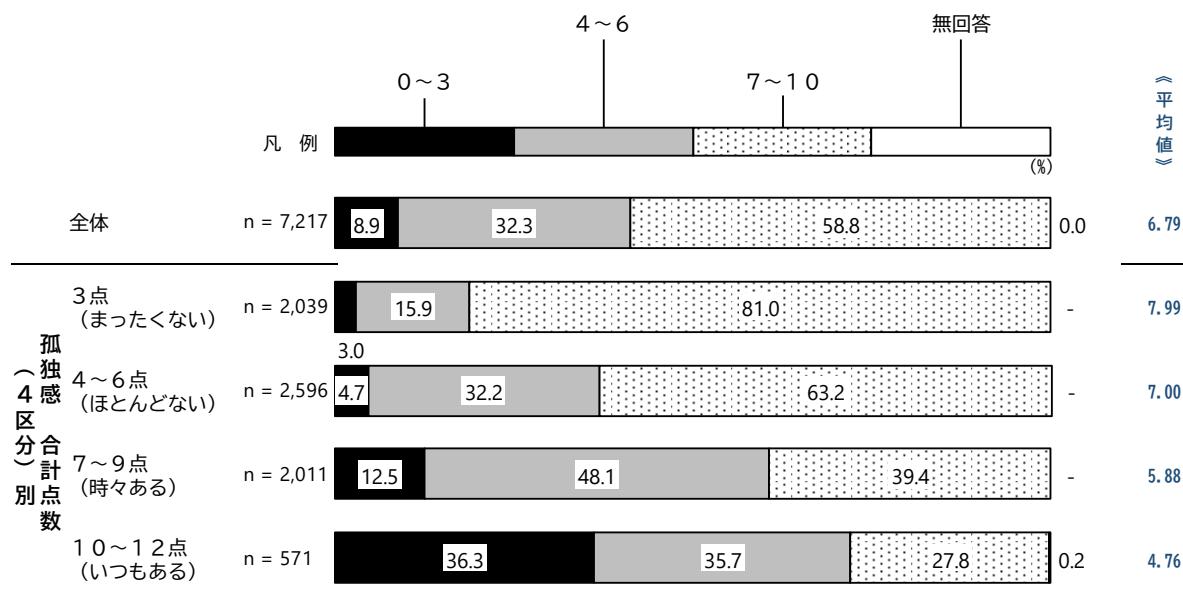
令和4年度国調査と比較すると、平均値は国調査に比べ0.69点高くなっています。

◆性別／孤独感 合計点数（4区分）



孤独感の合計点数（4区分）を性別にみると、男性では「3点（まったくない）」が女性と比べ 10.5 ポイント高く、女性では「7～9点（時々ある）」が男性に比べ 11.8 ポイント高くなっています。平均値は、女性が男性に比べ 0.73 点高くなっています。

◆孤独感 合計点数（4区分）別／生活の満足度



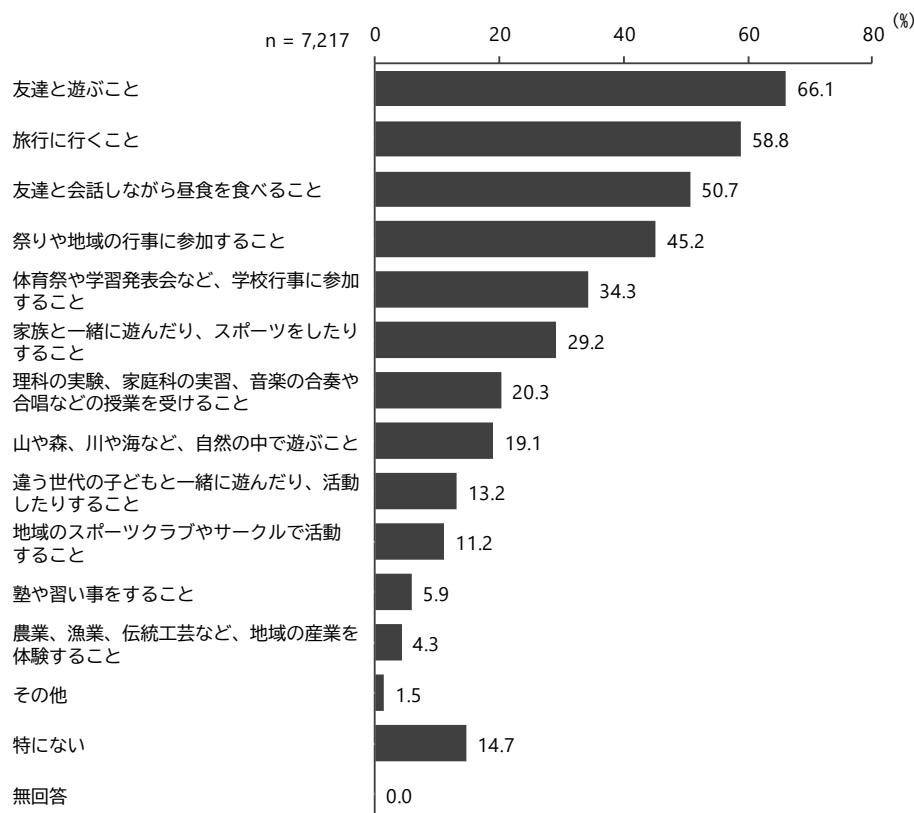
孤独感の合計点数（4区分）別に生活の満足度をみると、孤独感の合計点数が低いほど生活の満足度が高く、孤独感の合計点数が高いほど生活の満足度が低くなっています。平均値は、孤独感の合計点数が高くなるほど低くなり、『3点（まったくない）』と『10～12点（いつもある）』の差は 3.23 となっています。

4

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

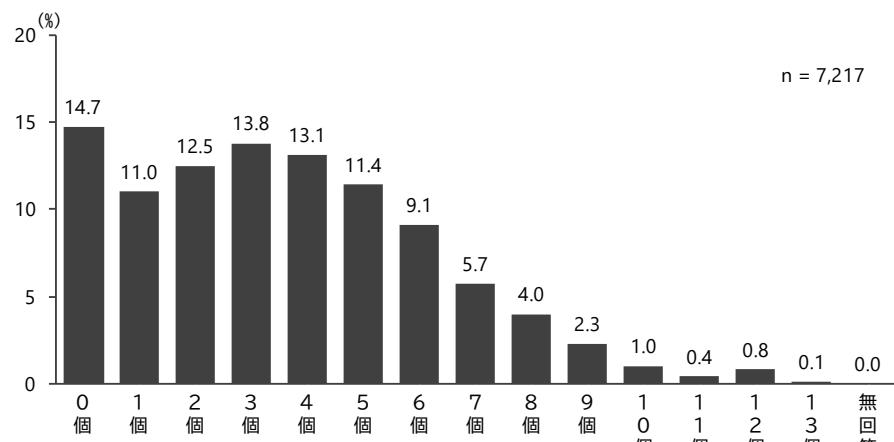
4-1 新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかつたこと

問16 あなたは、新型コロナウイルス感染症が拡大していた時に、やりたかったけれどできなかつたことはありますか。（○はいくつでも）



新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかつたことについて、7割近いこどもが「友達と遊ぶこと」と回答しており、「旅行に行くこと」(58.8%)、「友達と会話しながら昼食を食べること」(50.7%)も半数以上のこどもが回答しています。新型コロナウイルス感染症の影響で日常の友人との交流が妨げられたことへの回答が多くなっています。

◆新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかつたことの選択個数

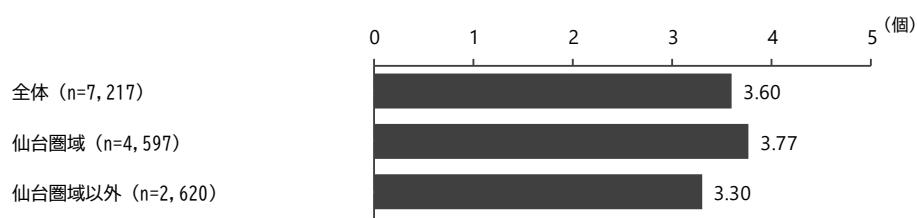


※「特になし」は、0個とカウントしています

新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかつたことについて選択個数をみると、2～4個を選択することもが多く平均で3.60個が選択されています。ひとつも選択しなかった14.7%を除く約85%の子どもが、新型コロナウイルス感染症拡大によって何らかの影響を受けたと回答しています。

◆圏域別／

新型コロナウイルス感染症拡大時に、やりたかったけれどできなかつたことの平均選択個数



圏域別に平均選択個数をみると、仙台圏域は仙台圏域以外に比べやや多く、差は0.47個となっています。

仙台圏域の子どもの方がやや新型コロナウイルス感染症拡大による影響を強く感じていると考えられます。

5 今考えていることや将来のことについて

5-1 自身の考え方

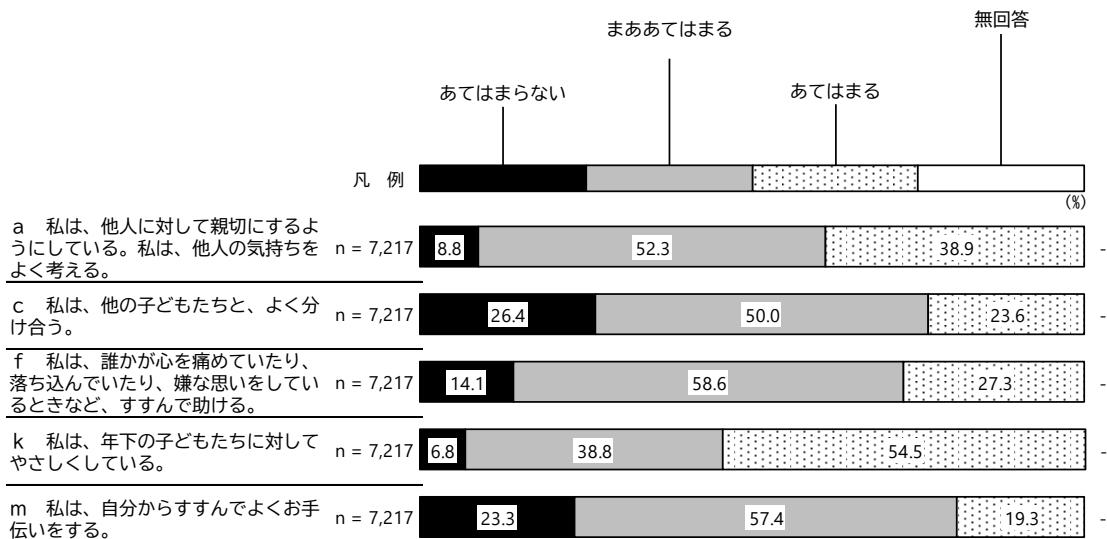
問17 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a~o それぞれについて、1~3のいずれかに1つずつ○)

強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」を参考に問17のa~o 15項目を【向社会性】、【情緒の問題】、【仲間関係の問題】に分類し結果をまとめました。

向 社 会 性	a 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	あてはまるほど、社会性が高いと考えられる
	c 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ベンなど）。	
	f 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	
	k 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	
	m 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子どもたちなど）。	
情 緒 の 問 題	b 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	あてはまるほど、問題性が高いと考えられる
	e 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	
	h 私は、落ち込んでしづんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	
	j 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	
	o 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	
仲 間 関 係 の 問 題	d 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	あてはまるほど、問題性が高いと考えられる ※ただし g 及び i はあてはまらない ほど、問題性が高い
	g 私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。※	
	i 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。※	
	l 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	
	n 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。	

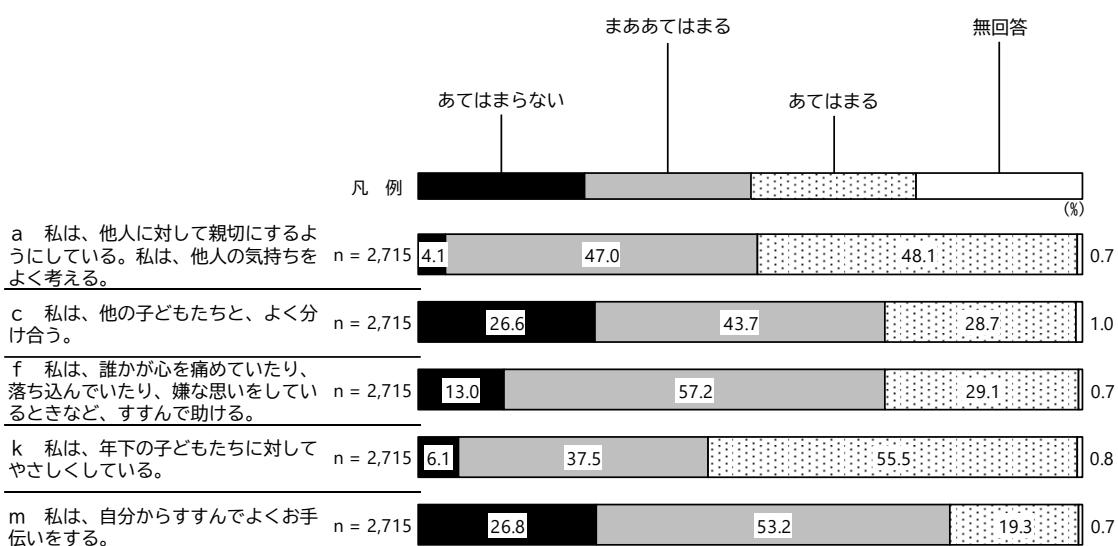
◆向社会性（あてはまるほど社会性が高い）

【令和6年度県調査】



【令和2年度国調査】

令和2年度「子供の生活状況調査」

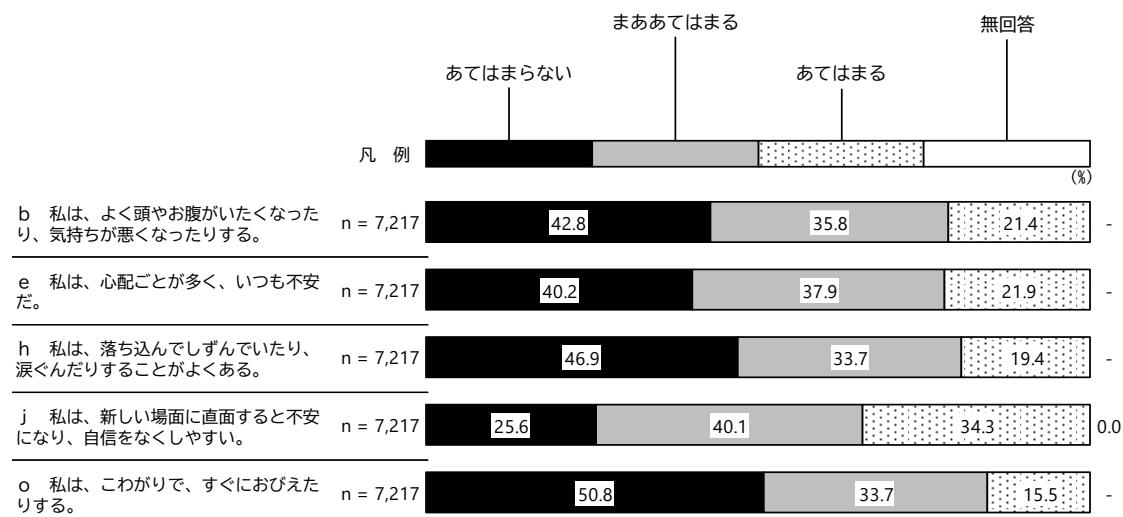


あてはまるほど社会性が高いとされる【向社会性】の結果をみると、「あてはまる」では『k 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。』が 54.5% と最も高くなっています。一方、「あてはまらない」は『c 私は、他の子どもたちと、よく分け合う。』及び『m 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする。』で 2 割台となっています。

令和2年度国調査と比較すると、「あてはまる」は『m 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする (親・先生・他の子どもたちなど)。』を除いていずれの項目も低くなっています。

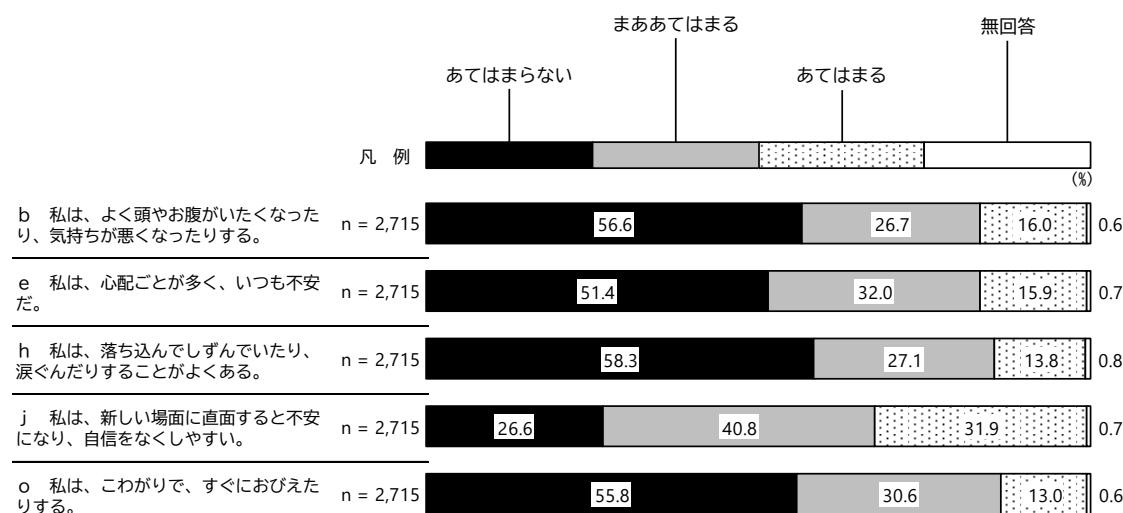
◆情緒の問題（あてはまるほど問題性が高い）

【令和6年度県調査】



【令和2年度国調査】

令和2年度「子供の生活状況調査」

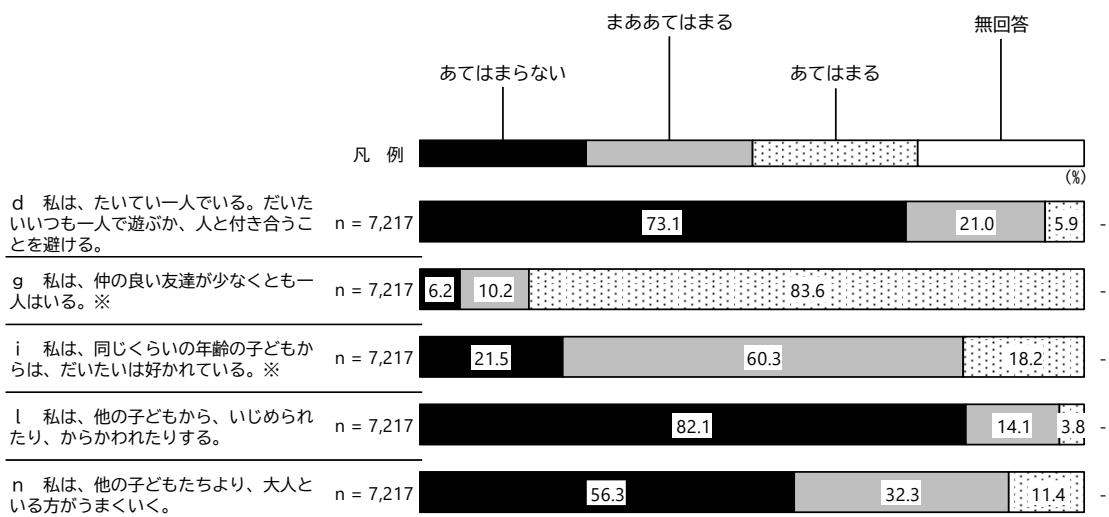


あてはまるほど問題性が高いとされる【情緒の問題】の結果をみると、『j 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。』を除いた項目では、「あてはまらない」が4割を超えています。一方、『j 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。』では「あてはまる」が34.3%と、他の項目に比べ回答割合が高くなっています。

令和2年度国調査と比較すると、全ての項目で「あてはまる」の回答割合が高くなっています。

◆仲間関係の問題（あてはまるほど問題性が高い）

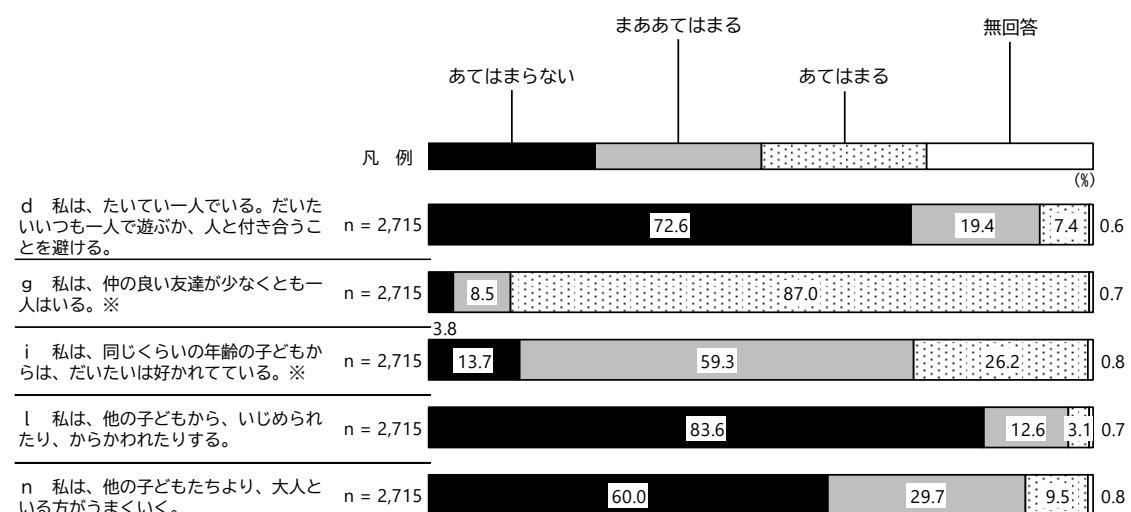
【令和6年度県調査】



※『g』及び『i』の項目は逆転項目

【令和2年度国調査】

令和2年度「子供の生活状況調査」

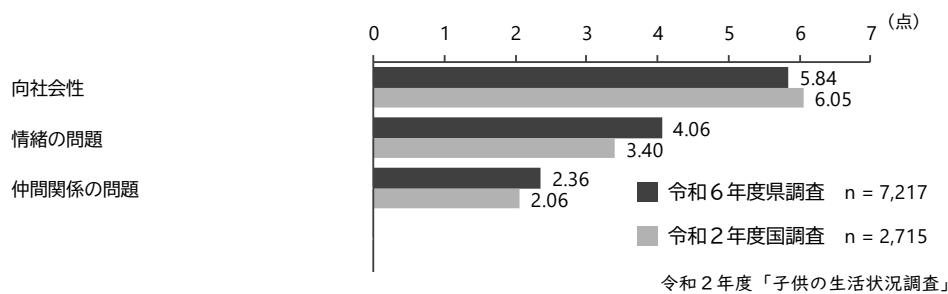


※『g』及び『i』の項目は逆転項目

『g』及び『i』を除きあてはまるほど問題性が高いとされる【仲間関係の問題】の結果をみると、『i 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。』では「あてはまらない」が2割を超え、『n 私は、他の子どもたちより、大人といる方がうまくいく。』では「あてはまる」が1割を超えています。

令和2年度国調査と比較すると、『d 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。』を除いていずれの項目も「あてはまる（『g』及び『i』では「あてはまらない」）」が高くなっています。

◆向社会性、情緒の問題、仲間関係の問題それぞれのスコア比較



計算式

向社会性：0点×「あてはまらない」の人数+1点×「まああてはまる」の人数+2点×「あてはまる」の人数/「あてはまらない」～「あてはまる」の人数でスコアを算出し、向社会性 (a, c, f, k, m) のスコアの合計を（調査数-無回答）で除し、平均値を算出。

情緒の問題：0点×「あてはまらない」の人数+1点×「まああてはまる」の人数+2点×「あてはまる」の人数/「あてはまらない」～「あてはまる」の人数でスコアを算出し、情緒の問題 (b, e, h, j, o) のスコアの合計を（調査数-無回答）で除し、平均値を算出。

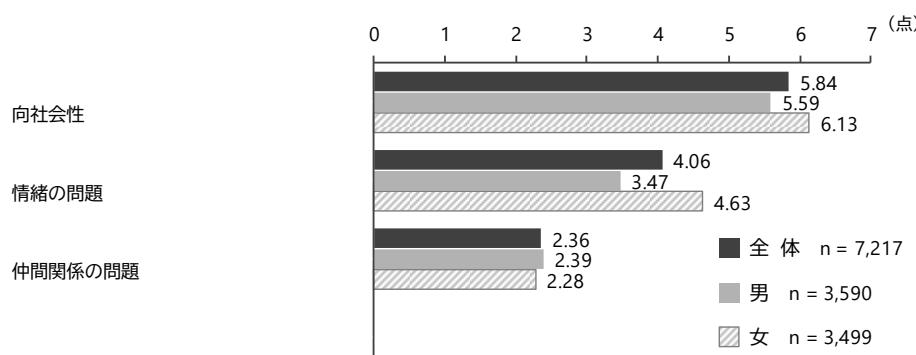
仲間関係の問題：0点×「あてはまらない」の人数+1点×「まああてはまる」の人数+2点×「あてはまる」の人数/「あてはまらない」～「あてはまる」の人数でスコアを算出し、仲間関係 (d, g, i, l, n) のスコアの合計を（調査数-無回答）で除し、平均値を算出。

(※「g」及び「i」の項目は逆転項目としてスコアを算出)

自身の考え方について上記の計算式でスコア化して算出しました。【向社会性】は点数が高いほどポジティブな回答となり、【情緒の問題】【仲間関係の問題】は点数が高いほどネガティブな結果となっています。

令和2年度国調査と比較すると、【向社会性】は0.21点低くなっています。【情緒の問題】は0.66点、【仲間関係の問題】は0.30点高くなっています。【向社会性】【情緒の問題】【仲間関係の問題】いずれも国調査に比べネガティブな結果となっています。

◆性別／向社会性、情緒の問題、仲間関係の問題のスコア



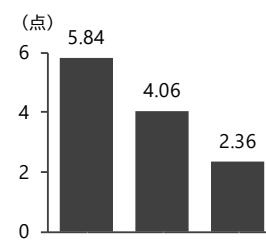
前述したスコアを性別にみると、男性に比べ女性では【情緒の問題】で 1.16 点、【向社会性】で 0.54 点高くなっている一方、【仲間関係の問題】では性別による差はほとんどみられませんでした。

◆困ったり悩んだりしていること別／向社会性、情緒の問題、仲間関係の問題のスコア

最もスコアが高い

最もスコアが低い

全体 n = 7,217

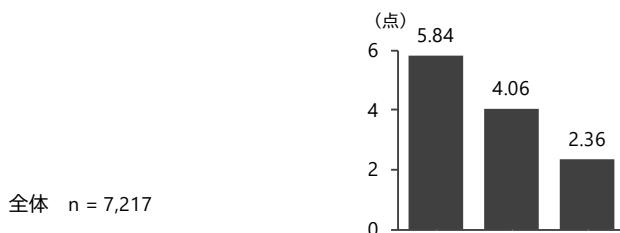


困つたり悩んだりしていること別	n	スコア (点)		
		向社会性	情緒の問題	仲間関係の問題
勉強のこと	4,623	5.85	4.51	2.46
進路や就職のこと	4,025	5.90	4.53	2.41
家族との関係のこと	825	5.81	5.86	3.06
家事や家族の世話のこと	242	5.88	5.96	3.16
友達や仲間のこと	1,874	5.80	5.56	3.01
学校や先生のこと	716	5.63	5.85	3.22
部活や習い事のこと	2,112	5.89	4.87	2.52
恋愛や好きな人のこと	1,179	6.29	5.00	2.38
自分の外見や性格のこと	1,932	5.79	5.72	2.80
自分の将来のこと	3,004	5.86	4.90	2.55
お金のこと	1,548	5.69	4.94	2.71
性のこと	210	5.84	5.57	3.29
健康のこと	892	5.73	5.39	2.79
地域や社会のこと	278	5.85	5.33	3.15
その他	67	5.22	4.73	3.04
困っていることや悩みごとはない	1,097	5.83	2.41	1.94

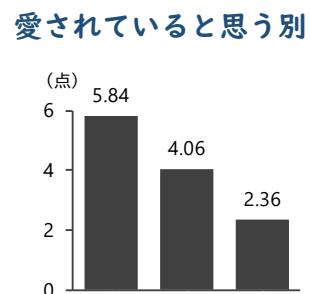
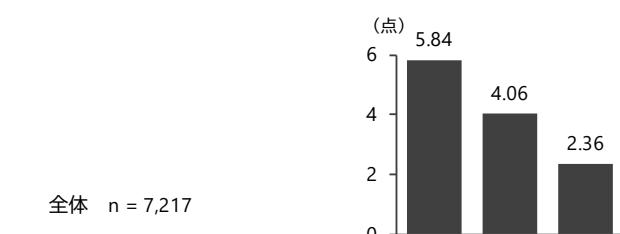
困つたり悩んだりしていること別に前述の各3分野のスコアを分析し、最もスコアが高い項目と最もスコアが低い項目の乖離をみて影響の大きさを分析しました（乖離が大きいほど影響が大きい）。【情緒の問題】でもっとも乖離が大きくなっています、「家事や家族の世話のこと」「家族との関係のこと」「学校や先生のこと」で約6点と他の項目に比べてスコアが高くなっています。

◆自己認識4項目別／向社会性、情緒の問題、仲間関係の問題のスコア

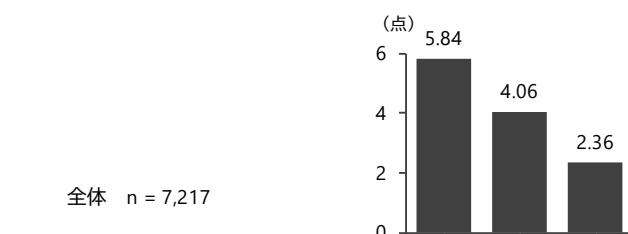
a 今の自分が好きだ別



b 自分の親（保護者）から

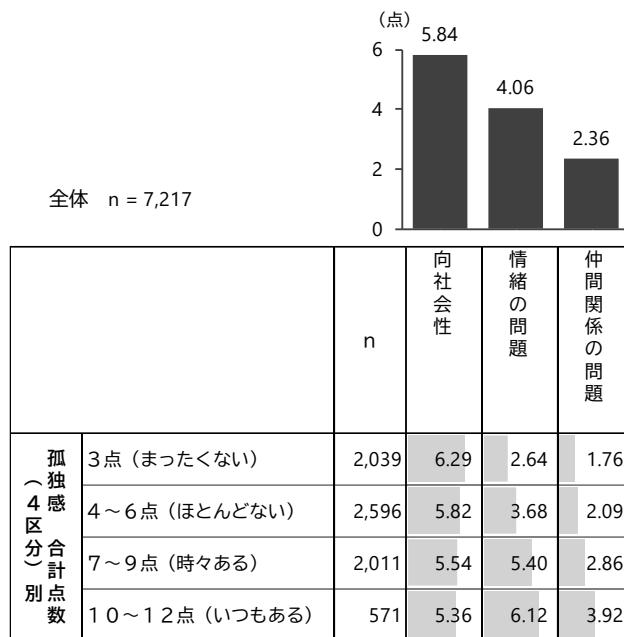
c うまくいくかわからないことにも
がんばって取り組む別

d 自分は役に立たないと強く感じる別



前述したスコアを問18の自己認識4項目別にみて「あてはまる」～「あてはまらない」のスコアの乖離をみて影響の大きさを分析しました（乖離が大きいほど影響が大きい）。『a 今の自分が好きだ』及び『d 自分は役に立たないと強く感じる』では【情緒の問題】への影響が最も大きく、『b 自分の親（保護者）から愛されていると思う』及び『c うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む』では【向社会性】への影響が最も大きくなっています。

◆孤独感 合計点数（4区分）別／向社会性、情緒の問題、仲間関係の問題のスコア

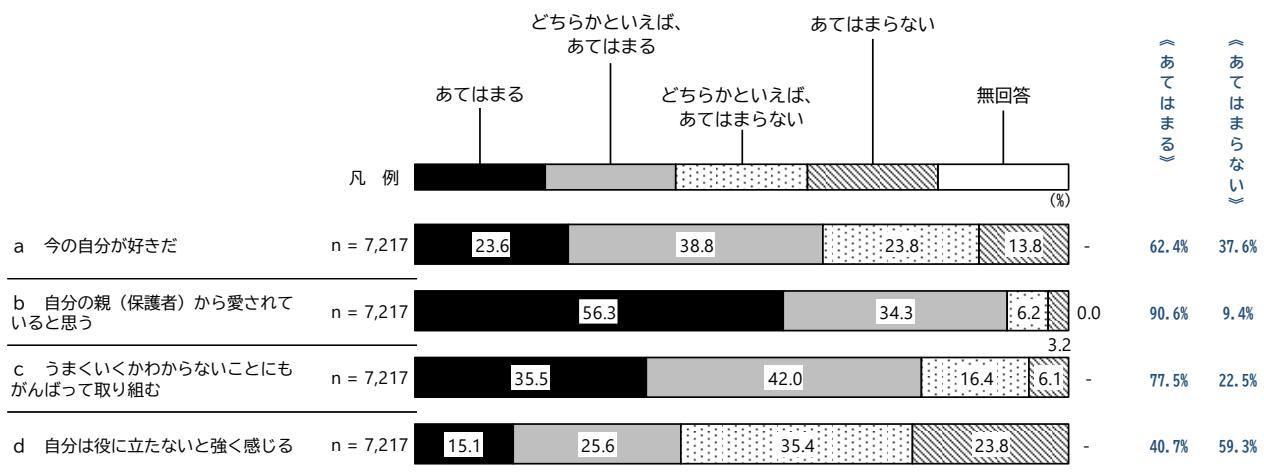


また、前述したスコアを孤独感の合計点数（4区分）別にみると、孤独感の合計点数が高いほどスコアが高くなっています。一方で、【向社会性】も孤独感の合計点数が高くなるほどスコアが低くなっています。相関があることがみられるものの、【情緒の問題】や【仲間関係の問題】と比べると影響は小さくなっています。

5-2 自己認識

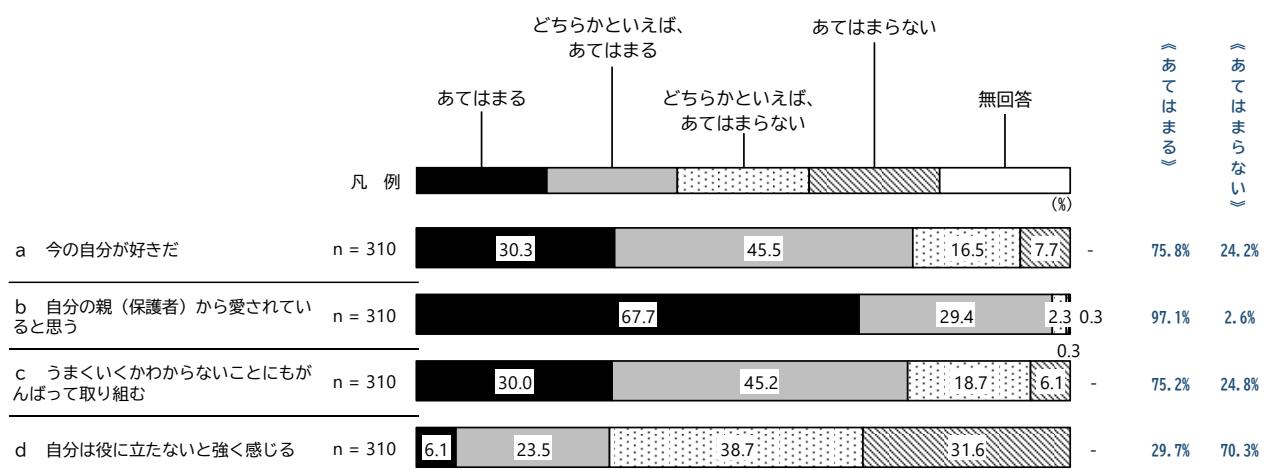
問18 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(a~d それぞれについて、1~4のいずれかに1つずつ○)

【令和6年度県調査】



【令和4年度国調査】

令和4年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」(※13歳の結果を抜粋)

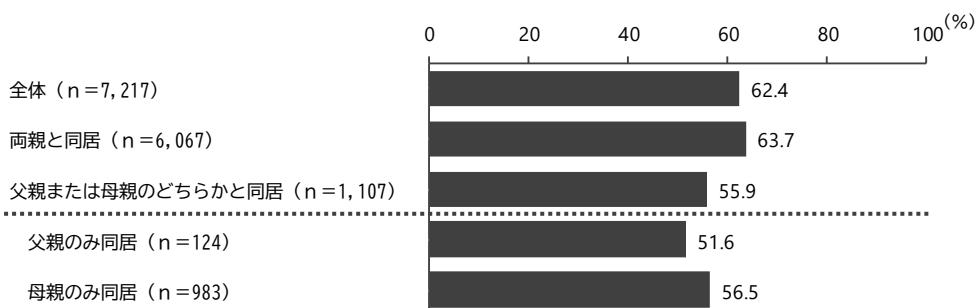


回答者の自己認識を把握するため、4つの項目についてどのくらいあてはまるかたずねたところ、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」の合計）では『b 自分の親（保護者）から愛されていると思う』が90.6%と最も高くなっている一方、『d 自分は役に立たないと強く感じる』では40.7%となっています。

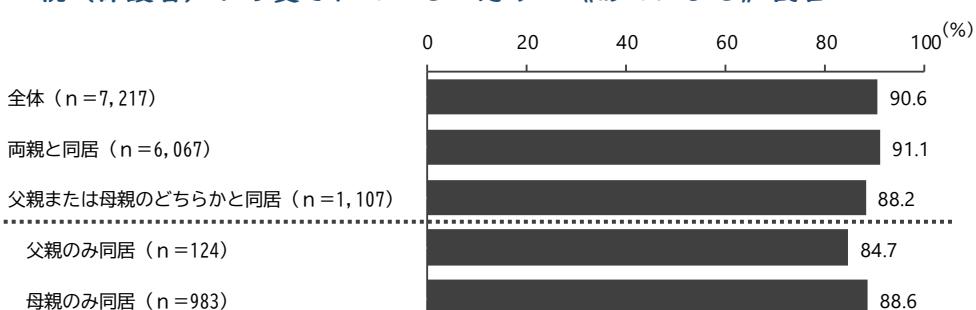
令和4年度国調査と比較すると、《あてはまる》では『d 自分は役に立たないと強く感じる』が11.1ポイント高くなっている一方、『a 今の自分が好きだ』は13.4ポイント低くなっています。

◆世帯構成別にみる自己認識『a』～『d』の《あてはまる》割合

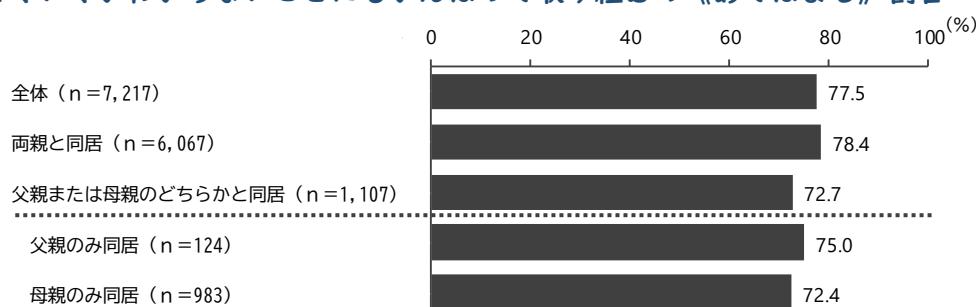
a 今の自分が好きだの《あてはまる》割合



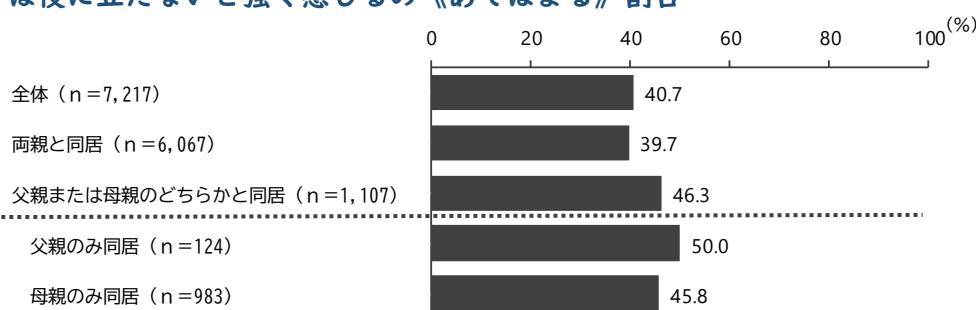
b 自分の親（保護者）から愛されていると思う《あてはまる》割合



c うまくいくかわからないことにもがんばって取り組むの《あてはまる》割合



d 自分は役に立たないと強く感じるの《あてはまる》割合



自己認識『a』～『d』の《あてはまる》割合を世帯構成別にみると、『a』～『c』では『父親または母親のどちらかと同居』世帯が『両親と同居』世帯に比べやや回答割合高くなっています。一方、『d』では『両親と同居』世帯が『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べやや低くなっています。特に、《あてはまる》の回答割合が高かった『b 自分の親（保護者）から愛されていると思う』の『両親と同居』世帯では『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べやや高くなっています。

◆味方になってくれる人の数と自己認識の関係

以降のページでは問11～14の味方になってくれる人『a 何でも悩みを相談できる人』『b こまつたときは助けてくれる人』『c 他の人には言えない本音を話せることがある人』ごとに『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）と回答した個数を算出し、その該当個数別に問18自己認識『a』～『d』それぞれの『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合をグラフ化しました。

（例）a 何でも悩みを相談できる人の数『3人』での『a 今の自分が好きだ』の
『あてはまる』割合を算出の仕方

問11～14 味方になってくれる人

a 何でも悩みを相談できる人
b こまつたときは助けてくれる人
c 他の人には言えない本音を話せることがある人

問11～14a 何でも悩みを相談できる人

		そう思う	どちらかと いえば、 そう思う	どちらかと いえば、 そう 思わない	そう 思わない
問11	家族・親せきとのかかわり	1	2	3	4
問12	学校で出会った友達とのかかわり	1	2	3	4
問13	地域の人とのかかわり	1	2	3	4
問14	インターネット上における人や グループとのかかわり	1	2	3	4



a 何でも悩みを相談できる人は『3人』

問18 自己認識

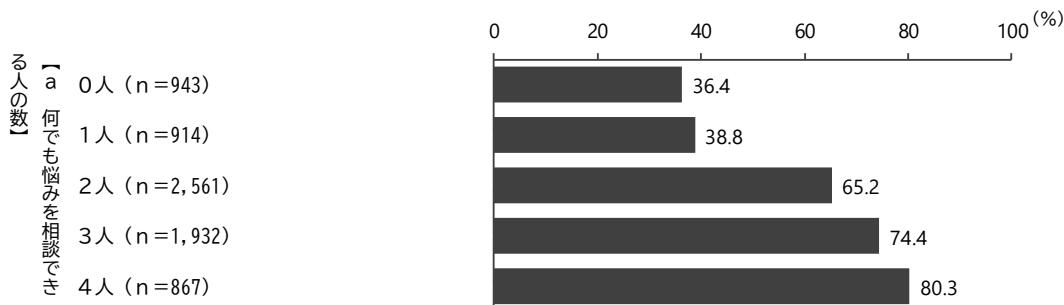
		あてはまる	どちらかと いえば、 あてはまる	どちらかと いえば、 あてはま らない	あてはま ない
a	今の自分が好きだ	1	2	3	4
b	自分の親（保護者）から愛されて いると思う	1	2	3	4
c	うまくいくかわからないことにも がんばって取り組む	1	2	3	4
d	自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4



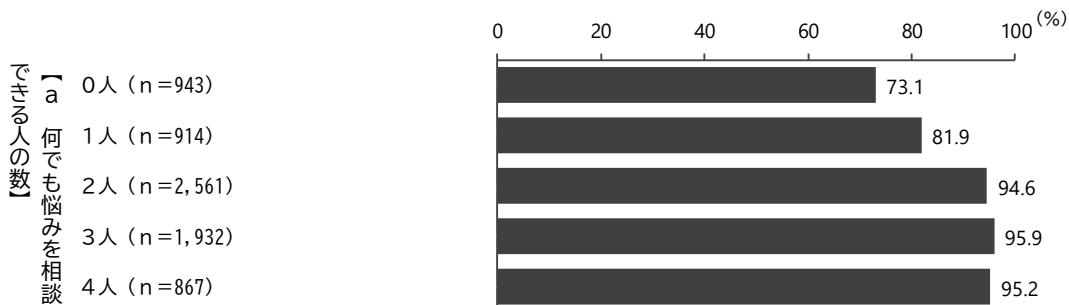
a 何でも悩みを相談できる人の数『3人』での
『a 今の自分が好きだ』の『あてはまる』割合を算出

◆ a 何でも悩みを相談できる人の数との関係

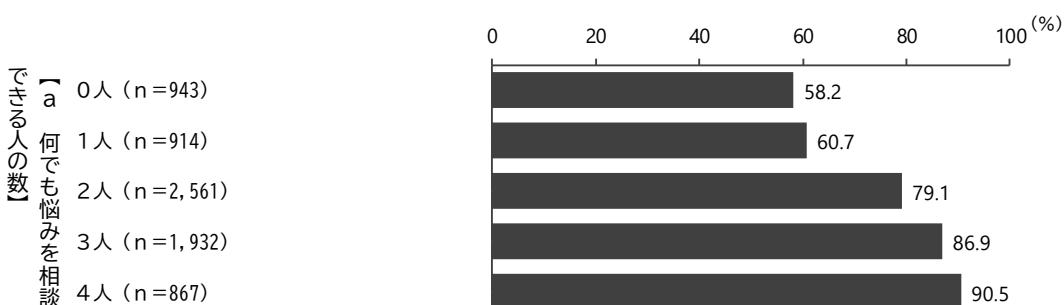
a 今の自分が好きだの《あてはまる》割合



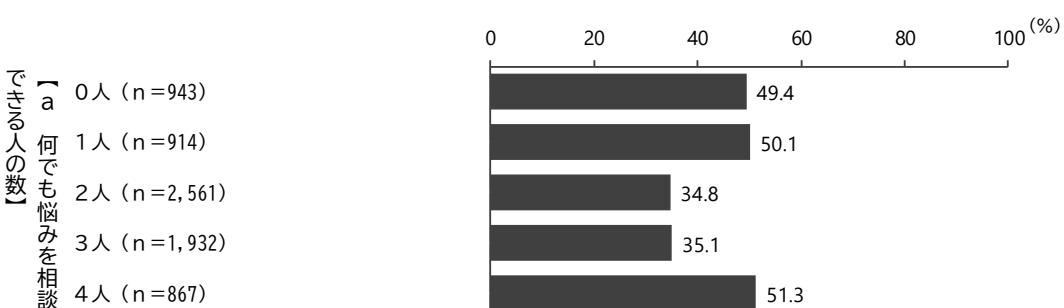
b 自分の親（保護者）から愛されていると思うの《あてはまる》割合



c うまくいくかわからないことにもがんばって取り組むの《あてはまる》割合

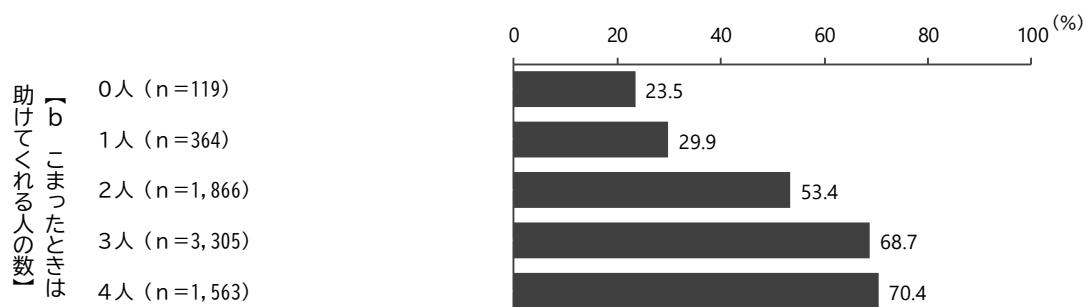


d 自分は役に立たないと強く感じるの《あてはまる》割合

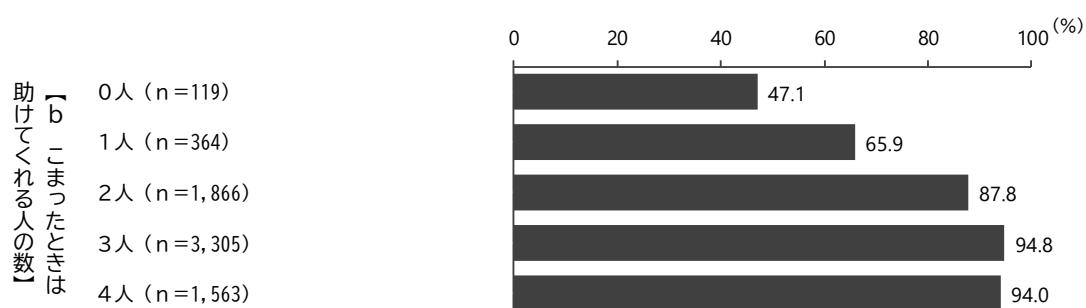


◆b こまつときは助けてくれる人の数との関係

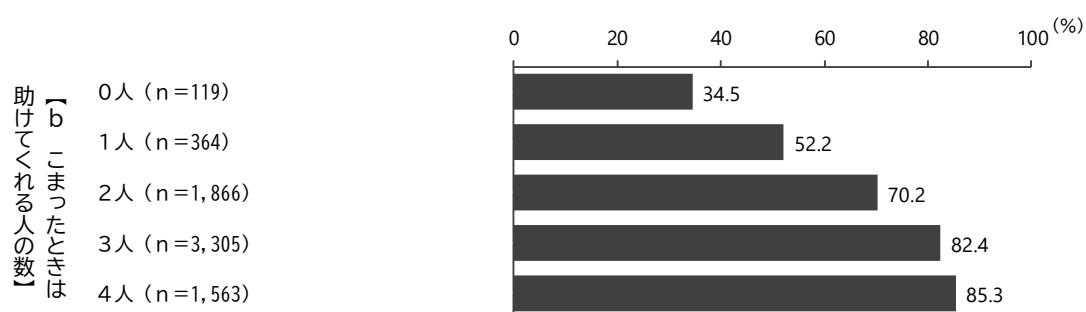
a 今の自分が好きだの《あてはまる》割合



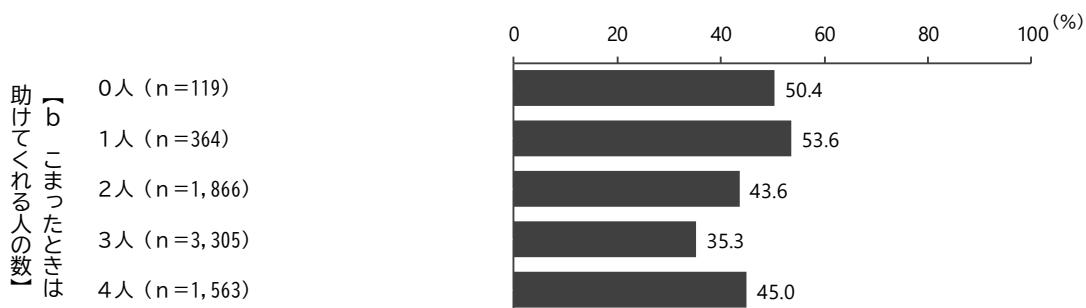
b 自分の親（保護者）から愛されていると思うの《あてはまる》割合



c うまくいくかわからないことにもがんばって取り組むの《あてはまる》割合

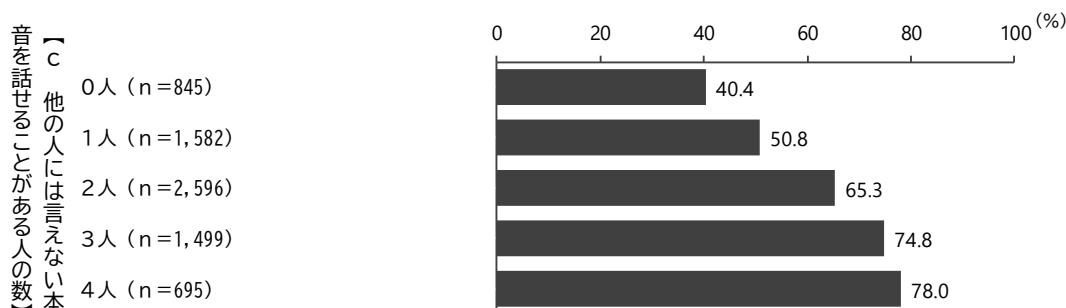


d 自分は役に立たないと強く感じるの《あてはまる》割合

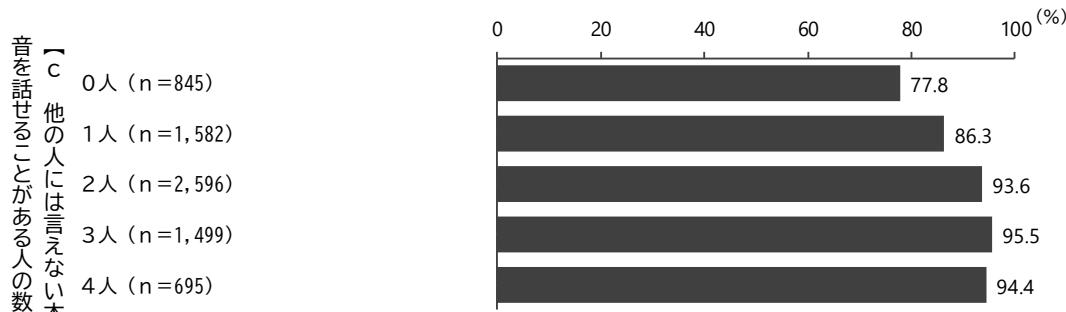


◆ c 他の人には言えない本音を話せることがある場所の数との関係

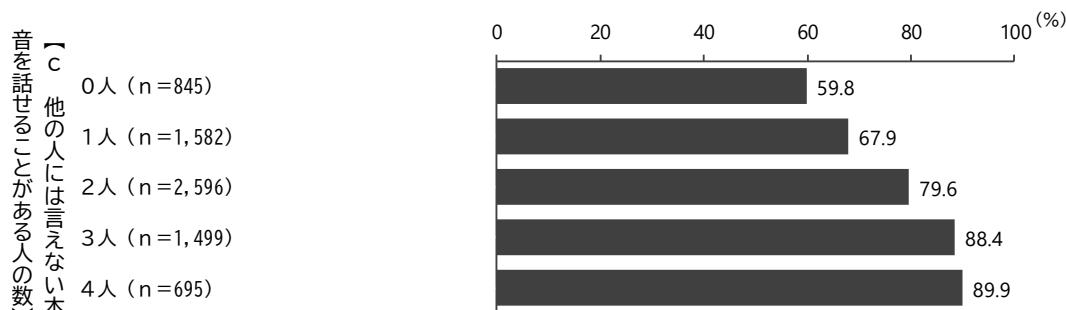
a 今の自分が好きだの《あてはまる》割合



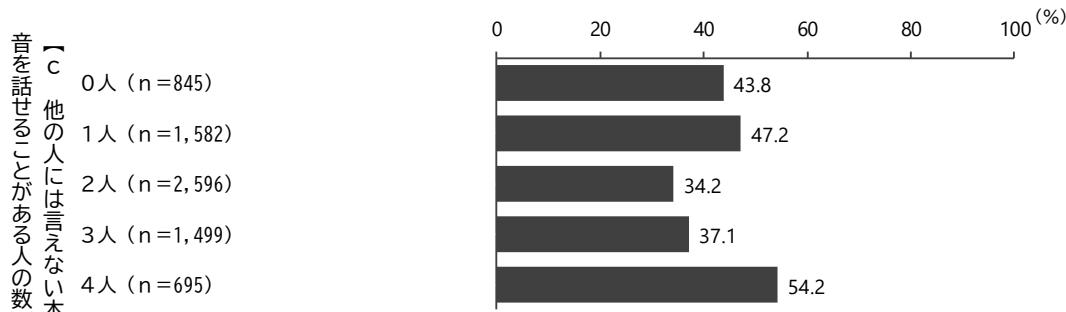
b 自分の親（保護者）から愛されていると思うの《あてはまる》割合



c うまくいくかわからないことにもがんばって取り組むの《あてはまる》割合



d 自分は役に立たないと強く感じるの《あてはまる》割合

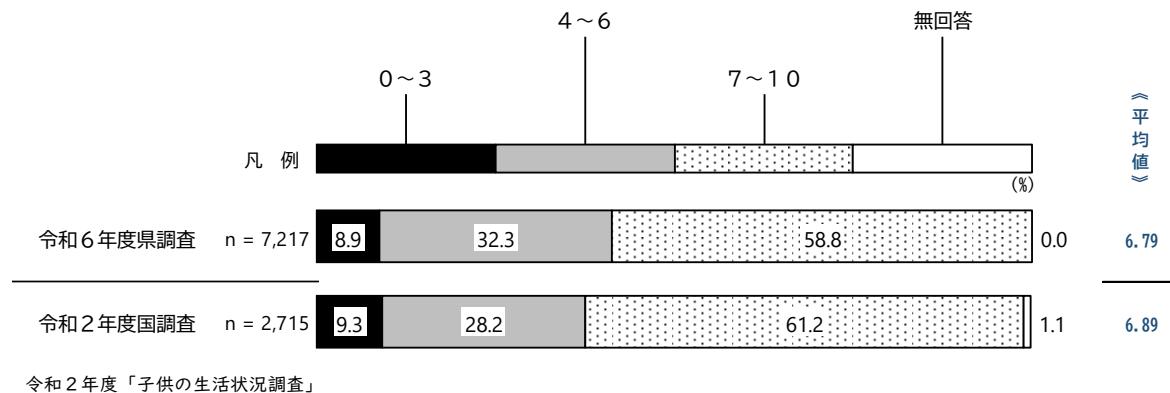


味方になってくれる人の数別にみると、自己認識『a』～『c』はいずれも味方になってくれる人の数が増えるにつれてポジティブな認識が増える傾向にあります。一方、自己認識『d 自分は役に立たないと強く感じる』では味方になってくれる人の数にかかわらず 30～50%程度ネガティブな認識をもっています。

5-3 生活の満足度

問19 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。
(○は1つ)

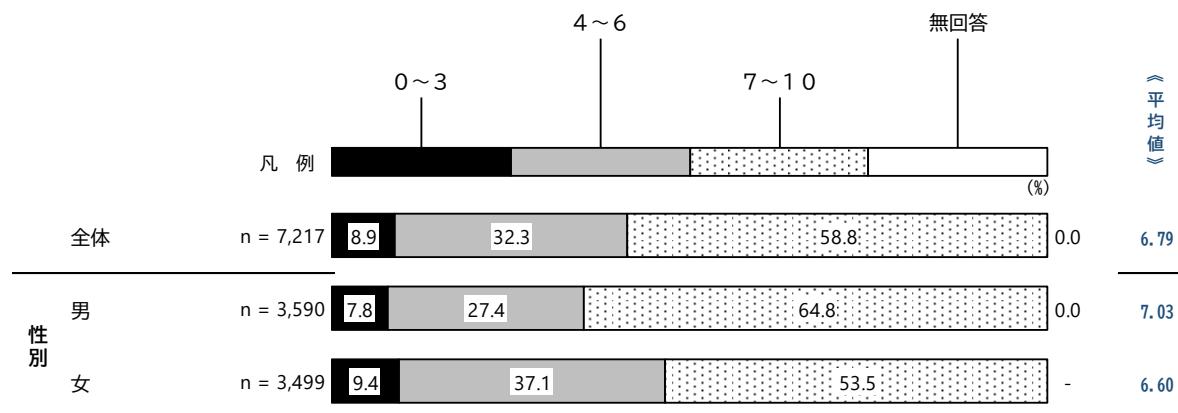
◆生活の満足度（3区分）



最近の生活の満足度について「0」から「10」の11段階でたずね、その結果を上図のとおり3区分に分けて集計したところ、「7～10」が58.8%と最も高く、次いで「4～6」(32.3%)、「0～3」(8.9%)となっており、平均値は6.79となっています。

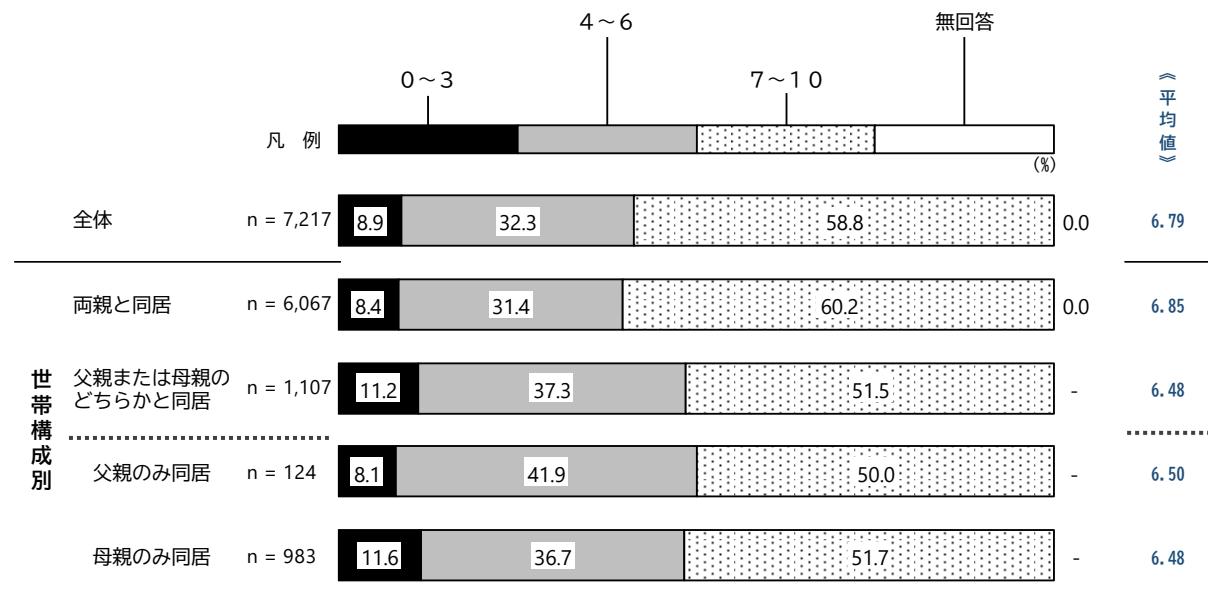
令和2年度国調査と比較しても、全体的な回答結果及び平均値に大きな差はみられませんでした。

◆性別／生活の満足度（3区分）



性別にみると、男性では「7～10」が女性に比べ11.3ポイント、女性では「4～6」が男性に比べ9.7ポイント高くなっています。平均値は、男性が女性に比べやや高くなっています。

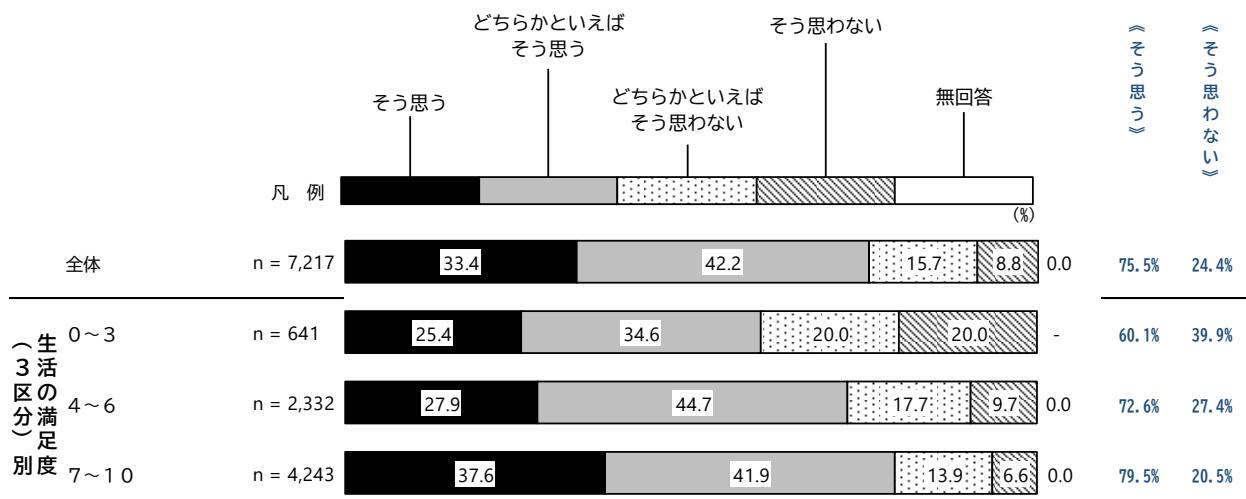
◆世帯構成別／生活の満足度（3区分）



世帯構成別にみると、『両親と同居』世帯は「7～10」が最も高く、『父親または母親のどちらかと同居』世帯に比べ 8.7 ポイント高くなっています。

◆生活の満足度（3区分）別／宮城県に住み続けたい、

または他の地域に移り住むことになつてももどってきたいか



生活の満足度（3区分）別に宮城県に住み続けたい、または他の地域に移り住むことになつてももどってきたいかをみると、『0～3』の人では「そう思わない」が全体に比べ 11.2 ポイント高くなっています。

◆味方になってくれる人の数と生活の満足度の平均値との関係

問 11～14 の味方になってくれる人の数別に生活の満足度の平均値をグラフ化しました。

(例) a 何でも悩みを相談できる人の数『3人』での生活の満足度の平均値の算出の仕方

問 11～14 味方になってくれる人

a 何でも悩みを相談できる人
b こまつたときは助けてくれる人
c 他の人には言えない本音を話せることがある人

問 11～14 a 何でも悩みを相談できる人

		そう思う	どちらかといえ、そう思う	どちらかといえ、そう思わない	そう思わない
問 11	家族・親せきとのかかわり	1	2	3	4
問 12	学校で出会った友達とのかかわり	1	2	3	4
問 13	地域の人とのかかわり	1	2	3	4
問 14	インターネット上における人やグループとのかかわり	1	2	3	4

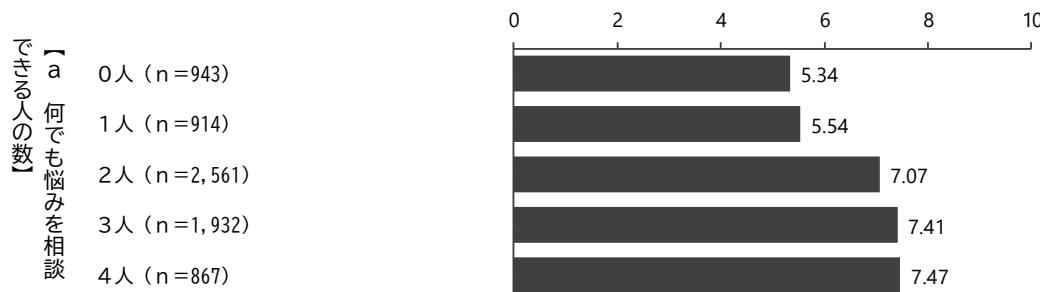
a 何でも悩みを相談できる人は『3人』

問 19 生活の満足度

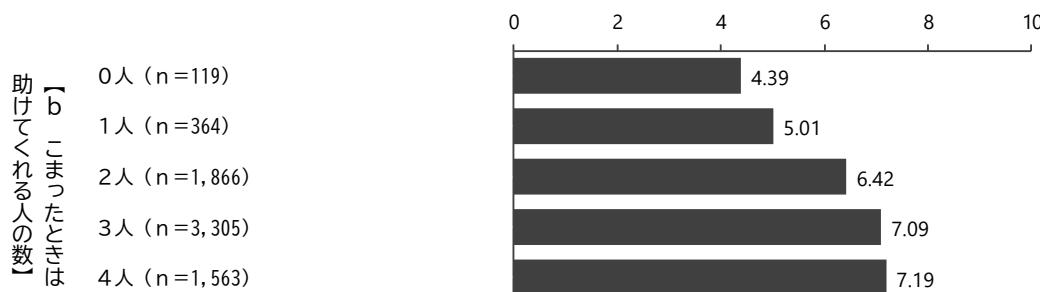


a 何でも悩みを相談できる人の数『3人』での生活の満足度の平均値を算出

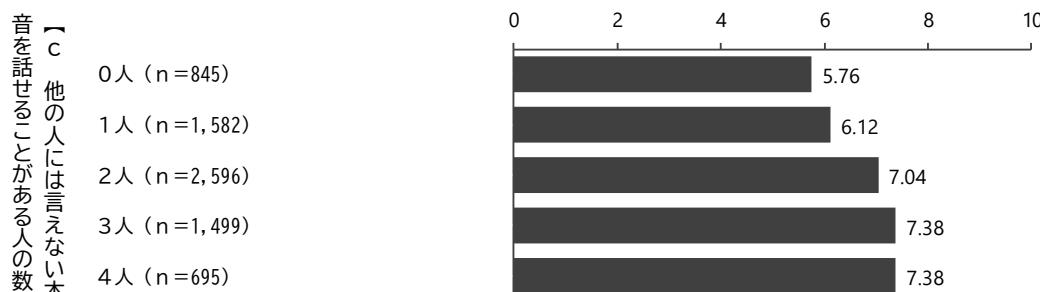
a 何でも悩みを相談できる人の数



b こまつたときは助けてくれる人の数

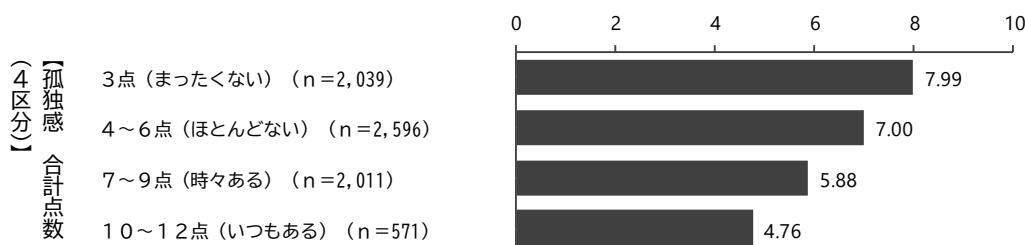


c 他の人には言えない本音を話せることがある人の数



味方になってくれる人の数別にみると、味方になってくれる人の数が増えるにつれて生活の満足度の平均値が増加する傾向がうかがえます。

◆孤独感 合計点数（4区分）別／生活の満足度の平均値

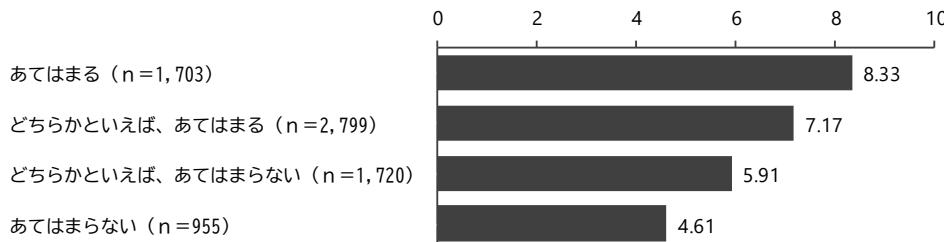


孤独感の合計点数（4区分）別に生活の満足度の平均値をグラフ化しました。

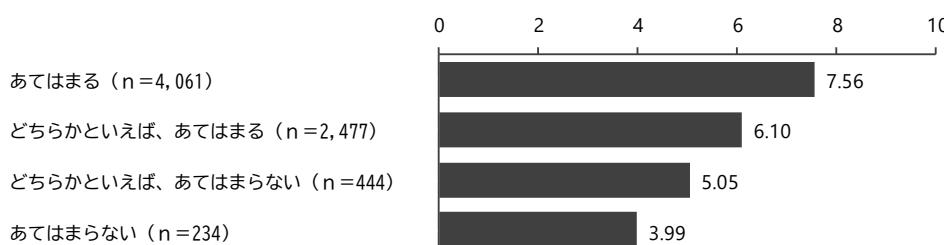
孤独感の合計点数が低くなるにつれて生活の満足度が高くなる傾向にあり、『3点 (まったくない)』と『10~12点 (いつもある)』の差は3.23となっています。

◆自己認識と生活の満足度の平均値の関係

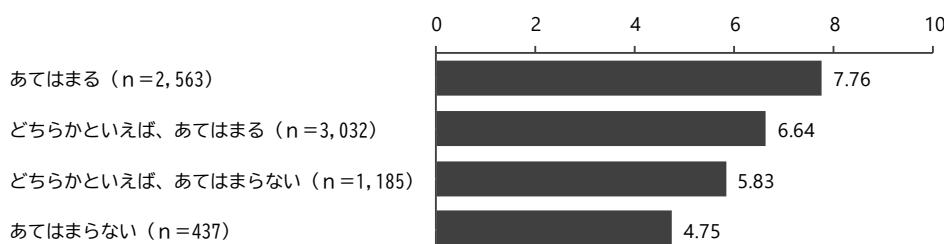
a 今の自分が好きだ



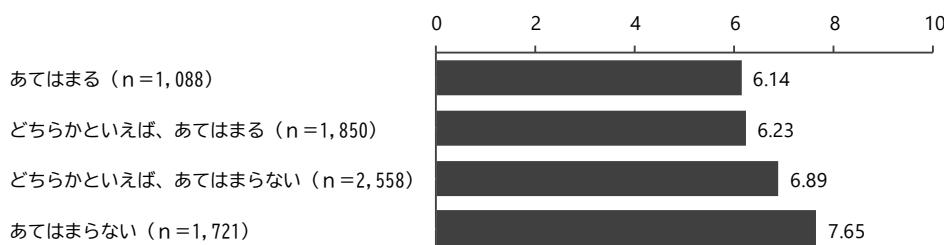
b 自分の親から愛されていると思う



c うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む



d 自分は役に立たないと強く感じる

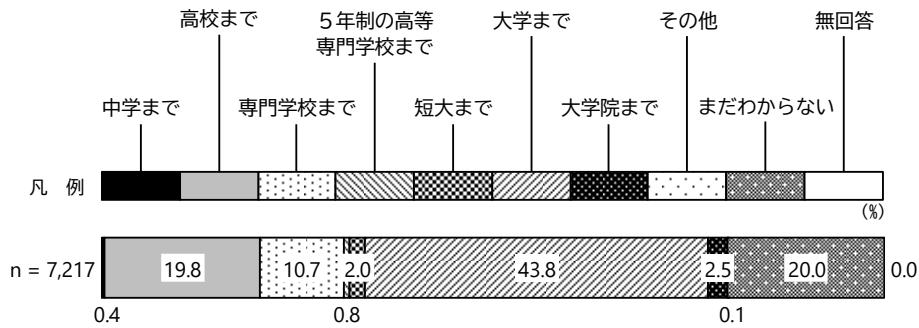


自己認識『a』～『d』別に生活の満足度の平均値をグラフ化しました。

ポジティブな自己認識『a』～『c』はあてはまるほど生活の満足度の平均値は高くなる一方、ネガティブな自己認識『d』はあてはまるほど生活の満足度の平均値は低くなる傾向がみられます。

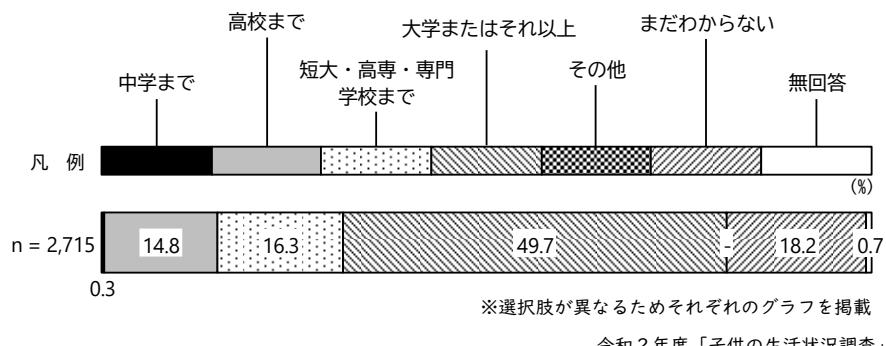
5-4 進学希望

問20 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(○は1つ)



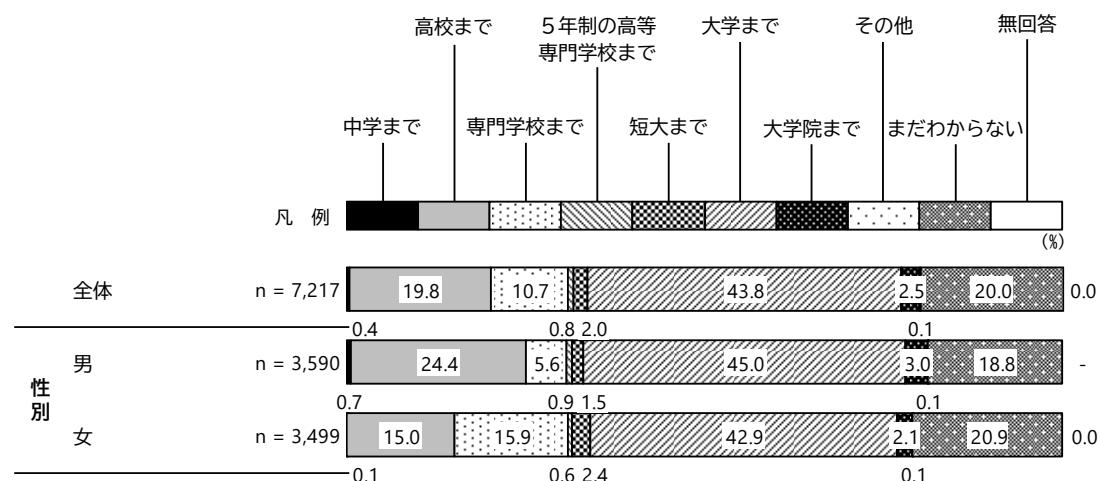
進学希望について、「大学まで」が43.8%と最も高く、次いで「高校まで」(19.8%)、「専門学校まで」(10.7%)となっています。一方、「まだわからない」との回答も20.0%みられます。

◆国調査との比較



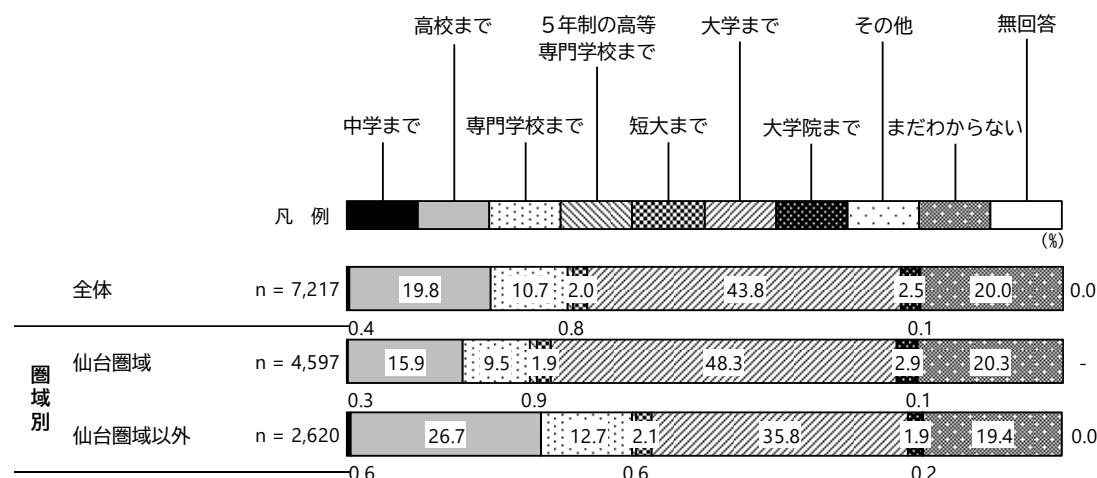
令和2年度国調査と比較すると、「高校まで」が5.0ポイント高くなっているものの、他の項目では回答結果に大きな差はみられませんでした。

◆性別／進学希望



性別にみると、男性では「高校まで」が女性に比べ 9.4 ポイント、女性では「専門学校まで」が男性に比べ 10.3 ポイント高くなっているものの、「5 年制の高等専門学校まで」以上の進学希望先では性別による大きな差はみられませんでした。

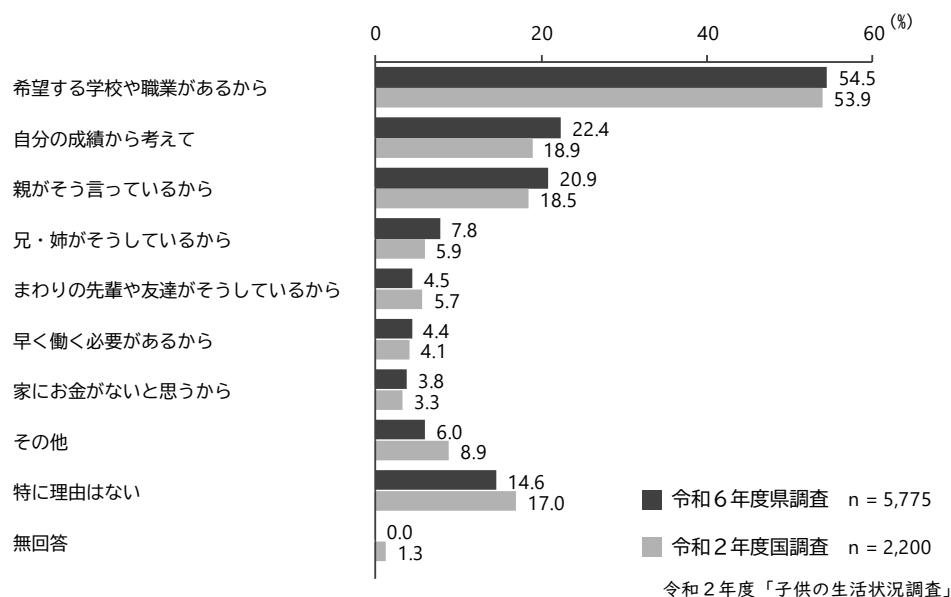
◆圏域別／進学希望



圏域別にみると、仙台圏域では「大学まで」が仙台圏域以外に比べ 12.5 ポイント高くなっています。一方、仙台圏域以外では「高校まで」が仙台圏域に比べ 10.8 ポイント高くなっています。

5-5 希望の学校へ進学したい理由

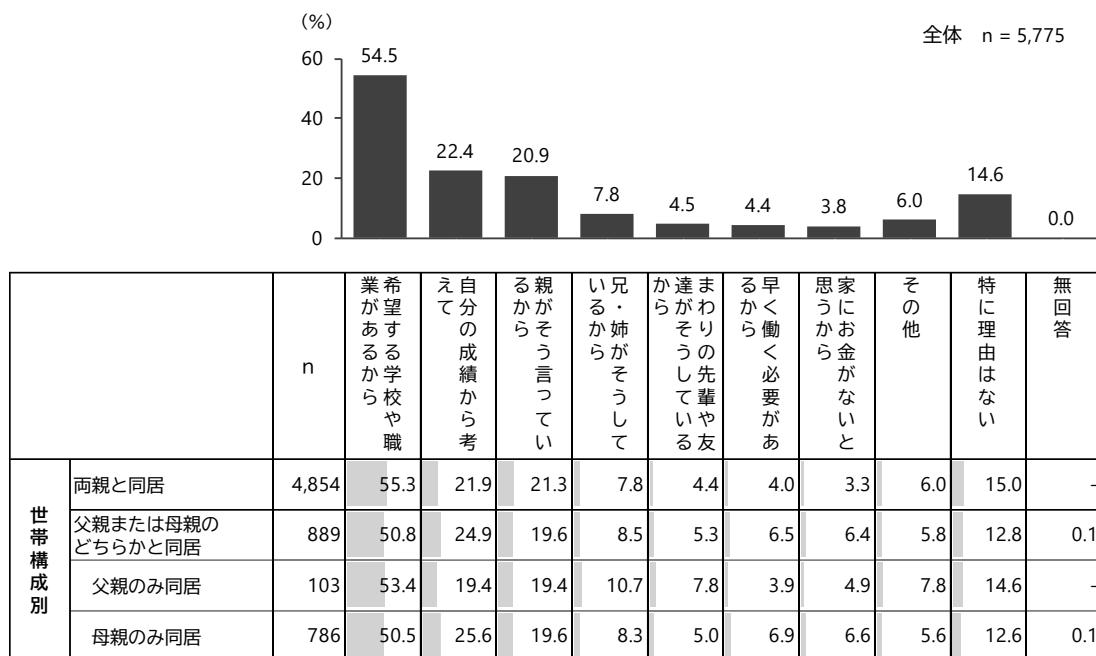
問21 前の質問での回答は、どのような理由からですか。(○はいくつでも)



希望の学校へ進学したい理由について、「希望する学校や職業があるから」が 54.5% と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」(22.4%)、「親がそう言っているから」(20.9%) となっています。一方、「特に理由はない」との回答も 14.6% みられます。

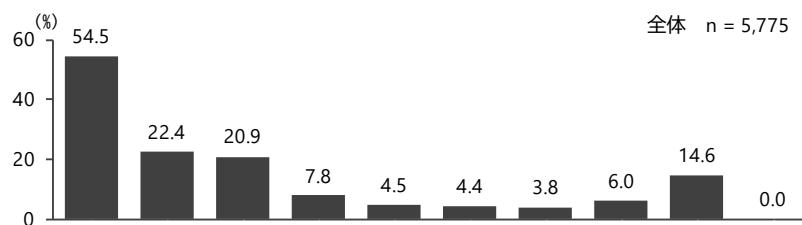
令和2年度国調査と比較しても、全体的な回答結果に大きな差はみられませんでした。

◆世帯構成別／希望の学校へ進学したい理由



世帯構成別にみると、全ての世帯で「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっている一方、『父親または母親のどちらかと同居』世帯では「希望する学校や職業があるから」及び「親がそう言っているから」が『両親と同居』世帯に比べやや低く、その他の項目ではやや高くなっています。

◆進学希望別／希望の学校へ進学したい理由

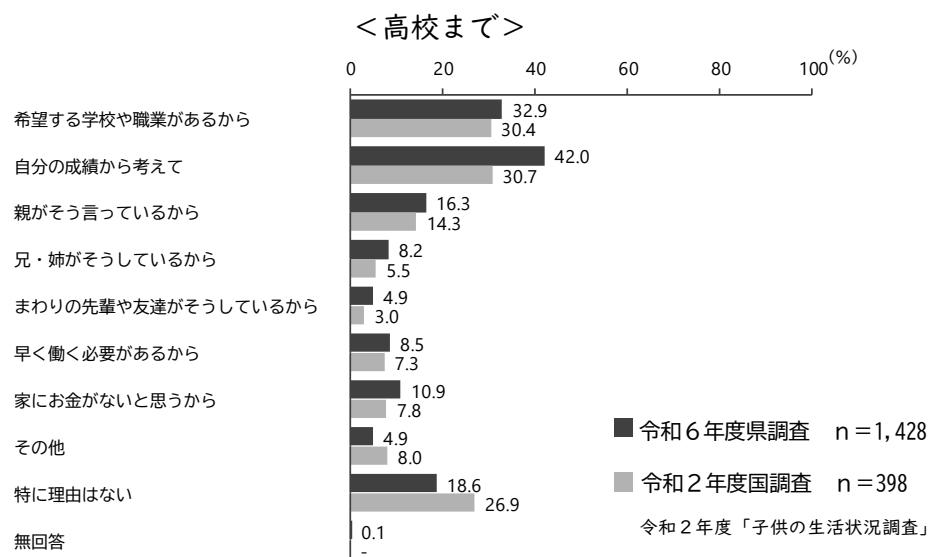


		n	業希望があるから	自分の成績から考	る親からそう言つてい	い兄・からそうして	か達まらがわそりのし先輩いやる友	る早く働く必要があ	思家にお金がないと	その他	特に理由はない	無回答
進学希望別	高校まで	1,428	32.9	42.0	16.3	8.2	4.9	10.9	8.5	4.9	18.6	0.1
	専門学校まで	772	84.2	13.0	7.8	6.0	1.3	3.0	3.2	1.6	6.1	-
	5年制の高等専門学校まで	57	75.4	14.0	19.3	5.3	-	3.5	3.5	5.3	7.0	-
	短大まで	141	60.3	19.9	17.0	5.7	7.1	4.3	2.8	3.5	18.4	-
	大学まで	3,158	55.5	16.0	26.9	8.6	5.2	1.9	1.7	7.2	15.3	-
	大学院まで	181	72.4	22.1	14.9	3.3	2.8	2.8	4.4	13.8	7.2	-
	その他	8	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	37.5	25.0	-

進学希望別にみると、『高校まで』進学を希望しているこどもでは「自分の成績から考えて」が最も高く、『高校まで』以外の進学希望のこどもでは「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっています。また、『高校まで』進学を希望しているこどもでは「早く働く必要があると思うから」、「家にお金がないから」が『高校まで』以外の進学希望のこどもに比べやや高くなっています。

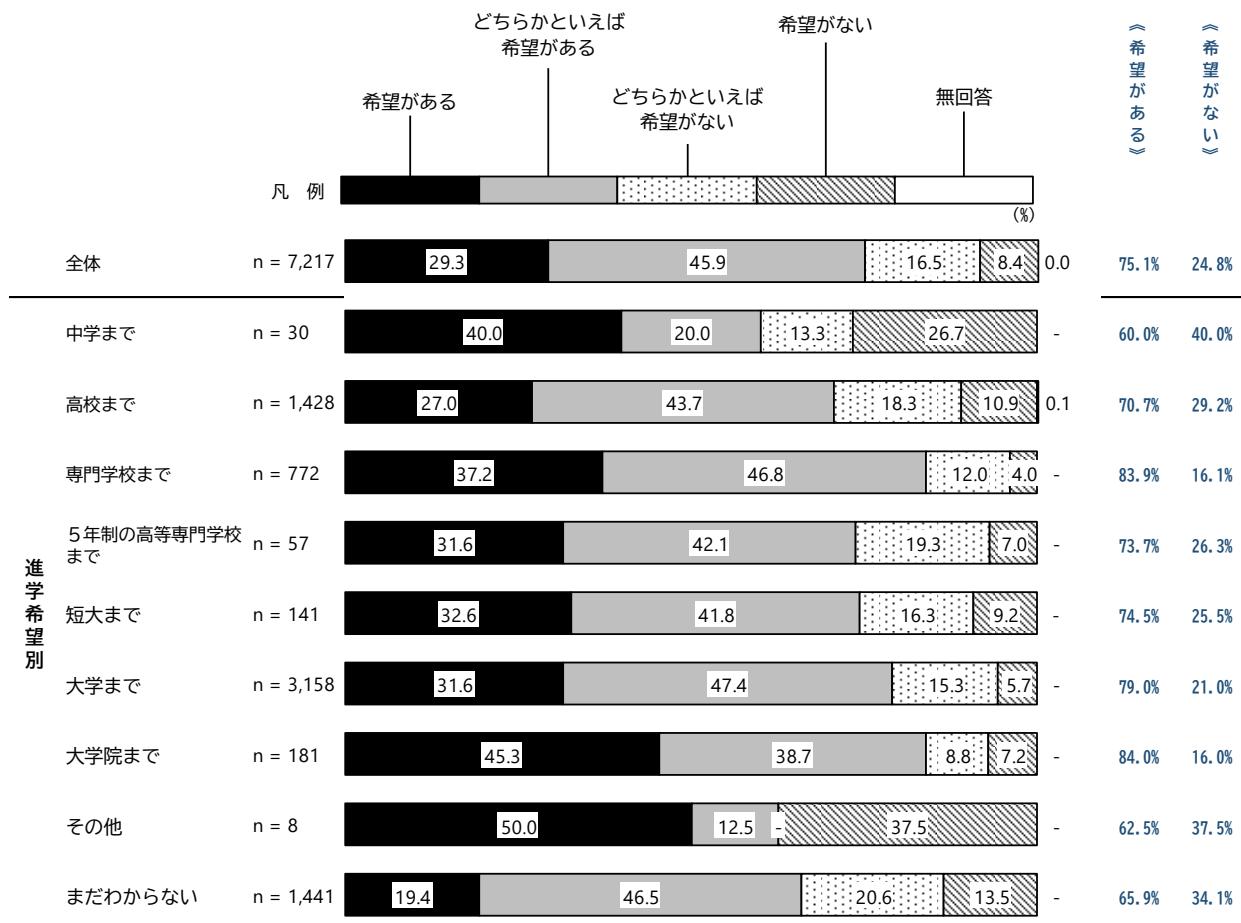
◆国調査との比較

進学希望（高校まで）別／希望の学校へ進学したい理由



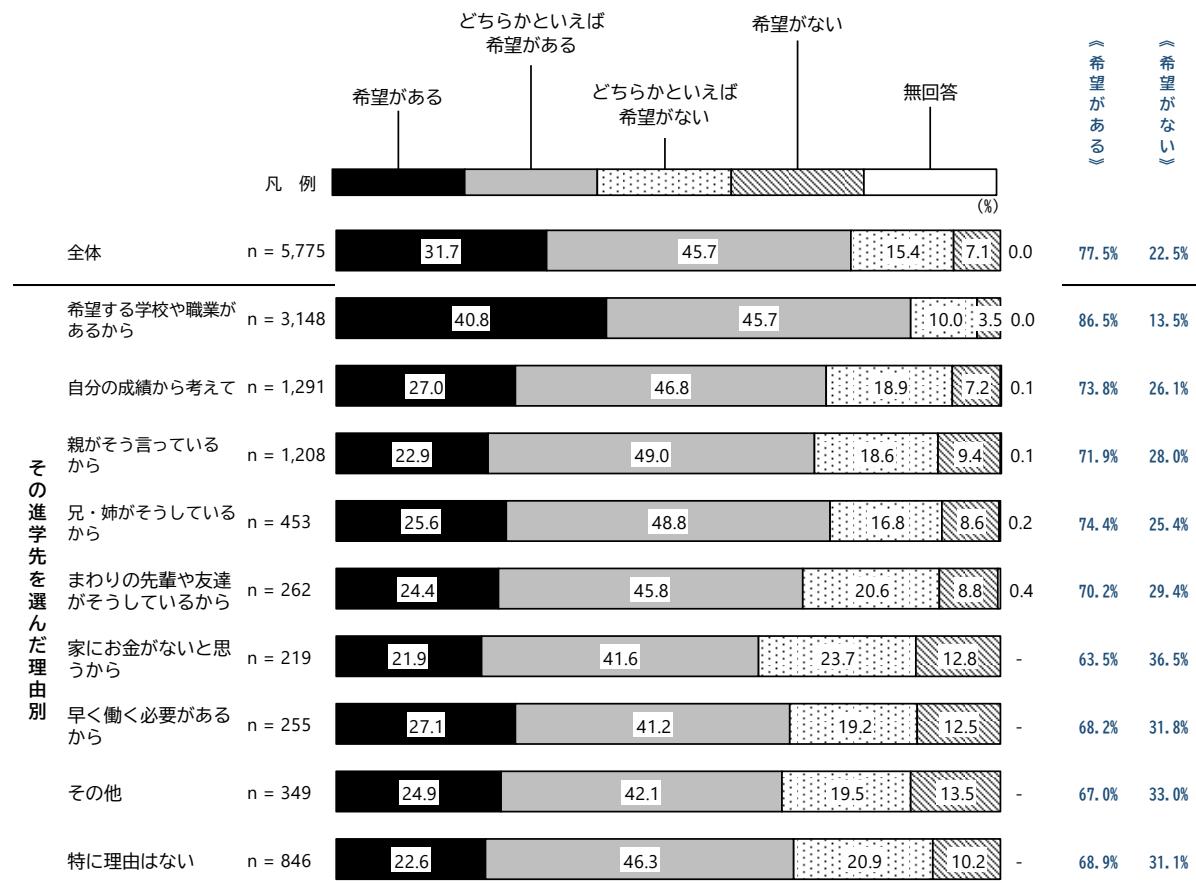
令和2年度国調査と進学希望（高校まで）別に希望の学校へ進学したい理由を比較すると、『高校まで』進学希望のこどもは「自分の成績から考えて」が42.0%と10ポイント以上高くなっています。

◆進学希望別／自分の将来について明るい希望を持っているか



進学希望別に自分の将来について明るい希望を持っているかをみると、『大学まで』進学希望のこどもは将来に《希望がある》(「希望がある」+「どちらかといえば希望がある」の合計)が『高校まで』進学希望のこどもに比べ 8.3 ポイント高くなっています。

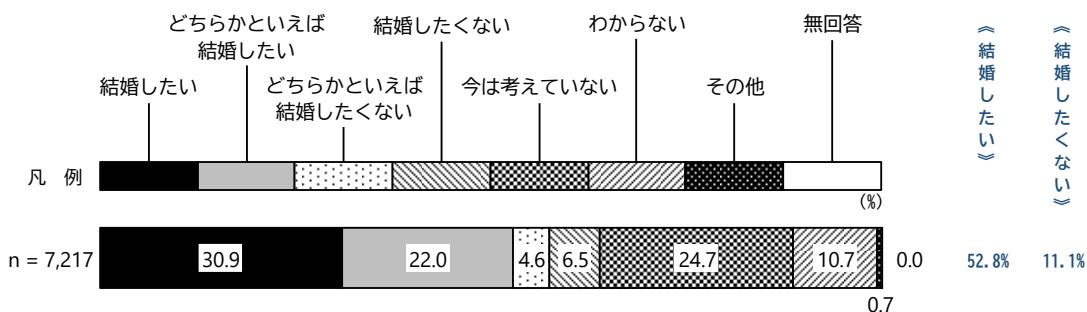
◆その進学先を選んだ理由別／自分の将来について明るい希望を持っているか



その進学先を選んだ理由別に自分の将来について明るい希望を持っているかをみると、『希望する学校や職業があるから』では将来に《希望がある》が86.5%と最も高くなっています。他の進学理由に比べ将来に《希望がある》の回答割合が高くなっています。

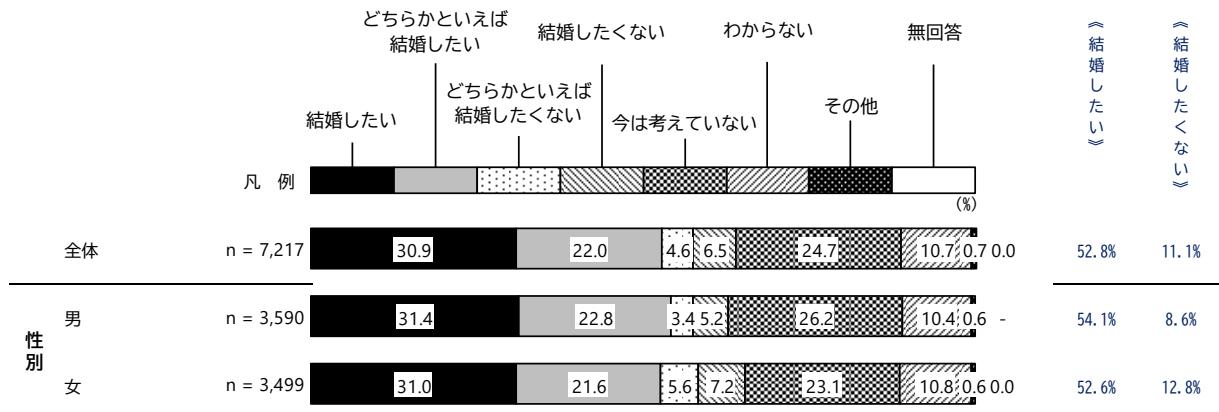
5-6 結婚に対する考え方

問 22 結婚について、あなたの考え方にもっとも近いものを一つ選んでください。(○は一つ)



結婚に対する考え方について、「結婚したい」が 30.9% と最も高く、次いで「今は考えていない」(24.7%)、「どちらかといえば結婚したい」(22.0%) となっています。また、《結婚したい》(「結婚したい」 + 「どちらかといえば結婚したい」の合計)は 52.8% となっています。

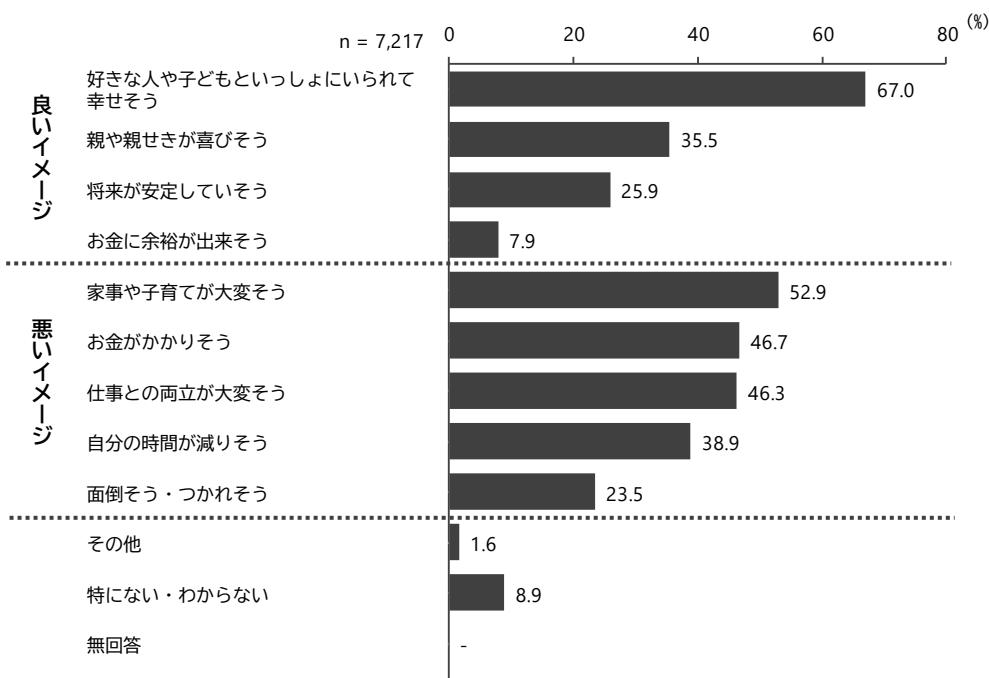
◆性別／結婚に対する考え方



性別にみると、男女ともに約半数が《結婚したい》と回答している一方で、「今は考えていない」は 25% 程度、「わからない」は 10% 程度回答がみられ、性別による大きな差はみられませんでした。

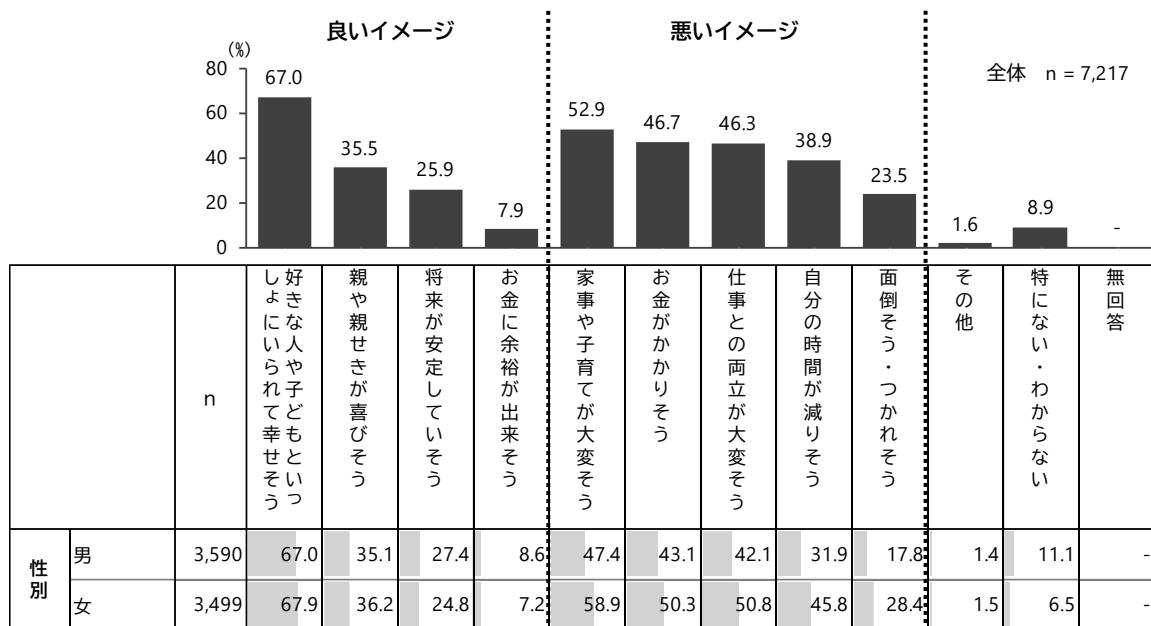
5-7 結婚に対して持っているイメージ

問23 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。(○はいくつでも)



結婚に対して持っているイメージについて、良いイメージの項目である「好きな人や子どもといっしょにいられて幸せそう」が67.0%と最も高くなっていますが、次いで悪いイメージの項目である「家事や子育てが大変そう」(52.9%)、「お金がかかりそう」(46.7%)が続いています。

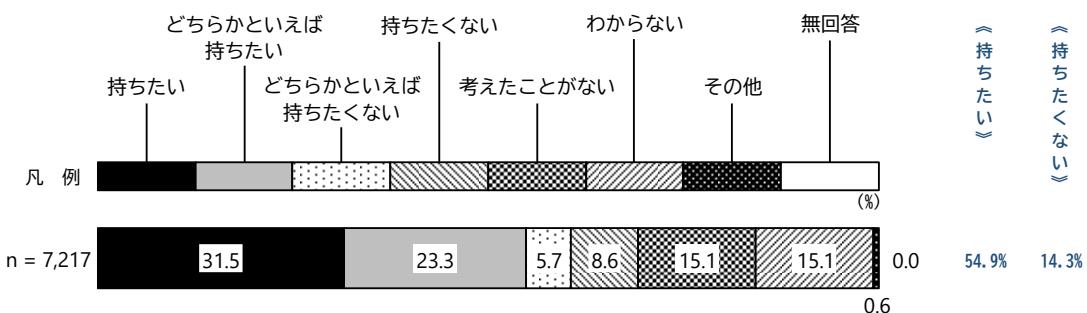
◆性別／結婚に対して持っているイメージ



性別にみると、良いイメージの項目である「好きな人や子どもといっしょにいられて幸せそう」が男性 (67.0%)、女性 (67.9%) ともに最も高くなっています。良いイメージの項目では男女間で回答割合に大きな差はみられませんが、一方で、悪いイメージの項目ではいずれも男性に比べ女性の回答割合が高くなっています。特に、「家事や子育てが大変そう」「自分の時間が減りそう」「面倒そう・つかれそう」では男性に比べ 10 ポイント以上高くなっています。

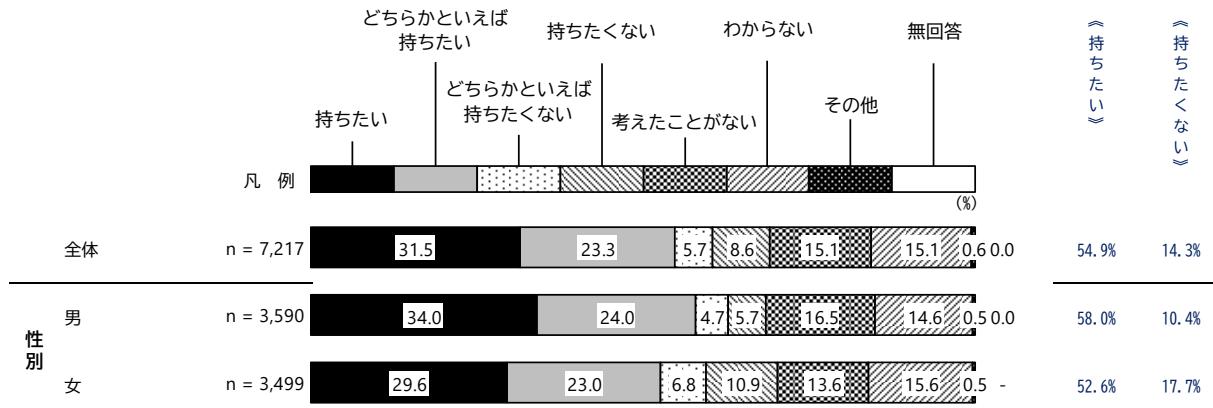
5-8 将来子どもを持ちたいと思うか

問 24 あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。(○は1つ)



将来子どもを持ちたいと思うかについて、「持ちたい」が31.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば持ちたい」(23.3%)、「考えたことがない」「わからない」(いずれも15.1%)となっています。また、《持ちたい》(「持ちたい」+「どちらかといえば持ちたい」の合計)は54.9%となっています。

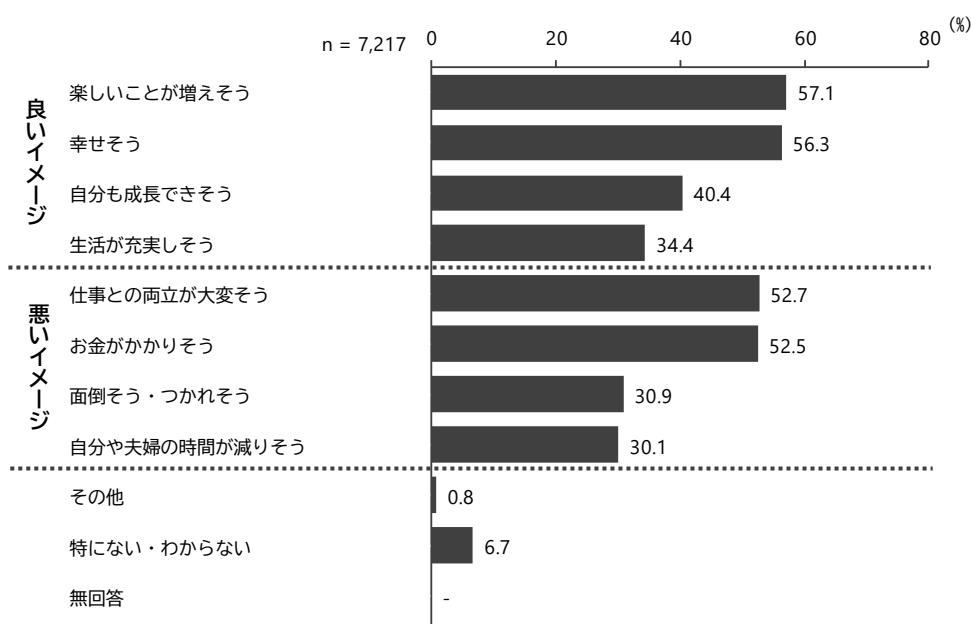
◆性別／将来子どもを持ちたいと思うか



性別にみると、男女とも《持ちたい》が半数以上となっている一方で、「考えたことがない」「わからない」はいずれも15%程度回答がみられます。

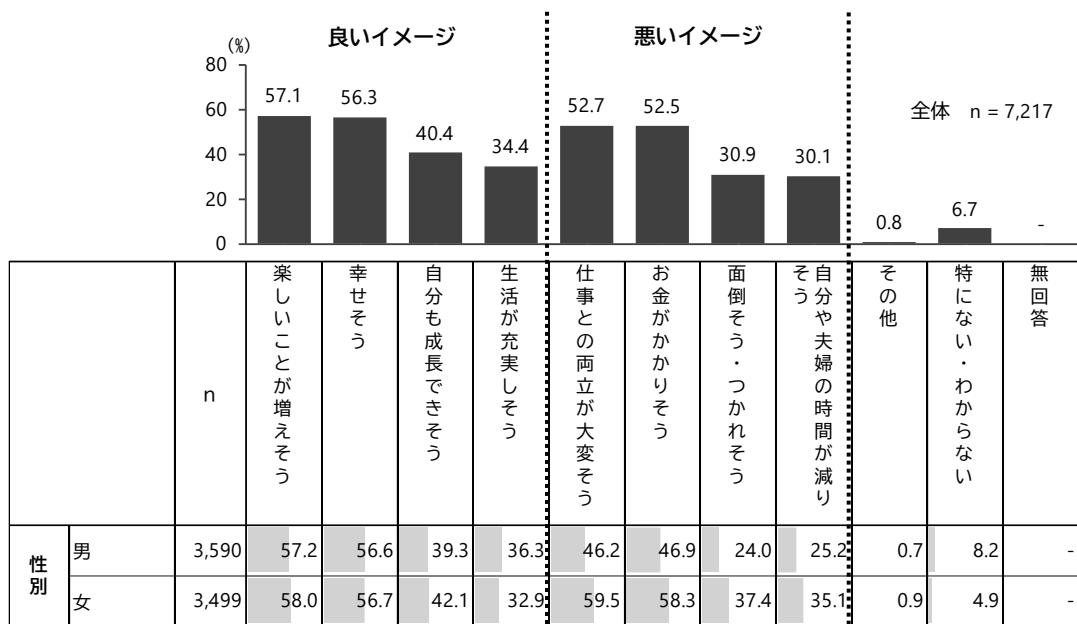
5-9 子育てに対して持っているイメージ

問25 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。(○はいくつでも)



子育てに対して持っているイメージについて、良いイメージの項目である「楽しいことが増えそう」が57.1%と最も高く、次いで「幸せそう」(56.3%)となり、悪いイメージの項目である「仕事との両立が大変そう」(52.7%)、「お金がかかりそう」(52.5%)が続いています。

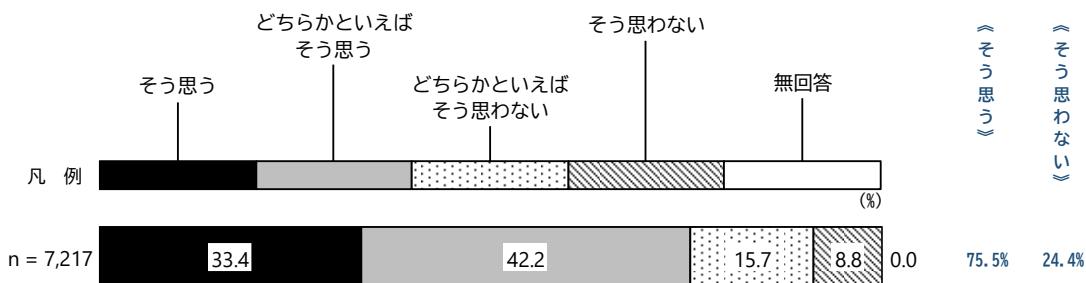
◆性別／子育てに対して持っているイメージ



性別にみると、良いイメージの項目では男女間で回答割合に大きな差はみられませんが、一方で、悪いイメージの項目ではいずれも男性に比べ女性の回答割合が高くなっています。特に、「仕事との両立が大変そう」「お金がかかりそう」「面倒そう・つかれそう」では男性に比べ 10 ポイント以上高くなっています。また、男性では良いイメージの項目である「楽しいことが増えそう」が 57.2% と最も高くなっていますが、女性では悪いイメージの項目である「仕事との両立が大変そう」が 59.5% と最も高くなっています。男女間で子育てに対して持っているイメージに差がみられます。

5-10 将来の居住希望

問 26 あなたは将来、宮城県に住みたいと思いますか。または、他の地域に移り住むことになっても、いつかは宮城県にもどってきたいと思いますか。(○は1つ)

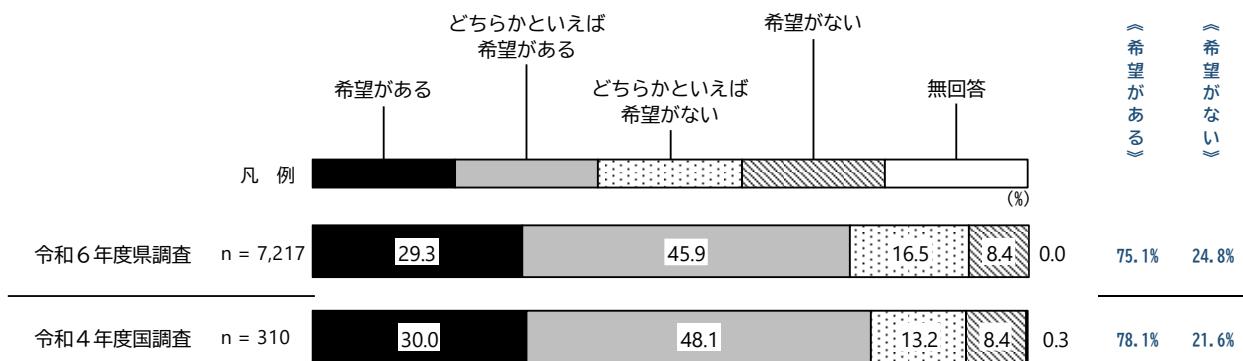


将来の将来、宮城県に住みたいと思うかについて、「どちらかといえばそう思う」が 42.2% と最も高く、次いで「そう思う」(33.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(15.7%) となっています。また、《そう思う》(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計) は 75.5% となっています。

7割以上のおこどもが宮城県に住み続けたい、他の地域に移り住むことになっていつかは宮城県にもどってきたいと思っています。

5-11 自身の将来について明るい希望を持っているか

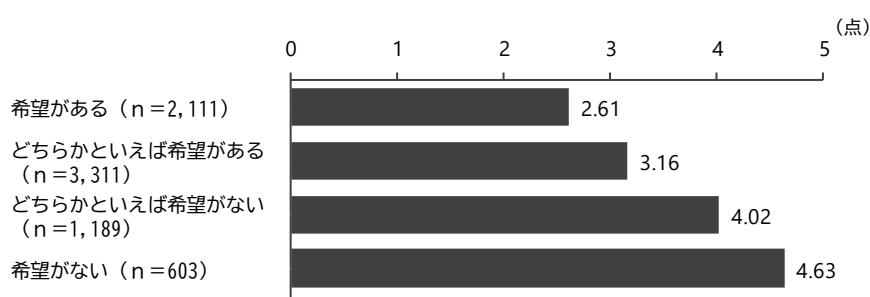
問27 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)



自分の将来について明るい希望を持っているかについて、「どちらかといえば希望がある」が45.9%と最も高く、次いで「希望がある」(29.3%)、「どちらかといえば希望がない」(16.5%)となっています。また、《希望がある》(「希望がある」+「どちらかといえば希望がある」の合計)が75.1%、《希望がない》(「希望がない」+「どちらかといえば希望がない」の合計)が24.8%となっています。

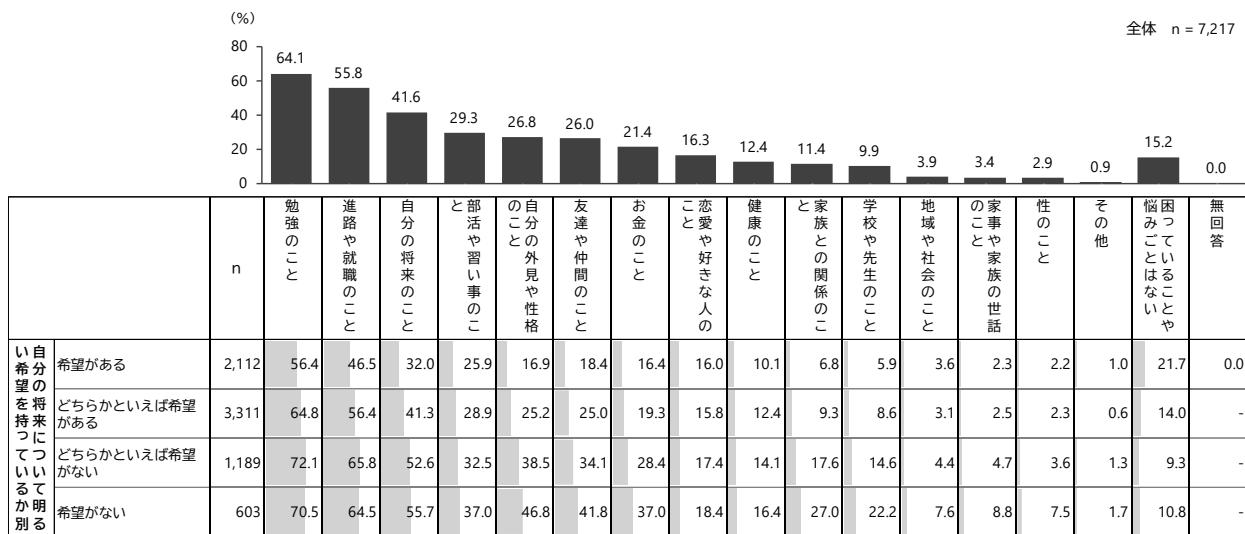
令和4年度国調査と比較しても、全体的な回答結果に大きな差はみられませんでした。

◆自分の将来について明るい希望を持っているか別／困ったり悩んだりしていることの個数



自分の将来について明るい希望を持っているか別に困ったり悩んだりしていることの個数をみると、自分の将来に『希望がある』から『希望がない』に向かうにつれて悩みや困りごとの個数が多くなる傾向にあります。

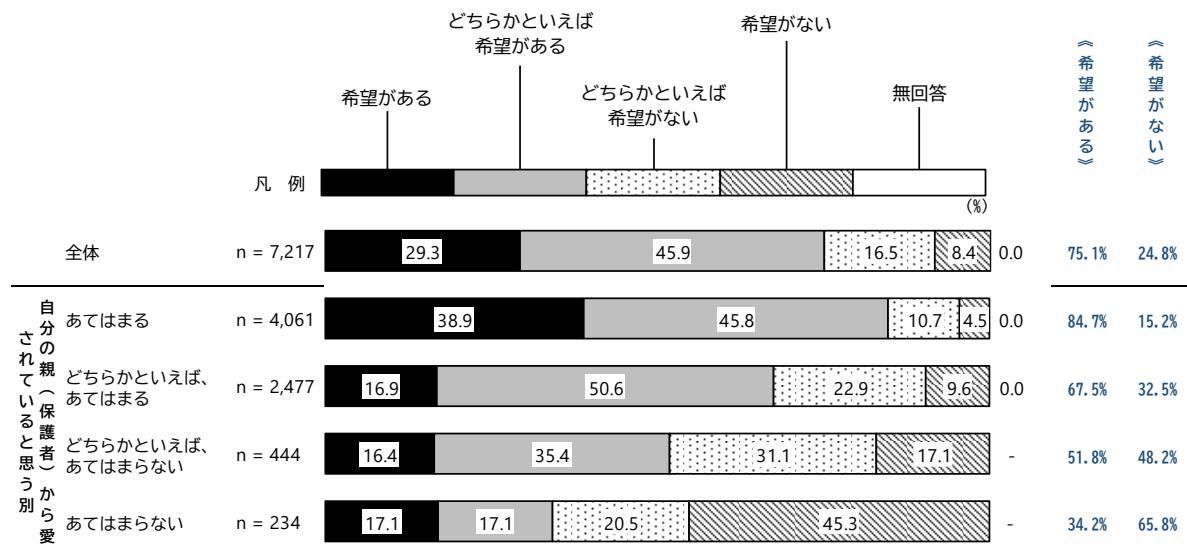
◆自分の将来について明るい希望を持っているか別／困ったり悩んだりしていること



自分の将来について明るい希望を持っているか別に困ったり悩んだりしていることをみると、自分の将来に『希望がない』こどもでは「自分の外見や性格のこと」「友達や仲間のこと」「お金のこと」「家族との関係のこと」「学校や先生のこと」が全体に比べ 10 ポイント以上高くなっています。

◆自分の親（保護者）から愛されていると思う別

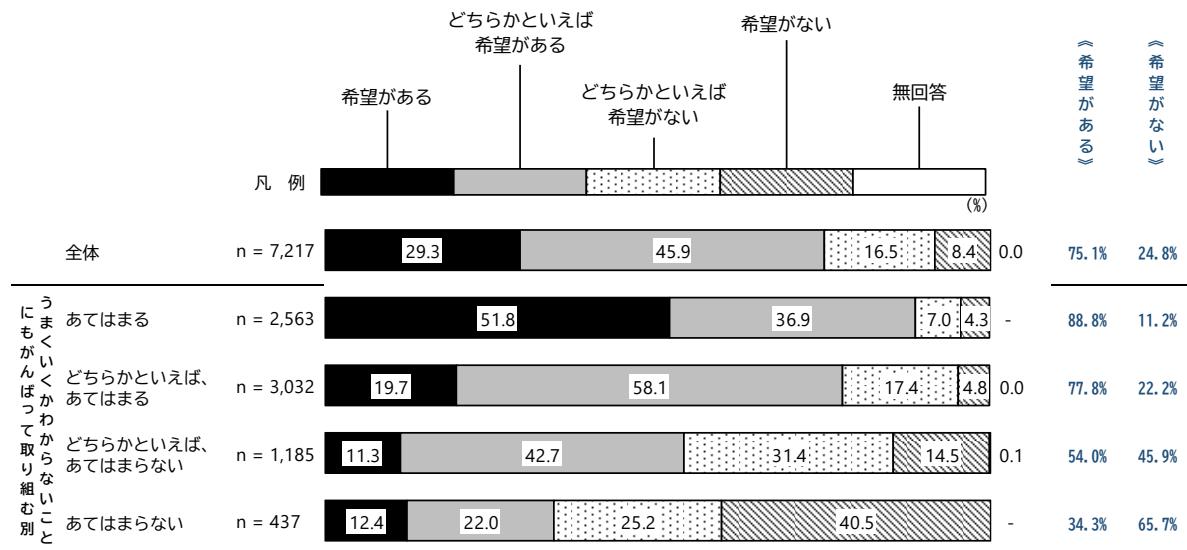
／自分の将来について明るい希望を持っているか



自分の親（保護者）から愛されていると思う別にみると、《希望がない》ではあてはまらないほど回答割合が高くなっています。特に、『あてはまらない』では6割を超えています。

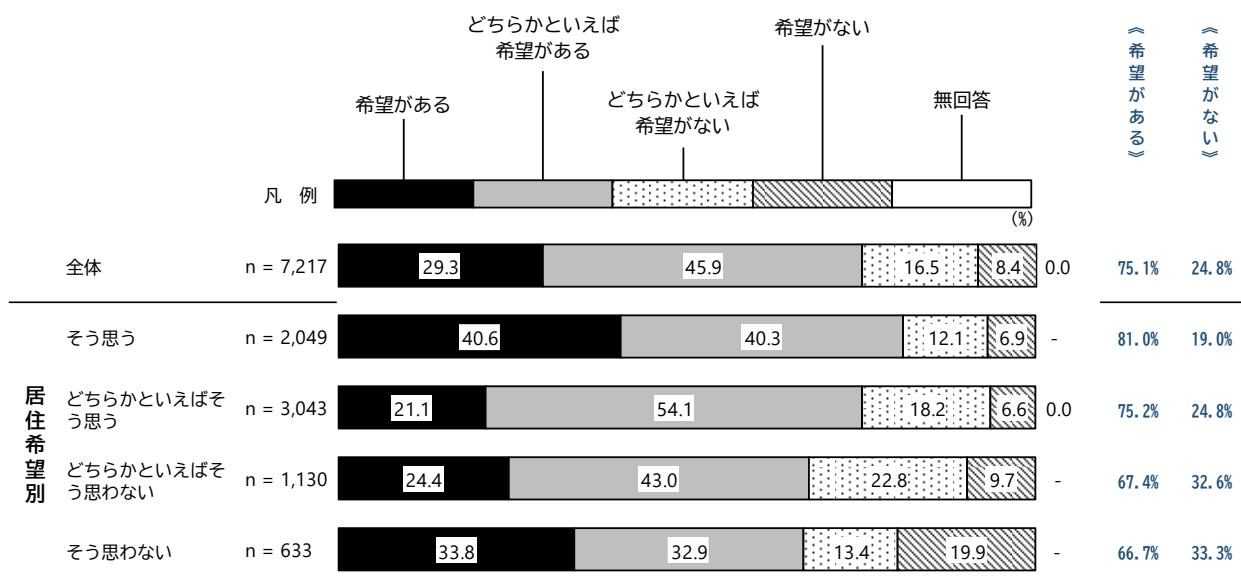
◆うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む別

／自分の将来について明るい希望を持っているか



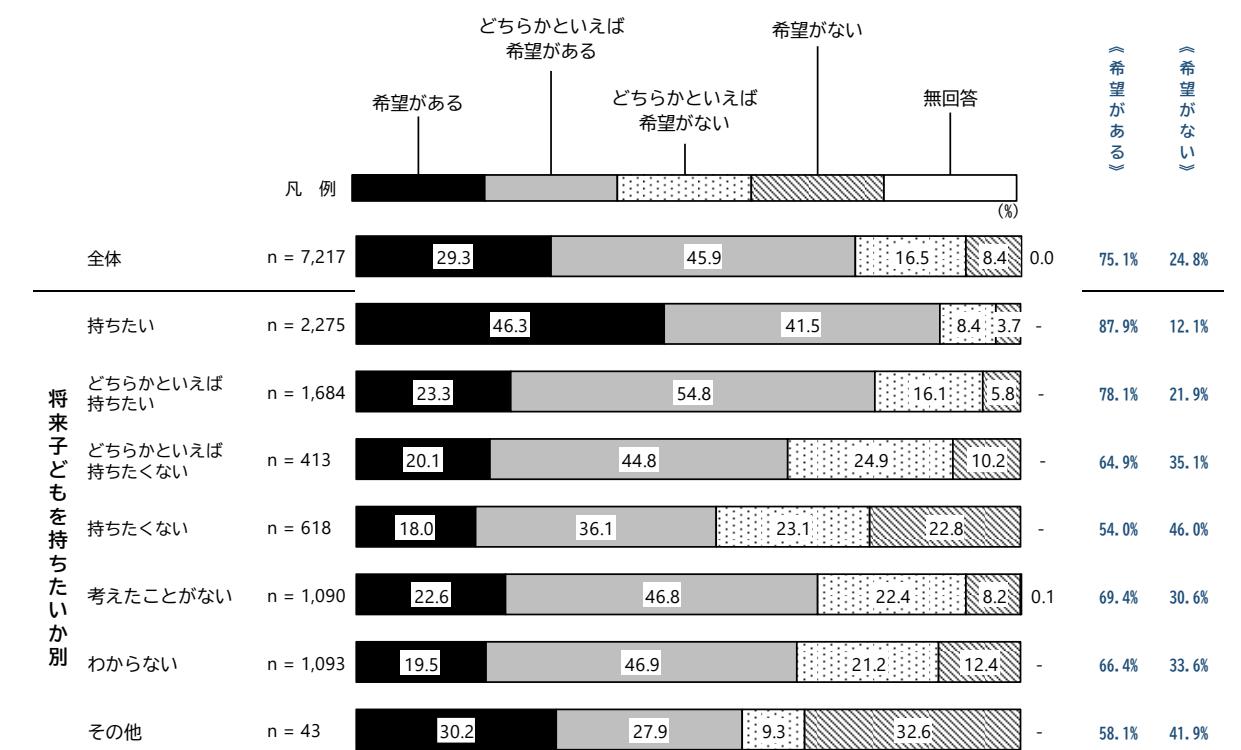
うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む別にみると、『希望がない』ではあてはまらないほど回答割合が高くなっています。特に、『あてはまらない』では6割を超えていました。

◆宮城県に住み続けたい、または他の地域に移り住むことになってもどってきたいか別
／自分の将来について明るい希望を持っているか



宮城県に住み続けたい、または他の地域に移り住むことになってもどってきたいか別にみると、『そう思う』と回答したこどもでは8割が将来に《希望がある》と回答しています。

◆将来子どもを持ちたいか別／自分の将来について明るい希望を持っているか



将来子どもを持ちたいか別にみると、子どもを『持ちたい』では将来に《希望がある》が87.9%と約9割と高くなっている一方、『持ちたくない』では54.0%と約5割にとどまっています。

5-12 将来暮らしてみたいと思う未来の宮城県の姿

問 28 あなたが、将来暮らしてみたいと思う未来の宮城県の姿を、思いつくまま、ご自由にお書きください。

順位	項目	件数
1	都会らしさや便利さがある・人が集まる・活気がある・発展している	674
2	自然に恵まれている・空気がきれい	670
3	明るく、楽しく、幸せに暮らせる・笑顔がある・平和である	669
4	良好なコミュニティがある・皆が支え合う・人があたたかい・いじめや争いごとがない	581
5	生活環境や地域の環境が良好である・景観が綺麗である	578
6	商業施設や観光スポット、遊ぶところが充実している	552
7	安心安全に暮らせる・事故や事件、犯罪がない・災害に強い	549
8	生活しやすい・行政がしっかりしている	437
9	子どもや若者が暮らしやすい・子育てがしやすい	342
10	今までよい・変わらないでほしい	243
11	道路や交通機関などのインフラが整っている	238
12	経済的に困らない・物価が安い・収入が得やすい・豊かに暮らせる	189
13	文化・スポーツ施設や公園、公共施設が整っている	121
14	経済活動や産業が盛んである。働く場所が充実している	108
15	教育環境が整っている・勉強やスポーツに取り組みやすい	106
16	一人ひとりの考えが大事にされる・自由に暮らせる	99
17	多様性への理解がある・差別がない・平等である	97
18	医療や福祉が整っている	32
19	絵や図による回答	1
△	その他	227
	意見合計	6,513

※回答者数：4,545人（「特にない」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

将来暮らしてみたいと思う未来の宮城県の姿について自由記述式でたずね、回答のあった意見を分類したところ、「都会らしさや便利さがある・人が集まる・活気がある・発展している」が674件と最も多く、次いで「自然に恵まれている・空気がきれい」(670件)、「明るく、楽しく、幸せに暮らせる・笑顔がある・平和である」(669件)となっています。

次ページ以降に、主な意見を抜粋して掲載します。

【主な意見】 ※上位5項目

① 都会らしさや便利さがある・人が集まる・活気がある・発展している

- ・自然豊かで、でもその中に都会もあって暮らしやすい宮城県
- ・街が発展していて、生活的にも経済的にも安定している姿
- ・お店が沢山あり、みんなが来たいというような幸せがいっぱいいつまつた宮城県

② 自然に恵まれている・空気がきれい

- ・ゴミや排気ガスが少なく、とても綺麗な街。争いがなく平和な街。緑が広がる自然が豊かな宮城県
- ・緑が豊かで美味しいごはんを食べる事ができる。明るく伝統などが途絶えない県
- ・自然豊かで、遊具がたくさんある公園や、屋内・野外テーマパークがあって、地域の繋がりが深い

③ 明るく、楽しく、幸せに暮らせる・笑顔がある・平和である

- ・明るく暖かい宮城県
- ・駅前にはいろいろな物があって、地域の人は親切で社交性が高く、安心できる家や自然災害の少ない平和な街
- ・みんなが明るくて近所の人といっしょ会話したり子ども達が笑って過ごしている宮城県がいい。ポイ捨てとかゴミのない綺麗な町、地域で過ごしたい
- ・みんなが笑顔で、困っている人を助け合えるような幸せな宮城県

④ 良好なコミュニティがある・皆が支え合う・人があたたかい・いじめや争いごとがない

- ・他人と何かが違う人がいても、差別したりしないで受け止めてくれるような広い心を持った人がたくさんいる宮城県
- ・一人一人が寄り添って、悪いことが一個も起きなくて、つらい思いをしている人がいたらすぐわかるようになって、過ごしやすくて、欲しいものがすぐ手に入る宮城県
- ・いじめがなく、地域で挨拶しあう明るいところ

⑤ 生活環境や地域の環境が良好である・景観が綺麗である

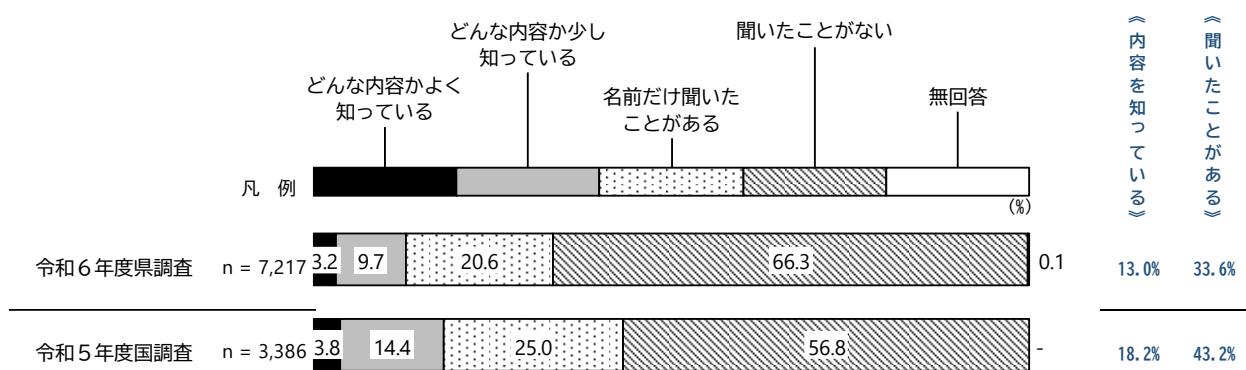
- ・人は多すぎないがコミュニティの場があり、自然と共存できて、時間に追われない落ち着いた空間
- ・杜の都として都心部にも緑の多い生活しやすく充実した県
- ・海が綺麗で建物が綺麗

6

こどもの権利や宮城県が行う取組のことについて

6-1 「児童の権利に関する条約」※の認知度

問 29 あなたは、このアンケートに回答するより前に、「児童の権利に関する条約」（子どもの権利条約）について聞いたことがありますか。（○は1つ）



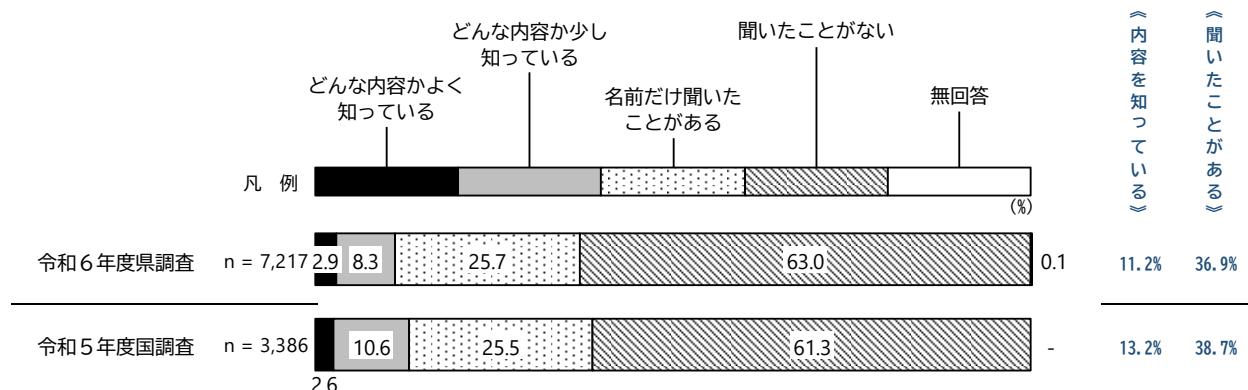
「児童の権利に関する条約」の認知度について、「聞いたことがない」が66.3%と最も高く、次いで「名前だけ聞いたことがある」(20.6%)、「どんな内容か少し知っている」(9.7%)となっています。

令和5年度国調査と比較すると、《内容を知っている》（「どんな内容かよく知っている」+「どんな内容か少し知っている」の合計）及び《聞いたことがある》（「どんな内容かよく知っている」+「どんな内容か少し知っている」+「名前だけ聞いたことがある」の合計）いずれも国調査に比べて低くなっています。特に、《聞いたことがある》が国調査では4割程度となっていますが、県調査では3割程度にとどまっています。

※「児童の権利に関する条約」：子どもの基本的人権（権利）を国際的に保障するために定められており、現在では、日本を含めた世界196の国・地域が締約している世界的な条約です

6-2 「こども基本法」※の認知度

問30 あなたは、このアンケートに回答するより前に、「こども基本法」について聞いたことがありますか。(○は1つ)



令和5年度「児童の権利に関する条約の認知度等調査」(※中学生の結果を抜粋)

「こども基本法」の認知度について、「聞いたことがない」が63.0%と最も高く、次いで「名前だけ聞いたことがある」(25.7%)、「どんな内容か少し知っている」(8.3%)となっています。

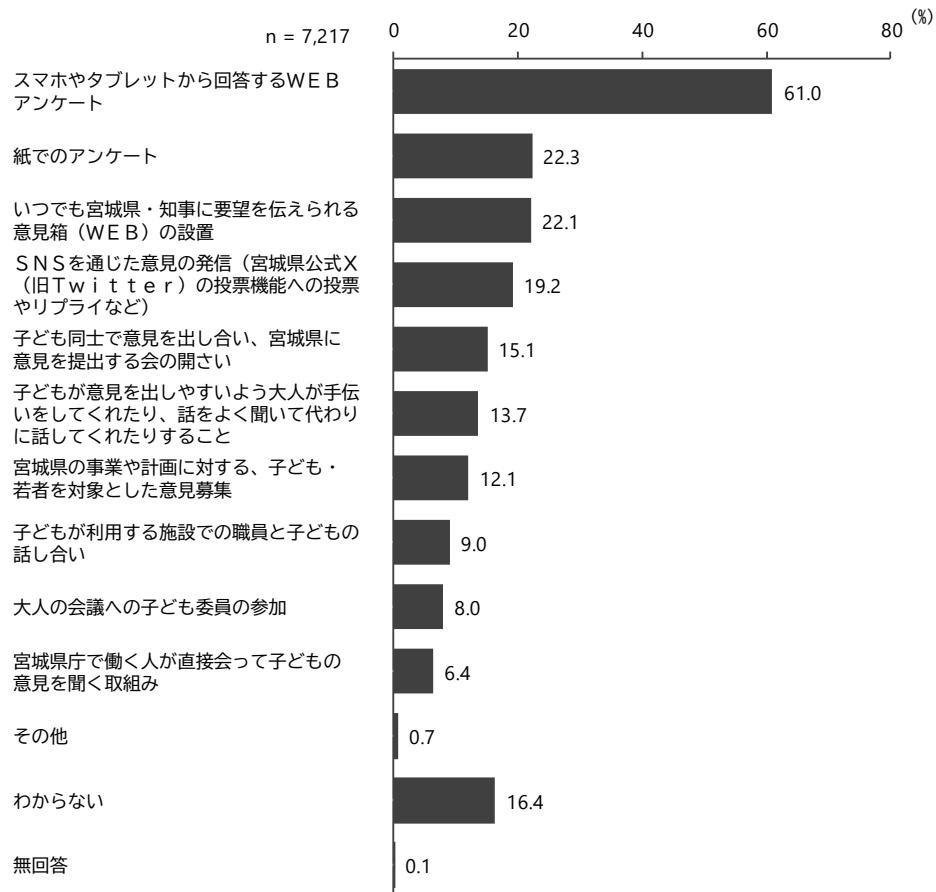
令和5年度国調査と比較すると、《内容を知っている》(「どんな内容かよく知っている」+「どんな内容か少し知っている」の合計)及び《聞いたことがある》(「どんな内容かよく知っている」+「どんな内容か少し知っている」+「名前だけ聞いたことがある」の合計)いずれも国調査に比べて低くなっています。

※「こども基本法」：令和5年4月に施行（効力が発生）された法律であり、こどもや若者が自分らしく成長し、暮らしていくように、社会全体で支えていくための法律です。

こども基本法の中では、こどもや若者に関する方針や取組みを決めるとき、こども・若者本人の意見を聴き、大事にしながら進めていくことが大切とされています。

6-3 子どもに関わる事業に子どもの声を取り入れていく方法

問 31 あなたは、子どもに関わる宮城県の事業に、子どもの声を取り入れていく方法について、どんなものがあればいいと思いますか。また、どんなものが意見を言いやすいですか。(○は3つまで)



子どもに関わる事業に子どもの声を取り入れていく方法について、「スマホやタブレットから回答するWEBアンケート」が61.0%と最も高く、次いで「紙でのアンケート」(22.3%)、「いつも宮城県・知事に要望を伝えられる意見箱(WEB)の設置」(22.1%)となっています。

7 自由意見

問 32 そのほか、宮城県やまわりの大人に対して、提案や伝えたいことがあれば自由に書いてください。

大分類	件数
子どもの意見聴取・大人への要望・悩みについて	308
生活環境について	207
行政全般について	163
教育・学校について	145
経済的負担について	71
交流・イベント等について	31
その他	139
意見合計	1,064

※回答者数：930 人（「特にない」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

宮城県やまわりの大人に対して、提案や伝えたいことについて自由記述式でたずね、回答のあった意見を分類したところ、「子どもの意見聴取・大人への要望・悩みについて」が 308 件と最も多い、次いで「生活環境について」(207 件)、「行政全般について」(163 件) となって います。

次ページでは、さらに細分化して意見を分類しています。

大分類	小分類	件数
子どもの意見聴取・大人への要望・悩みについて	大人への要望	231
	子どもの意見聴取	39
	相談	9
	その他	29
生活環境について	遊び場（公園や屋内施設）	74
	居住環境	68
	交通	41
	公共施設（図書館など）	6
	医療施設	3
	その他	15
行政全般について	行政の施策・計画づくり	131
	政治・選挙	15
	その他	17
教育・学校について	学校の環境・設備	53
	いじめ・不登校	29
	先生・授業・宿題	22
	部活	11
	学校以外で勉強できる場所	8
	進学・就職	5
	その他	17
経済的負担について	教育費・給食費	17
	税金	17
	給料・収入	6
	生活費	4
	物価高	4
	交通費	3
	医療費	2
交流・イベント等について	その他	18
	イベント	17
	交流	12
	職場体験	1
その他	その他	1
	アンケート	25
	その他	114

回答のあった意見をさらに分類したところ、「大人への要望」が 231 件と最も多く、次いで「行政の施策・計画づくり」(131 件)、「遊び場（公園や屋内施設）」(74 件) となっています。次ページ以降に、主な意見を抜粋して掲載します。

【主な意見】 ※上位5項目

① 大人への要望

- ・もっと子供の声を聞いて、望むように対応してくれる安全なサービス
- ・子どもたちのいじめなどの悩みを聞いて、流して終わらせるのではなく、解決まで子供たちと戦って欲しい
- ・大人は子どもを下に見ている部分がある。その理由は大人だから、子どもだからという差別がある。子どもが自由でいれない環境も多く、環境作りを始めるのが遅い理由も子どもに目を向けていなく直線的な視界しかもっていないと考えることもできるため大人としてもっと視野を広く目先にとらわれず、視界の外にも目を向けてほしい。それだけで、宮城県は良い県に近づけると思う

② 行政の施策・計画づくり

- ・もっと都市だけで無く日本三景の松島や他の町にももっとバリアフリーや住みやすく人がここに住みたいここにずっといたいと思えるもっと発展した町にしてほしい
- ・抽象的だけど何かしらの対策をすべき。まだ自分は中学生だからよくわかんないけど県内に人を呼び込む、子どもが増える工夫、学費補助金的なものが必要だと思う
- ・会議などで直接（できない場合ネットなどで）意見を聞いてもらい実現できるかを考えたりして、子どもと大人が協力して貧困等をなくせるようにできる場をつくってほしい

③ 遊び場（公園や屋内施設）

- ・幅広い世代が利用できる公園や屋内施設を作つて欲しい
- ・施設が整つて管理されている運動ができる場所がほしい
- ・観光地となるものが少ないので遊園地とか人が集まりそうなものをもっとつくつてほしい

④ 居住環境

- ・犯罪などを減らしてほしい
- ・夜に少し暗くて危ない道が沢山あるのでそこを無くして欲しい
- ・最近ではゴミがよく落ちていて環境が悪いように感じます。ゴミ箱をもう少しおしゃれにしたら景観も良く、子供から大人までゴミ箱に捨てられるようになると思う

⑥ 学校の環境・設備

- ・今後の夏の暑さの心配もあり、エアコンが設置されていない教室にエアコンを設置していただきたい
- ・校則が古すぎて、みんな困り果てているためもっと現代風に少し緩い校則にしてほしい
- ・学校では不登校の生徒が最近増えているので、すべての学校が楽しくなるようにしてほしい。また、いじめがなくなる取り組み（アンケートなど）や監視を強めてほしい

IV 総括

1. 内向的な性格の傾向

- ・孤独感を国調査と比較すると、孤独感がやや高い傾向にあります。【P.30】
- ・自身の考え方を【向社会性】【情緒の問題】【仲間関係の問題】の3分類に分けてそのスコアを国調査と比べると、いずれもネガティブな結果となっており、内向的かつ消極的な傾向、繊細でナイーブなこどもが多い傾向、仲間との関係に自信がなくやや一人でいたがる傾向がうかがえます。【P.38】
- ・自己認識について、国調査と比べて自己肯定感が低く、自分に自信がない傾向があるものの、『うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む』は国調査と同水準となっており、多くのこどもが努力する姿勢を持っていると推察されます。【P.43】

2. 様々な場所で他者とかかわることで得られる安心感

- ・宮城県のこどもの居場所として、家庭や学校のほかに地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）やインターネット空間も利用されており、安心できる場所となっています。【P.13】
- ・また、宮城県では地域にある支援場所の利用経験が比較的高く、利用ニーズも高いことがうかがえます。利用したことで友達が増えたり、生活の中で楽しみなことが増えたり、ほっとできる時間が増えたといったポジティブな効果が生まれています。【P.14,15】
- ・孤独感が減少するにつれて、生活の満足感は高くなっています、孤独感を解消することで生活の満足度の向上に期待できると考えられます。【P.31】
- ・どんな悩みをもっているかごとに【向社会性】【情緒の問題】【仲間関係の問題】の各3分野のスコアを分析すると、家族や学校といった身近な人間関係のことで悩みを持つこどもは情緒が安定していない傾向であることがうかがえます。【P.40】
- ・こどもたちが様々な方法で良好な人間関係を築けるようになることでウェルビーイング向上につながってくることが期待されると考えられます。

3. 将来の希望

- ・大学まで進学を望むこどもは約4割となっており、希望する学校や職業があるからといった理由が最も多くなっています。このようなこどもたちは自分の将来について「希望がある」との回答が多い一方で、自分の成績を考えて高校までの進学を望むこどももいます。そのようなこどもは大学まで進学を望むこどもに比べて自分の将来について「希望がない」との回答が多い傾向にあります。【P.54,58,59,60,61】
- ・中学2年生の段階で結婚・子育てを望むこどもは約半数となっています。一方で、まだわからない及び考えていない割合は結婚・子育てともに3割程度となっています。結婚・子育てともに幸せになれるとのイメージが多い一方、女性では家庭生活に対して不安を感じています。【P.62,63,64,65,66,67】
- ・自分の将来について「希望がない」と回答するこどもは困ったり悩んだりしていることの個数が「希望がある」と回答するこどもに比べて多くなっています。悩みや困りごとがあることが将来の不安要因になっていると考えられます。また、親（保護者）からの愛や努力する自己肯定感が薄いこどもが「希望がない」と回答する傾向にあります。【P.69,71】
- ・宮城県に住み続けたい、または他の地域に移り住むことになってもどってきたいと回答するこども、将来こどもを持ちたいと回答するこどもは自分の未来に明るい希望を持っています。【P.72】
- ・進学、結婚、子育て等のライフステージごとの人生の選択にポジティブなイメージを持っているこどもは将来に希望をもっている傾向にあります。
- ・より多くのこどもに将来の希望をもたせるには、現状悩みを抱えているこどもや自分を否定的に感じているこどもを救い、前向きになれるようにしていくことが重要と考えられます。

V 使用した調査票

宮城県こどもアンケート

■アンケートの回答方法について

- ▶ 黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- ▶ ご回答は、「○は1つ」「○はいくつでも」等の表記に従って、あてはまる番号に○をつけてください。
- ▶ 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ▶ 質問によって回答いただく方が限られる場合がありますので、質問文をよく読んでお答えください。

【アンケートの記入例】

記入例		あなたは、花が好きですか。（○は1つ）
	<input type="radio"/> 1	好き
	<input type="radio"/> 2	嫌い

- ▶ アンケートを記入し終わったら、先生から一緒に渡された返信用封筒に入れて、**7月26日（金）まで**に郵便ポストに投かんしてください。
(封筒に切手を貼る必要はありません。また、封筒にあなたの住所や氏名を書く必要はありません)
- ▶ このアンケート用紙で回答した場合は、インターネットでの回答はしないでください。

はじめに、**先生から配られた「宮城県こどもアンケート－ご協力のおねがい－」**に記載されている

「回答用番号（数字6ヶタ）」を下の枠内に記入してください。

回答用番号

次のページからアンケートが始まります。
上記の回答方法に沿ってご回答ください。

1 はじめに、あなたご自身についておうかがいします		
	問 1	あなたの性別を教えてください。(○は1つ)
	1	男
	2	女
	3	その他・答えたくない
	問 2	あなたが現在住んでいる市町村を教えてください。(○は1つ)
	1	仙台市
	2	石巻市
	3	塩竈市
	4	気仙沼市
	5	白石市
	6	名取市
	7	角田市
	8	多賀城市
	9	岩沼市
	10	登米市
	11	栗原市
	12	東松島市
	13	大崎市
	14	富谷市
	15	蔵王町
	16	七ヶ宿町
	17	大河原町
	18	村田町
	19	柴田町
	20	川崎町
	21	丸森町
	22	亘理町
	23	山元町
	24	松島町
	25	七ヶ浜町
	26	利府町
	27	大和町
	28	大郷町
	29	大衡村
	30	色麻町
	31	加美町
	32	涌谷町
	33	美里町
	34	女川町
	35	南三陸町
	問 3	現在、あなたがいっしょに住んでいる人をすべて選んでください。(○はいくつでも)
	1	父親
	2	母親
	3	きょうだい
	4	祖父母
	5	その他親せき
	6	その他 ()

2 ふだんの生活についておうかがいします						
問 4	あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（○は1つ）					
	1 参加している	2 参加していない				
問 5	前の質問で、「2 参加していない」と答えた方にお聞きます。 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）					
	1 入りたいクラブ・部活動がないから					
	2 塾や習い事が忙しいから					
	3 費用がかかるから					
	4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから					
	5 一緒にいる友達がないから					
	6 その他 ()					
問 6	ふたたび、すべての方にお聞きます。 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほつとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（a～eそれぞれについて、1～5のいずれかに1つずつ○）					
		そう思う	ばどちそらう思とうえ	ばどちそらうか思と思わなえい	そう思わなえい	なあいはわまるらもなのは
	a 自分の部屋	1	2	3	4	5
	b 家庭（親せきの家を含む）	1	2	3	4	5
	c 学校	1	2	3	4	5
	d 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5
	e インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5
問 7	あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことない場合、今後利用したいと思いますか。（a～dそれぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○）					
		利用したことがある	利用したことない			
	a (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所	1	2	3	4	
	b (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料で安く食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	4	
	c 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4	
	d (家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）	1	2	3	4	

問 8	<p>前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（○はいくつでも）</p> <p>1 友達が増えた 2 気軽に話せる大人が増えた 3 生活の中で楽しみなことが増えた 4 ほっとできる時間が増えた 5 栄養のある食事をとれることが増えた 6 勉強がわかるようになった 7 勉強する時間が増えた 8 その他（ ） 9 特に変化はない</p>	
	問 9	<p>ふたたび、すべての方にお聞きます。 あなたはいま、どんなことに困ったり悩んだりしていますか。（○はいくつでも）</p> <p>1 勉強のこと 2 進路や就職のこと 3 家族との関係のこと 4 家事や家族の世話のこと 5 友達や仲間のこと 6 学校や先生のこと 7 部活や習い事のこと 8 恋愛や好きな人のこと 9 自分の外見や性格のこと 10 自分の将来のこと 11 お金のこと 12 性のこと 13 健康のこと 14 地域や社会のこと 15 その他（ ） 16 困っていることや悩みごとはない</p>
	問 10	<p>あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（○はいくつでも）</p> <p>1 親 2 きょうだい 3 祖父母など 4 学校の先生 5 学校の友達 6 学校外の友達 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど 8 その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など） 9 ネットで知り合った人 10 宮城県やお住まいの市町村が設置している相談窓口 11 だれにも相談できない、相談したくない 12 だれに（どこに）相談すればよいかわからない</p>

3 家族や他者とのかかわりについておうかがいします		家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。(a～cそれぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○)				
問 11		そ う 思 う	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	そ う 思 わ な い
	a 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	b こまつたときは助けてくれる	1	2	3	4	
	c 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
問 12	学校で出会った友達（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友達など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。(a～cそれぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○)	そ う 思 う	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	そ う 思 わ な い
	a 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	b こまつたときは助けてくれる	1	2	3	4	
	c 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
問 13	地域の人（近所の人、塾や習い事での友達など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。(a～cそれぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○)	そ う 思 う	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど 、 ち そ ら う か 思 と う い え	そ う 思 わ な い
	a 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	b こまつたときは助けてくれる	1	2	3	4	
	c 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	

問 14	インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（a～cそれぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○）				
		そ う 思 う	ば ど ち そ ら う か 思 と う い え	ば ど ち そ ら う か 思 と う い え	そ う 思 わ な い
	a 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
	b こまつたときは助けてくれる	1	2	3	4
	c 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
問 15	以下の項目について、あなたはどのくらいよく感じていますか。（a～cそれぞれについて、1～4のいずれかに1つずつ○）				
		ま つ た く な い	ほ と ん ど な い	時 々 あ る	い つ も あ る
	a 自分には話せる人がいないと感じことがある	1	2	3	4
	b 自分はまわりから、取りのこされていると感じことがある	1	2	3	4
	c 自分はひとりぼっちだと感じことがある	1	2	3	4
4 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についておうかがいします					
問 16	あなたは、新型コロナウイルス感染症が拡大していた時に、やりたかったけれどできなかつたことはありますか。（○はいくつでも）				
	1 友達と遊ぶこと				
	2 違う世代の子どもと一緒に遊んだり、活動したりすること				
	3 山や森、川や海など、自然の中で遊ぶこと				
	4 家族と一緒に遊んだり、スポーツをしたりすること				
	5 旅行に行くこと				
	6 祭りや地域の行事に参加すること				
	7 地域のスポーツクラブやサークルで活動すること				
	8 農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験すること				
	9 理科の実験、家庭科の実習、音楽の合奏や合唱などの授業を受けること				
	10 体育祭や学習発表会など、学校行事に参加すること				
	11 友達と会話しながら昼食を食べること				
	12 塾や習い事をすること				
	13 その他（ 特になし）				

5 あなたが今考えていることや、将来のことについておうかがいします					
問 17	以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。 答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a~oそれぞれについて、1~3のいずれかに1つずつ○)				
		な あ い て は ま ら	あ ま る あ て は ま る		
	a 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3	
	b 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3	
	c 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3	
	d 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3	
	e 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3	
	f 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3	
	g 私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。	1	2	3	
	h 私は、落ち込んでしまったり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3	
	i 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。	1	2	3	
	j 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3	
	k 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3	
	l 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3	
	m 私は、自分からすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子どもたちなど）。	1	2	3	
	n 私は、他の子どもたちより、大人といふ方がうまくいく。	1	2	3	
o 私は、ごわぎりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3		
問 18	あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(a~dそれぞれについて、1~4のいずれかに1つずつ○)				
		あ て は ま る	あ ど は ら ま か と い え ば 、	あ ど て ち ら ま か と い え ば 、	
	a 今の自分が好きだ	1	2	3	4
	b 自分の親（保護者）から愛されていると思う	1	2	3	4
	c うまくいかわからぬことにもがんばって取り組む	1	2	3	4
問 19	自分は役に立たないと強く感じる				
	全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。(○は1つ)				
	0	まったく満足していない			
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
9					
10	十分に満足している				

問 20	<p>あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。（○は1つ）</p> <p>1 中学まで 2 高校まで 3 専門学校まで 4 5年制の高等専門学校まで 5 短大まで 6 大学まで 7 大学院まで 8 その他（ ） 9 まだわからない</p>)
問 21	<p>前の質問での回答は、どのような理由からですか。（○はいくつでも）</p> <p>1 希望する学校や職業があるから 2 自分の成績から考えて 3 親がそう言っているから 4 兄・姉がそうしているから 5 まわりの先輩や友達がそうしているから 6 家にお金がないと思うから 7 早く働く必要があるから 8 その他（ ） 9 特に理由はない</p>)
問 22	<p>結婚について、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。（○は1つ）</p> <p>1 結婚したい 2 どちらかといえば結婚したい 3 どちらかといえば結婚したくない 4 結婚したくない 5 今は考えていまい 6 わからない 7 その他（ ）</p>)
問 23	<p>あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。（○はいくつでも）</p> <p>1 好きな人や子どもといつしょにいられて幸せそう 2 お金に余裕が出来そう 3 将来が安定していそう 4 親や親せきが喜びそう 5 家事や子育てが大変そう 6 お金がかかりそう 7 自分の時間が減りそう 8 仕事との両立が大変そう 9 面倒そう・つかれそう 10 その他（ ） 11 特にない・わからない</p>)
問 24	<p>あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。（○は1つ）</p> <p>1 持ちたい 2 どちらかといえば持ちたい 3 どちらかといえば持ちたくない 4 持ちたくない 5 考えたことがない 6 わからない 7 その他（ ）</p>)

	問 25	<p>あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。(○はいくつでも)</p> <p>1 幸せそう 2 楽しいことが増えそう 3 生活が充実しそう 4 自分も成長できそう 5 お金がかかりそう 6 自分や夫婦の時間が減りそう 7 仕事との両立が大変そう 8 面倒そう・つかれそう 9 その他 () 10 特にない・わからない</p>
	問 26	<p>あなたは将来、宮城県に住みたいと思いますか。または、他の地域に移り住むことになつても、いつかは宮城県にもどつてきたいと思いますか。(○は1つ)</p> <p>1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない</p>
	問 27	<p>あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)</p> <p>1 希望がある 2 どちらかといえば希望がある 3 どちらかといえば希望がない 4 希望がない</p>
	問 28	<p>あなたが、将来暮らしてみたいと思う未来の宮城県の姿を、思いつくまま、ご自由にお書きください。</p>

6 こどもの権利や宮城県が行う取組のことについておうかがいします		
問 29		あなたは、このアンケートに回答するより前に、「児童の権利に関する条約」（子どもの権利条約）について聞いたことがありますか。（○は1つ）
	1	どんな内容かよく知っている
	2	どんな内容か少し知っている
	3	名前だけ聞いたことがある
	4	聞いたことがない
	児童の権利に関する条約とは…？	
	子どもの基本的人権（権利）を国際的に保障するために定められており、現在では、日本を含めた世界196の国・地域が締約している世界的な条約です。	
問 30		あなたは、このアンケートに回答するより前に、「こども基本法」について聞いたことがありますか。（○は1つ）
	1	どんな内容かよく知っている
	2	どんな内容か少し知っている
	3	名前だけ聞いたことがある
	4	聞いたことがない
	こども基本法とは…？	
	令和5年4月に施行（効力が発生）された法律であり、こどもや若者が自分らしく成長し、暮らしていくように、社会全体で支えていくための法律です。	
	こども基本法の中では、こどもや若者に関する方針や取組みを決めるとき、こども・若者本人の意見を聞き、大事にしながら進めていくことが大切とされています。	
	宮城県でも、みなさんの意見を聴きながら、みなさんにとってより良い取組みを考えていきたいと思っています。	
問 31		あなたは、子どもに関わる宮城県の事業に、子どもの声を取り入れていく方法について、どんなものがあればいいと思いますか。また、どんなものが意見を言いやすいですか。（○は3つまで）
	1	紙でのアンケート
	2	スマホやタブレットから回答するWEBアンケート
	3	いつでも宮城県・知事に要望を伝えられる意見箱（WEB）の設置
	4	SNSを通じた意見の発信（宮城県公式X（旧Twitter）の投票機能への投票やリプライなど）
	5	宮城県の事業や計画に対する、子ども・若者を対象とした意見募集
	6	宮城県庁で働く人が直接会って子どもの意見を聞く取組み
	7	子どもが利用する施設での職員と子どもの話し合い
	8	子ども同士で意見を出し合い、宮城県に意見を提出する会の開かい
	9	大人の会議への子ども委員の参加
	10	子どもが意見を出しやすいよう大人が手伝いをしてくれたり、話をよく聞いて代わりに話してくれたりすること
	11	その他（ わからない）
	12	

問 32		そのほか、宮城県やまわりの大人に対して、提案や伝えたいことがあれば自由に書いてください。
------	--	--

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

先生から一緒に渡された返信用封筒に入れて、7月26日（金）までに郵便ポストに投かんしてください。

（封筒に切手を貼る必要はありません。また、封筒にあなたの住所や氏名を書く必要はありません）

◆◆最後に◆◆

あなた自身や友達のこと、学校、ご家庭のことなどで悩みや心配がある場合は、学校の先生やスクールソーシャルワーカーの先生に相談してください。
次に書いてある相談先でもお話を聞くことができます。

主な相談窓口	連絡先	受付時間
24時間子供SOSダイヤル いじめ問題に悩む子供やその保護者等に対して、専任相談員や指導主事が電話による相談に応じています。	0120-0-78310 ※IP電話からの 相談は 022-797-0820へ	24時間対応
みやぎSNS相談 「面談や電話では相談にくい。」「先生や親には相談できない。」など、悩みはあるけれど相談できない人が、気軽に相談できるよう、公私立小・中・高等学校・特別支援学校高等部及び高等学園の児童生徒を対象に、LINEを活用した相談窓口を開設しています。 相談するには、右の二次元コードをLINEアプリで読み取って、「みやぎSNS相談」を友だち追加してください。 【LINEアプリでの二次元コードの読み取り方】		18時～21時
		
子供の相談ダイヤル 学業、進路、性格、行動など、子供の教育全般に関する悩み、いじめ、友人関係の悩みについて、子供・家族・教員等に対して、専任相談員や指導主事が電話による相談に応じます。	022-784-3568	月曜日～金曜日 9時～16時 (祝日、年末年始除く)
いじめ110番（宮城県警察） いじめや少年の悩み等について、少年警察補導員等が対応します。	022-221-7867	月曜日～金曜日 8時30分～17時15分 (祝日、年末年始除く)